

# 官報

號外

昭和四年二月二十日 水曜日

內閣印刷局

## 第五十六回 帝國議會 衆議院議事速記第十九號

昭和四年二月十九日(火曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第十八號

昭和四年二月十九日

午後一時開議

質問

- 一 山岡宮崎縣知事ノ失政ニ關スル質問(二見甚郷君提出)
- 二 議員ノ特權ニ關スル質問(橫山勝太郎君提出)
- 三 思想指導ノ政策ニ關スル質問(三宅磐君提出)
- 四 宮崎市騷擾事件ニ關スル質問(三浦虎雄君外一名提出)
- 五 資源並食糧問題ニ關スル質問(葛原猪平君提出)

- (第一) 工場法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- (第二) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- (第三) 健康保險法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- (第四) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- (第五) 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- (第六) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
- (第七) 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
- (第八) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

- 第九 朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十一 馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十二 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十三 政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案(大竹貫一君外一名提出) 第一讀會
- 第十四 政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案(大竹貫一君外一名提出) 第一讀會
- 第十五 議員ノ職務ニ關スル法律案(大竹貫一君外一名提出) 第一讀會
- 第十六 衆議院議員選舉法中改正法律案(大竹貫一君外一名提出) 第一讀會
- 第十七 衆議院議員選舉法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第十八 府縣制中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第十九 北海道會法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十 市制中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十一 町村制中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十二 裁判所構成法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十三 辯護士法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會

- 第二十四 公證人法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十五 辨理士法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十六 計理士法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十七 商工會議所法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十八 取引所法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第二十九 水先法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第三十 民法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第三十一 商法中改正法律案(土屋清三郎君提出) 第一讀會
- 第三十二 産業委員會法案(藤原米造君外七名提出) 第一讀會

○議長(元田肇君) 諸般ノ報告ヲ致サセマ

〔書記官朗讀〕

- 一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 登載稅法中改正法律案
- 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)
- 朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案
- (以上二月十六日提出)
- 一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 質屋取締法中改正法律案
- 提出者 鬼丸 義齋君
- 古物商取締法中改正法律案
- 提出者 鬼丸 義齋君
- 衛生組合法案
- 提出者 田崎 信藏君 平賀 周君
- 鈴木吉之助君 吉津 度君
- 加藤鎌五郎君

傳染病豫防法中改正法律案

提出者

- 田崎 信藏君 平賀 周君
- 鈴木吉之助君 吉津 度君
- 加藤鎌五郎君

刑法中改正法律案

提出者

- 牧野 賤男君 名川 隼市君
- 遠藤 柳作君

鹿兒島縣垂水町ニ專賣局分工場設置ニ關スル建議案

提出者

- 永田 良吉君

沖繩縣營鐵道國營移管ニ關スル建議案

提出者

- 沖繩縣下ニ燈臺設置ニ關スル建議案
- 提出者 龜割 安藏君 竹下 文隆君

一 政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員二見甚郷君提出山岡宮崎縣知事ノ失政ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員橫山勝太郎君提出議員ノ特權ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員三宅磐君提出思想指導ノ政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書

衆議院議員三浦虎雄君外一名提出宮崎市騷擾事件ニ關スル質問ニ對スル答辯書

(以上二月十九日受領)

山岡宮崎縣知事ノ失政ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

昭和四年一月三十一日

提出者 二見 甚郷

山岡宮崎縣知事ノ失政ニ關スル質問主意書

宮崎縣知事山岡國利ハ著任以來現内閣及其ノ與黨タル政友會ノ走狗ト爲リ地方事務官タル其ノ本務ヲ顧ミズ任地宮崎縣ニ於ケル政友會ノ黨勢擴張ニ狂奔シタル事實歴然タリ

昨年二月舉行セラレタル衆議院議員總選舉ニ際シ政府與黨タル政友會ノ候補者カ僅ニ一名ヲ除キ全部落選スルヤ山岡知事ハ野黨議員ノ誘惑ヲ試ミムト欲シ其ノ機會ノ到來ヲ窺ヒ居タル所偶都城地方ニ於テ現在宮崎市ニ在ル縣立女子師範學校ノ都城移轉ヲ希望シ居ル事實ニ著目シ女子師範學校移轉及都城外浦線ノ國有鐵道豫定線編入ヲ將來ノ條件トシテ當時無所屬タリシ都城市及北諸縣郡地方選出縣會議員數名並同地方ヲ主タル根據地トシテ選出セラレタル當時民政黨所屬衆議院議員一名ヲ政友會ニ入黨セシムトシテ遂ニ其ノ目的ヲ達成セリ

元來右入黨條件ノ一トシテ利用セラレタル女子師範學校ハ現在宮崎縣管内ニ一校ヲ存スルノミニシテ縣教育上ノ見地ヨリスルモ亦他ノ諸般ノ關係ヨリ見ルモ之ヲ縣ノ中央ニシテ且縣廳所在地タル宮崎市ニ存置スルヲ至當トスルコト勿論ナリ故ニ山岡知事ニ本校移轉ノ底意アルコト一度世上ニ傳ハルヤ宮崎市民ハ固ヨリ移轉先タル都城市並北諸縣郡ヲ除ク他地方ノ縣民ハ舉テ其ノ不法ヲ叫ビ縣當局カ神聖ナルヘキ教育機關ヲ一政黨ノ黨勢擴張ノ具ニ供セムトスルノ不當ナルヲ訴ヘ專ラ該移轉計畫ヲ阻止ニ努メ殊ニ現在同校所在地タル宮崎市ニ於テハ山岡知事カ強テ同校ヲ移轉ヲ行ハムカ或ハ地方ノ治安モ爲ニ維持困難ニ至ルヘキ不穩ノ狀況ヲ呈スルニ至レリ

月十一日東京市外千駄ヶ谷町原宿ニ於ケル同人ノ私宅ニ於テ縣教育並一般縣治上ノ見地ヨリ切ニ本計畫ヲ中止セムコトヲ勸告シ置キタリ

右ノ如ク縣民輿論ノ反對アリ且本員等ニ於テ好意の忠告ヲ試ミタルニ拘ラス山岡知事ハ該移轉計畫ヲ強行セムトシ之カ所要經費ヲ昭和四年度追加豫算ニ編成シ客年十二月十五日開會ノ宮崎縣會ニ付議シタル爲地方民ノ感情ヲ激成シ遂ニ宮崎市內ニ於テ置縣以來未タ嘗テ經驗シタルコトナキ一大騷擾事件ヲ誘發スルニ至レリ

右騷擾事件ノ結果縣會ハ一時本件ノ審議ヲ延期シタルモ政友會所屬議員ノ多數ナルヲ持テ遂ニ客年十二月二十七日「宮崎都城兩市ノ融和ヲ計リ人心安定ヲ待テ執行ス」トノ條件ヲ附シテ本案ヲ可決スルニ至リタルカ右附帶決議ノ趣旨ハ何レノ場合ヲ豫想スルモ之カ實現ヲ期スルコト不可能ナリ

女子師範學校ノ移轉カ縣治諸般ノ見地ヨリ失當ナルコトハ論ヲ俟タサル所ナルカ騷擾事件發生ノ當日ハ恰モ宮崎市ニ於ケル消防器具點檢ノ常例日ニ當リ且平常器具試用ノ爲ニ使用スル用水池ハ縣會議事堂ヲ距ル僅僅數十間ヲ出テス加之斯ノ如キ四圍ノ事情ヲ無視シ該用水池ト縣會議事堂ノ中間ニ位スル縣所有ノ公會堂ヲ當日移轉反對ノ爲ニ開催セル縣民大會場トシテ使用ヲ許可シタルカ如キハ治安警察ノ當局者トシテ當時ニ於ケル宮崎市民ノ空氣ニ顧ミ其ノ職務執行上怠慢アリタルコトハ否定シ能ハサル所ナルヘシ

山岡知事カ宮崎縣ニ於ケル政友會ノ地盤擴張ノ爲ニ奔走セル事實ハ單ニ上記ノ問題ニ止マラス或ハ金融機關ニ干渉シテ特ニ政友會員ニ便宜ヲ與ヘシメムト試ミ又ハ地方有志者ヲ勸說シテ政友會ニ入黨セシメタルカ如キ又管内土木計畫ヲ利用シテ地方民ノ政友會入黨ヲ誘致セル等殆ト本員ハ敘上ノ事實ヲ基礎トシテ左ノ各項ニ關シ政府ノ所見ヲ聽カムト欲スルモノナリ

一 政府ハ山岡知事ノ行動ヲ以テ地方官トシテノ職務ヲ懈怠シ且甚シク官紀ヲ紊亂スルモノト認メサルヤ否ヤ

二 政府ニ於テ前問ヲ肯定スルニ於テハ山岡知事ヲ處分スルノ意思ヲ有スルヤ否ヤ

三 前記縣會ノ決議ニ基キ山岡知事カ女子師範學校移轉ノ認可ヲ申請セル場合政府ハ之ヲ却下スルノ意思ヲ有セザルヤ否ヤ

昭和四年二月十九日

内閣總理大臣 男爵田中 義一

衆議院議員二見其郷君提出山岡宮崎縣知事ノ失政ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員二見其郷君提出山岡宮崎縣知事ノ失政ニ關スル質問ニ對スル答辯書

宮崎縣ニ於ケル女子師範學校移轉ニ關シテハ同縣ノ財政及教育上ノ見地ヨリ年來ノ問題ヲ解決シタルモノニシテ其ノ間何等黨派ノ偏見ニ出テタルモノニアラス其他ノ事項ニ就テモ同縣知事ハ地方官トシテ職務ヲ懈怠シ又ハ官紀ヲ紊亂シタルモノト認メ難シ又女子師範學校移轉認可ニ關シテハ目下調査中ナリ

昭和四年二月十九日

内務大臣 望月 圭介  
文部大臣 勝田 主計

議員ノ特權ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也

昭和四年一月三十一日

議員ノ特權ニ關スル質問主意書  
提出者 横山勝太郎

第一 衆議院議員小俣政一君昭和三年十一月二十日以來拘禁セラレ帝國議會召集セラレタルニ拘ラス今尙之ヲ釋放セ

サルハ妥當ナラスト認ム政府ノ所見如何

第二 兩議院ノ議員ハ現行犯罪又ハ内亂外患ニ關スル罪ヲ除ク外會期中其ノ院ノ許諾ナクシテ逮捕セラレルコトナシトハ憲法第五十三條ノ明揭スル所ニシテ之レ議員ノ身體ニ關スル保障ニシテ最重要ナル特權ノ一ニ屬ス先例ニ依レハ會期前即チ帝國議會召集前ニ於テ逮捕セラレタル場合ハ此ノ明文ニ抵觸セ

スト解釋シ其ノ院ノ許諾ナクシテ所謂逮捕ヲ繼續シタルハ議員ノ特權ヲ輕視スルノ甚シキモノナリ政府ハ憲法第五十三條ノ保障ニ關シ正條ノ精神ヲ尊重シ適當ナル措置ヲ採ルノ意思ナキヤ右及質問候也

昭和四年二月十九日

内閣總理大臣男爵 田中 義一  
衆議院議長元田肇殿

衆議院議員横山勝太郎君提出議員ノ特權ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕

衆議院議員横山勝太郎君提出議員ノ特權ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 衆議院議員小俣政一君ノ拘禁ハ豫審取調上ノ必要ニ基クモノニシテ已ムヲ得ザルモノト認ム  
二 憲法第五十三條ハ議員カ帝國議會召集前ニ逮捕セラレタル場合ニ適用ナキモノト解スルハ正當ニシテ政府ハ此解釋ノ先例ヲ變更スヘキモノニ非スト思料スルモ司法行政監督權ノ範圍內ニ於テ出來得ル限リ適當ナル措置ヲ執リ刑事手續上ノ運用ニ付注意ヲ爲スヘシ

昭和四年二月十九日

司法大臣 原 嘉道

思想善導ノ政策ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和四年一月三十一日  
提出者 三宅 碧

思想善導ノ政策ニ關スル質問主意書  
一 政府ハ思想善導特ニ青年學徒ノ思想善導ニハ最善ノ努力ヲ致シツツアリト謂フモ其ノ努力ハ如何ナル方針ノ下ニ如何ナル方法ヲ以テ爲シツツアル乎  
二 思想問題ニ關聯シテ近年惹起シタル累次ノ不祥事件ニ於テ官立大學其ノ他文部省直轄學校ノ學生生徒カ常ニ多數ヲ占メ居ル事實ニ對シ政府ハ之ヲ如何ニ考ヘツツアル乎  
三 金力政治ハ思想善導ノ聲明ト兩立セズ政府ハ世論ニ省ミ其ノ非難ヲ一掃スルニ必要ナル措置ヲ講スルノ意ナキ乎  
右及質問候也

昭和四年二月十九日  
內閣總理大臣男爵 田中 義一  
衆議院議長元田肇殿  
衆議院議員三宅磐君提出思想善導ノ政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
〔別紙〕  
衆議院議員三宅磐君提出思想善導ノ政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
一 政府ハ現下ノ世相ニ鑑ミ青年學生其ノ他ノ思想善導ノ最モ急務ナルヲ認メ種々ノ方策ヲ講究實施シツツアリト雖モ其ノ根本方針ハ國體觀念ノ理解、國民精神ノ涵養ヲ圖ルコトニ在リ而シテ各種教育ノ制度並内容ノ改善ヲ必要トスルヲ以テ先ツ中學教育ノ改善案ヲ立テ目下文政審議會ニ諮詢中ニシテ尙引續キ師範教育小學教育其ノ他諸般ノ教育制度ノ改善ニ及フヘキ計畫ナリ尙直轄學校ニハ新任ノ學生主事、生徒主事ヲ置クコトトシ校長教官ト相俟テ學生生徒ノ思想善導上遺憾ナカラシメコトヲ期セリ又文部省ニハ學生課ヲ設ケ思想問題ニ關スル事項ヲ研究調査セシメ各學校ト相連繫シテ思想善導ニ資スヘク銳意努力シツツアリ其ノ他男女青年一般國民ノ思想善導ニ資スル爲メ社會教育ノ方面ニ於テモ成人教育講座ノ施設、善良ナル讀物及フィルムノ供給、青年指導者ノ養成等漸次其ノ施設ヲ充實シ且教化團體等ノ活動ヲ促ス方法ヲ講シツツアリ又國民ノ思想ヲ善導セシムルニハ宗教家ノ努力ニ俟ツコト大ナルモノアルヲ以テ其ノ活動ヲ促スコトニ努メツツアリ  
二 官立學校ヨリ左傾ノ學生生徒ヲ出シタルハ最モ遺憾トスルトコロナリ政府ハ前項ニ述ベタルカ如ク目下銳意學生生徒ノ訓育ニ力メツツアリ  
三 政府ハ御質問ノ如キ金力政治ノ事實ヲ認メス  
右及答辯候也  
昭和四年二月十九日  
文部大臣 勝田 主計

宮崎市騷擾事件ニ關スル質問主意書  
右成規ニ據リ提出候也  
昭和四年一月三十一日  
提出者 三浦 虎雄  
外一名

宮崎市騷擾事件ニ關スル質問主意書  
現內閣成立以來宮崎縣下各地ノ地方的施設ハ如何ニ緊切當然ノ事項ト雖政友會宮崎支部ノ諒解支持ヲ受クルニ非サレハ縣當局ハ之ヲ捨テテ顧ミルコトナシテ以テ同縣下町村ノ中ニハ何等政友會ノ主義政策ニ共鳴スルニ非スシテ只一途ニ其ノ地方施設ノ實施貫徹ヲ翹望スル上ヨリ其ノ入黨ヲ餘儀ナクセラルル實情ニ在リテ入黨スルトセザルトニ拘ラス此ノ枉屈ニ對スル宮崎縣民鬱積憤懣ノ情ハ蓋想像ノ外ニ在リ然ルニ此ノ如キ鬱氣ノ間ニ政友系縣會議員支持ノ下ニ山岡縣知事ニ依テ現在宮崎市ニ在ル縣立女子師範學校カ宮崎市ニ比シ教育上何等優越ノ點ナキ都城市ニ移轉改築セラレムトシ之ト相前後シテ都城市附近選出縣會議員四名都城市會議員二十七名ハ十月十七日政友會ニ入黨シ水久保代議士又十二月二日入黨シ入黨シタル事實トハ山岡宮崎縣知事並政友會宮崎支部從來ノ行動ニ徵シ宮崎市民カ之ヲ以テ神聖ナルヘキ教育機關ヲ黨勢擴張ノ具ニ供シタリト思惟シ其ノ感情憤激ノ極度ニ達シタルハ蓋當然ナリト謂フヘシ

シスノ如キ宮崎市民ノ否認反抗ノ險惡ナル輿論ニ對シ何等カ理解水釋ノ手段ヲ執ルコトナク山岡知事ト政友系縣會議員トハ其ノ壓倒的勢力ニ倚賴シテ正義ト條理ト民意トヲ無視シテ此ノ女子師範學校移轉案ヲ強行議決セムトシテ十二月十五日竟ニ此ノ騷擾事件ヲ惹起セルモノナリ  
右事實ニ對シ  
第一 總理大臣ハ自己カ總裁タル政友會ノ黨勢擴張ニ原因シテ斯ル重大ナル事態ヲ惹起シタルコトニ對シ何等政治上ノ責任ヲ痛感セザルカ  
第二 總理大臣ハ國民悉ク歡喜ニ滿テタル御即位式ノ直後ニ於テ宮崎市及岐阜縣下ニ於テ相踵テ直接行動ニ出テ騷擾事件頻發セルハ現政府ニ對スル國民ノ政治的絶望ナリト考ヘザルカ  
第三 文部大臣ハ宮崎女子師範學校ノ都市移轉ヲ以テ必要且正當ノ措置ナリト考フルカ  
第四 內務大臣ハ古宇田事件直後ニ於ケル宮崎縣知事ノ人選ハ重大ナルニ拘ラス休職中ノ山岡國利ヲ起用シテ此ノ騷擾事件ヲ惹起シタルコトニ對シ人事行政上ノ不用意ト責任トヲ自覺セザルカ  
第五 內務大臣ハ女子師範學校移轉カ縣政上ノ問題トナリテヨリ騷擾勃發迄數箇月ノ期間ヲ有シタルニ拘ラス何等對策ヲ講スルコトナク往再經過シ此ノ事件ヲ惹起シタルコトニ對シ職務怠慢監督不行届ノ責任ヲ感セザルカ  
第六 內務大臣ハ宮崎縣知事カ明白ナル民意ノ反抗ヲ無視シ 御即位式ノ直後而モ中等學校生徒御親閱ノ其日ノ時刻ニ於テ教育機關移轉ノ問題ニ關シ此ノ騷擾ヲ惹起シタルハ「國民和合」ノ御聖旨ニ背戾シタルノミナラス又時期ヲ辨ヘサル不謹慎ノ措置ナリト認メザルカ  
右及質問候也  
昭和四年二月十九日  
內閣總理大臣 男爵田中 義一  
衆議院議長元田肇殿

衆議院議員三浦虎雄君外一名提出宮崎市騷擾事件ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候  
〔別紙〕  
衆議院議員三浦虎雄君外一名提出宮崎市騷擾事件ニ關スル質問ニ對スル答辯書  
宮崎縣ニ於ケル女子師範學校移轉ニ關シテハ同縣ノ財政及教育上ノ見地ヨリ數年來ノ懸案タリシ問題ヲ解決セントスルモノニシテ其ノ間何等黨略的ノ動機ニ出ツルモノニ非ス、移轉問題ノ日程當日偶々騷擾ノ惹起シタルハ海ニ遺憾トスル所ナリモ爾來移轉理由漸次縣民ノ諒解スル所ト爲リ人心亦平靜ニ歸シタリ又現任知事ノ任用ハ失當ト認メス  
右及答辯候也  
昭和四年二月十九日  
內閣總理大臣 男爵田中 義一  
內務大臣 望月 圭介  
文部大臣 勝田 主計  
〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕  
一 去十六日理事補關選舉ノ結果左ノ如シ  
未成年者飲酒禁止法中改正法律案(星島二郎君外六名提出)外一件委員  
理事 蔭山貞吉君(理事西岡竹次郎君  
本月十五日委員辭任ニ付其ノ補關)  
一 去十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ  
朝鮮簡易生命保險特別會計法案外三件委員  
佐々木長治君 高橋熊次郎君  
遠藤 勝作君 野田 俊作君  
小谷 節夫君 坂東幸太郎君  
飯塚 知信君 堤 康次郎君  
河川丈太郎君  
信託業法中改正法律案外一件委員  
鈴木 隆君 平賀 周君  
松岡 伊三君 大橋亦兵衛君  
著本 太吉君 磯野 庸幸君  
福井 甚三君 金光 庸夫君

鈴木 安孝君 田中 隆三君  
 山邊 常重君 定塚門次郎君  
 原 夫次郎君 白田 久内君  
 森 峰一君 岸 衛君  
 檀野 禮助君 崎山 武夫君  
 六大都市ニ關スル法律案外一件委員

吉津 度君 中井 一夫君  
 鈴木吉之助君 加藤謙五郎君  
 赤尾藤吉郎君 津雲 國利君  
 國枝捨次郎君 立川 太郎君  
 岸田 正記君 森田 茂君  
 野田文一郎君 小山 松壽君  
 戸井 嘉作君 枅谷 寅吉君  
 吉川吉郎兵衛君 櫻内 辰郎君  
 田崎 信藏君 鶴岡 和文君

一昨十六日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ  
 賠償金特別會計法中改正法律案外二件委員  
 辭任崎山 武夫君 補關志波安一郎君  
 辭任小野 重行君 補關原 夫次郎君  
 競馬法中改正法律案委員  
 辭任佐藤 啓君 補關菅村 太事君  
 辭任今井 健彦君 補關水久保甚作君  
 辭任平川松太郎君 補關大里廣次郎君  
 一昨十八日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第三部選出豫算委員 二神 駿吉君  
 一昨十八日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ  
 第一部選出 橫山勝太郎君(藤井啓一君 補關)

第一部選出 丹下茂十郎君(郡谷照一郎 補關)

第六部選出 森田政義君(木本主一郎君 補關)

第八部選出 高木益太郎君(神田正雄君 補關)

第八部選出 豫算委員 村松恒一郎君(西脇晉君 補關)  
 一昨十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ  
 朝鮮簡易生命保險特別會計法案(政府提出)外三件委員  
 委員長 佐々木長治君  
 理事小谷 節夫君 理事飯塚 知信君  
 信託業法中改正法律案(若宮貞夫君外四名提出)外一件委員  
 委員長 金光 庸夫君  
 理事名川 侃市君 理事岸 衛君  
 一昨十八日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

六大都市ニ關スル法律案外一件委員  
 辭任鶴岡 和文君 補關沼田嘉一郎君  
 辭任櫻内 辰郎君 補關瀨川 光行君  
 辭任戸井 嘉作君 補關三宅 磐君  
 辭任枅谷 寅吉君 補關森保 祐昌君  
 信託業法中改正法律案外一件委員  
 辭任平賀 周君 補關赤尾藤吉郎君  
 辭任福井 甚三君 補關板谷 順助君  
 辭任大橋亦兵衛君 補關松村 光三君  
 辭任松岡 俊三君 補關名川 侃市君  
 辭任磯野 庸幸君 補關今井 健彦君  
 辭任今井 健彦君 補關磯野 庸幸君  
 府縣制中改正法律案外三件委員  
 辭任淺川 浩君 補關坂東幸太郎君  
 會計検査院法中改正法律案委員  
 辭任齋藤太兵衛君 補關神部 爲藏君  
 鐵道敷設法中改正法律案委員  
 辭任肥田 琢司君 補關小山 寛藏君  
 朝鮮簡易生命保險特別會計法案外三件委員  
 辭任野田 俊作君 補關中井 一夫君  
 辭任遠藤 柳作君 補關松野 鶴平君  
 賠償金特別會計法中改正法律案外二件委員  
 辭任奥山 龜藏君 補關寺島 權藏君  
 ○議長(元田肇君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮ヲ致シマス、昭和三年勅令第百二十九號治安維持法中改正ノ件、承諾ヲ求ム

ルノ件、及若宮貞夫君外四名提出、信託業法中改正法律案委員長ヨリ、本日ヨリ本會議中ト雖モ、委員會開會ノ許可ヲ得タイト云フ申出ガアリマス、之ヲ許スニ御異議アリマセヌカ  
 【異議ナシト呼フ者アリ】  
 ○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メマシテ、之ヲ許可致シマス、本日ノ日程ニ掲ゲマシタ質問一ヨリ四迄ハ、政府ヨリ答辯書ヲ受領致シマシタ、仍テ日程ヨリ之ヲ省キマス、尙ホ質問五ハ、提出者ノ申出ニ依リ、之ヲ延期致シマス、質問ニ對スル政府ノ答辯ニ關シマシテ、意見陳述ノ申出ガアリマス、議案編湊シテ居リマスカラ、適當ノ時機ニ之ヲ許スコトニ致シマス、議事日程第一ニ入りマス、工場法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——秋田内務次官

第一 工場法中改正法律案(政府提出) 第一讀會  
 工場法中改正法律案 第一讀會  
 工場法中左ノ通改正ス  
 第二十四條中「第九條」ヲ「第三條、第四條、第七條乃至第九條」ニ改メ同條ニ左ノ但書ヲ加フ  
 但シ第三條ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ其ノ適用後二年以内同條ノ就業時間ヲ一時間以内延長スルコトヲ得  
 (政府委員秋田清君登壇)  
 ○政府委員(秋田清君) 本案提出ノ趣旨ヲ申上ゲマス、現行工場法ハ、原則トシテ常時十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ニ適用致シテ居ルノデアリマスガ、織物業等ニ於キマシテハ、力織機普及致シ、且ツ能率ガ増進致シタ結果トシテ、職工十人未滿ノ工場ニ於キマシテモ、多數ノ力織機ヲ備ヘ、其組織形態ニ於テ、工場法適用ノ工場ト少シモ異ラナイモノガ多クデアリマス、而シテ是等ハ就業時間ノ制限ヲ受ケナイガ爲ニ、舊來ノ慣習ニ依リマシテ、甚シク長時間ノ作業ヲ致シ、勞働者ノ衛生上遺憾ノ點ガ少クナイノデアリマス、加之工場法適用工場トノ間ニ於キマシテ、洵ニ不公平、不

權衡ガ甚シクシテ、適用工場ハ一種ノ不正競争ヲ受ケルコト、ナルガ如キ有様デアリマス、故ニ工場法ヲ改正致シマシテ、原動機ヲ使用スル工場ニハ、特ニ必要アル業務ニ付キ、使用人員ノ如何ニ拘リマセズ、工場法ノ就業時間、休日、休憩ニ關スル規定ヲ適用シタイト考ヘルノデアリマス、改正ノ要旨ハ只今申述ベマシタ次第デゴザイマス、何卒御協賛ヲ願ヒマス(拍手)  
 ○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマス、通告ガアリマス——栗原彦三郎君——登壇ヲ望ミマス  
 (栗原彦三郎君登壇)  
 ○栗原彦三郎君 只今日程ニ上リマシタ工場法中改正法律案ニ付キマシテ、本案ニ關聯致シマシテ一點ト、本案ニ就テ二點ノ、極ク簡單ナル質問ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス、本案ニ關聯シタ所ノ質問ト致シマシテハ、機業地ニ於キマシテハ、何レノ機業地ニ於キマシテモ、昔カラ賃機業ト云フモノガ澤山アッタノデアリマスガ、近來工場機業ノ發達、並ニ機械機業ノ發達ニ連レマシテ、賃機業者ト云フモノハ、非常ニ生活上ノ脅威ヲ受ケテ居ルバカリデナク、二年後、或ハ三四年ノ後ニ於キマシテハ、賃機業ト云フモノハ、殆ド全滅シナケレバナラナイト云フ状態ニ陥リマシテ、賃機業ニ從事致シテ居リマス所ノ、全國百三四十万人ノ人々ハ、是ガ爲ニ全く生活ノ途ヲ失テ、社會問題ノ上カラ容易ナラザル事相ヲ惹起サントシテ居ルノデアリマスガ、政府ハ此賃機業者救済ニ付テ、如何ナル御考慮ヲ持テ居ラレカ、如何ナル方策ヲ講セントシテ居ラレカ、歐羅巴各國ニ於キマシテハ、機械工業發達ノ爲ニ、手織業者ノ生活ヲ失フ際ニ於キマシテハ、相當之ガ救済ノ策ヲ講ジタノデアリマスガ、我が政府ニ於テモ、之ガ救済ニ付テ相當ニ御考ニナッテ居リマスナラバ、其御考ニナッテ居リマスル要點ヲ、御漏シテ願ヒタイノデアリマス、又本案ニ關聯致シマス所ノ二ツノ質問ノ第一ハ、只今政務次官ノ提案ノ御説明、及提案理由書ヲ拜見致シマスル

ト、今日マデ工場法ノ適用ヲ受ケテ居ラナ  
カッタ所ノ、十人以下ノ職工ヲ使用シテ居  
リマス小サナ工場ニ對シテ、工場法ヲ適用  
セントスルノガ、本改正案ノ主要ノ目的デ  
アルヤウニ思フノデアリマス、工場法ヲ改  
正致シマシテ、從來工場法第三條、第四條、  
或ハ第七條、第九條ノ適用ヲ受ケナカッタ  
小工場ニ働イテ居リマス所ノ、即チ十人  
以下ノ小サイ工場ニ働イテ居リマス少年  
及女子労働者ニ對シテ、其保健衛生ノ上  
ニ、相當ノ保護ヲ加ヘルト云フコトハ、最  
モ必要ナル事デアリマス、私共之ニ對シ  
テハ、相當贊成ノ意ヲ表シタイ者デアリマ  
ス、併ナガラ茲ニ一ツ御注意ヲ願ハナケレ  
バナラナイコトハ、十人以下ノ工女ヲ使テ  
居リマス所ノ工場ノ如キモノハ、即チ大體ニ  
於テ自ラ機業ヲ營ム者デナクシテ、大體ニ  
於テ賃機業ヲ營ンデ居ル所ノ者デアリマス、  
近來機業ガ、非常ニ不景氣ガ續イテ居リマ  
スル爲ニ、工場法ノ適用ヲ受ケナイデ、十一  
時間或ハ十二時間働イテ居リマシテモ、其工  
賃ニ依リマシテ、生活ヲ維持シテ居ルコト  
スラ、非常ニ困難デアルノニ拘ラズ、今急  
激ニ工場法ノ適用ヲ受ケマスル爲ニ、是等  
小工業者ハ殆ド其業ヲ繼續スルコトガ出  
來ナイデ勢ヒ廢業スルヨリ外ナカラウト思  
フノデアリマスガ、若シ左様ナコトニ相成  
リマスルト、全國ニ於ケル機業ト云フモノ  
ハ、一大打撃ヲ受ケ、産業上相當困難ニ遭  
遇シナケレバナラナイト考ヘルノデアリマ  
スガ、政府ハ只今本案ニアル所ノ、此但書  
ノ適用ヲ、地方長官ガ宜シト認メマサル  
ナラバ、十一時間マデ宜シト云フノデアリ  
ムカ、之ヲ十二時間、今一時間、暫クノ時  
奮發シテ、此賃機業者——小サイ工業家ガ  
受ケル所ノ打撃ヲ緩和スル所ノ御考ハナイ  
カドウデアラカト云フノガ、本案ニ關スル  
質問ノ第一點デアリマス、第二點ハ、斯様  
ニ急激ニ工場法ノ適用ヲシテ、小サイ工業  
家ニ、大工業家ト同ジヤウナ負擔ヲ負ハシ  
メルト云フコトハ、小工業家ニ對スル壓迫  
ニハナラナイカドウカ、社會問題ノ上カラ、  
相當ニ研究ヲシテ行カケレバナラヌト考

ヘルノデアリマスガ、政府ノ御所見ハ如何  
デアリマスカ、以上ノ三點ニ付テ、明快ナ  
ル御答辯ヲ要求スル次第デアリマス(拍手)

(政府委員長岡隆一郎君登壇)  
○政府委員(長岡隆一郎君) 只今ノ栗原君  
ノ御質問ニ付テ御答申上ゲマスカ、當今賃  
機業ガ、所謂産業革命ノ脅威ヲ受ケテ、其  
維持ニ困難ヲ感ジテ居ルト云フコトニ付キ  
マシテハ、海ニ御説ノ通りト考ヘテ居リマ  
ス、併ナガラ此賃機業者ニ脅威ヲ與ヘ、其  
將來ニ向テ暗影ヲ投ジテ居リマスルノハ、  
今回工場法ノ改正ニ依テ取締ヲ受ケマスル  
所ノ、所謂小工場デゴザイマシテ、此小工  
場ハ、少ナキモノハ十三四時間、多キモノハ  
十七八時間労働者ヲ、所謂虐使シテ居ルト  
申シテ宜イ位ニ使シテ居リマスル爲ニ、從來  
ノ賃機業者ガ、非常ナ苦ミヲ受ケテ居ルノ  
デアリマスカラ、今回工場法ノ改正ニ依リ  
マシテ、只今栗原君ノ御質問ノ賃機業者ノ如キ  
ハ、寧ろ之ニ依テ利益ヲ受ケルコトニ相成  
リハシナイカト考ヘマス、併ナガラ此産業  
革命ノ振起ニ依テ、斯ル家内工業、小工業  
家ハ、次第ニ大工業ノ壓迫ヲ受ケル、之ニ  
對スル救濟策ヲドウスルカト云フ御質問ニ  
對シマシテハ、實ハ今日商工省ノ政府委員  
モ出席シテ居リマスカラ、此方面ヨリ適當  
ナ御答ヲ申上ゲルコトデアラウト考ヘテ居  
リマス、ソレカラ第二ニ工場法ノ適用ヲ賃  
機業ニ及ボスト云フコトハ如何デアラウカ  
ト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、只今  
御所見ヤウニ、工場法ノ全部ヲ是等ノ小工  
場ニ適用スルノデハゴザイマセヌノデ、單  
ニ労働時間及ビ救恤ニ關スル規定ヲ適用ス  
ルガケデアリマスルノミナラズ、賃機業者  
ノ多クハ、一家家内工業ノ遺方ニ依リマ  
シテ、他ニ職工ヲ雇ハズ、労働者ヲ雇ハズ、  
一家ノ中ニ於テ仕事ヲシテ居ル者ガ多イノ  
デアリマス、是等ノ職工ヲ雇ハズ、他人ヲ交  
ヘズシテ、家内工業ノニヤテ居リマスル者  
ニ付キマシテハ、工場法ノ適用ハゴザイマセ  
ヌカラシテ、ソレ等ノモノニ付キマシテハ、  
御心配ノヤウナコトハナカラウカト考ヘテ  
居リマス、第三ノ急激ナル壓迫ヲ小工業者

ニ與ヘル危險ガナイカト云フ御質問ニ對シ  
マシテハ、從來地方廳ニ於キマシテ——或  
ル地方ニ於キマシテハ、或ハ十二時間、或  
ハ十三時間ト云フヤウニ、地方廳ノ命令ニ依  
リマシテ此労働時間ヲ制限致シテ居リマ  
ス、今日之ヲ十二時間ニ制限致スト云フコ  
トニ依テ、非常ニ急激ナ壓迫ヲ小サイ工場  
ニ與ヘル危險ハ無イト考ヘテ居リマス、寧  
口從來ノヤウニ、非常ニ労働者ヲ虐使スル  
ト云フコトニ依テ受ケル利益ヨリモ、相當  
ノ時間ニ之ヲ制限シテ、其間ニ労働力ヲ涵  
養シ、又能率ノ増進ヲ圖ルト云フコトハ、  
産業上ノ利益トナルコト、信ジテ居ル次第  
デゴザイマス

(政府委員吉植庄一郎君登壇)

○政府委員(吉植庄一郎君) 只今栗原君ノ  
御質問ハ、賃機ノ問題ニ付テ、政府ハ何カ  
之ニ對シテ計畫シテ考ヘテ居ルコトガアル  
カト云フコトデアリマスガ、御同感デアリ  
マス、一方機械工業ノ發達ニ伴フテ、賃機  
ヲ持テ居ル者ニ脅威ヲ與ヘルコトハ、已ム  
ヲ得ナイコトデアリマスケレドモ、サラバ  
ト云フテ、唯、之ヲ見殺シシテ居ルト云フコ  
トハ甚ダ宜クナイ、何トカシテ之ヲ救ハナ  
ケレバナラヌト思フテ居リマス、其方法ハ今  
色々考究ヲ致シテ居リマスガ、或ハ組合ノ  
ヤウナモノヲ組織セシメテ、ソレデ機械ヲ  
買ハセテヤラセルヤウニスルカ、何カ方法  
ヲ一ツ考究シナケレバナラヌト思フテ、折角  
商工省ニ於テモ今考慮中デアリマス、是ダ  
ケ御答ヲ申シテ置キマス

○栗原三郎君 諒承シマシタ

○井上剛一郎君 本員ハ只今ノ問題ニ付テ、  
質問ノ通告ヲ致シテ置キマシタガ、只今栗  
原君ノ質問ニ對スル御答辯ヲ伺ヒマス、  
其趣旨ハ私ト大同小異デアリマスカラ、私  
ハ其煩ヲ省イテ、委員會ニ於テ詳細ニ互ル  
コトヲ伺ヒタイト思ヒマス

(鈴木文治君登壇)

○鈴木文治君 此機會ニ於キマシテ、  
我國ノ工場法ノ全般ニ關シテ、約五點ニ付  
テ御伺テ致シタイノデアリマス、私ノ御尋  
致シマスルコトハ、立法技術ニ關スルコト

ヨリモ、寧ろ政務ニ關スルコトデアルト思  
フノデアリマスカラ、出來ルナラバ内務大  
臣ノ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマスガ、此  
席ニ御見エ無イヤウデアリマスカラ、政務  
次官カラ御答辯ヲ御願致シタイノデアリマ  
ス、第一ハ労働時間ニ關スル問題デアリマ  
ス、工場法ノ第三條ニハ「工業主ハ十六歳  
未滿ノ者及女子ヲシテ一日ニ付十一時間ヲ  
超エテ就業セシムルコトヲ得ス」ト規定シ  
テアルノデアリマシテ、即チ一日ノ作業時  
間十一時間ト云フモノヲ、我國ノ標準労働  
時間トシテ居ルノデアリマス、併ナガラ更  
ニ其第二項ニ於キマシテ「主務大臣ハ業務  
ノ種類ニ依リ本法施行後十五年間ヲ限り前  
項ノ就業時間ヲ二時間以内延長スルコトヲ  
得」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマシ  
テ、場合ニ依リマシレバ十三時間マデ、勞  
働時間ヲ課スルコトガ出來ルヤウナ規定ニ  
ナツテ居リマス、然ルニ御承知ノ通り、労働  
時間ノ問題ニ付キマシテハ、既ニ千九百十  
九年亞米利加ノ首府華盛頓ニ於テ開カレマ  
シタ、第一回國際労働會議ニ於ケル所ノ、  
八時間労働時間制條約案ト云フモノガ規定  
シテアルノデアリマス、即チ労働時間ヲ國  
際的ニ八時間ニ限局シヤウト云フ案デアリ  
マシテ、此案ハ多數ヲ以テ通過致シタノデ  
アリマス、即チ三分ノ二以上ノ多數ヲ以  
テ通過致シタノデアリマスガ、實際我國ト  
印度トハ、互ニ提携ヲ致シマス、特殊國  
ノ待遇ヲ要求シテ居ルノデアリマス、即チ  
我國ノ氣候風土ノ關係、産業ノ發達ガ未熟  
デアルト云フヤウナ關係、其他ヲ考慮シテ、  
我國ニ於テハ、原則トシテ八時間労働時  
間制ニハ贊成デハアルケレドモ、併ナガラ  
日本ノ現狀ヨリ鑑ミテ、直ニ八時間労働制  
ノ履行ハ覺然ナイト云フコトカラ、是非之  
ヲ九時間半ニシテ貫ヒタイト云フコトヲ要  
求シ、印度ハ十時間制ト云フコトヲ要求シ  
コトニシテ、印度ノ特殊國ノ待遇ヲ受ケル  
國ハ九時間半ト云フコトニナツテ居ルノデ  
アリマス、然ルニ印度ハ、千九百二十一年  
ニ於テ、本條約案ノ批准ヲ致シテ居リマ

ス、批准ヲ致シテ居リマス、ミナラズ、其後履行ヲシテ居ルト云フノデアリマス、然ルニ其際、我國ト印度トハ約束ノ上ニ於テ、特殊國ノ待遇ヲ要求シ、日本ノ九時間半ニ對シテ、印度ガ十時間ト云フコトニナリテ居リマシテ、印度ハ逸早く千九百二十一年以來、此條約ヲ批准シ、履行シテ居ルニ拘ラズ、日本ハ依然トシテ此問題ニ付テハ何等ノ措置ヲ執リテ居リマセズ、何等ノ措置ヲ執リテ居リマセヌノミナラズ、千九百十九年ニ於テ、八時間制労働條約案ニ對シ、九時間半ノ特殊待遇ヲ受ケテ置キナガラ、其後三年ヲ經マシタ大正十二年三月二十九日、法律第三十三號ノ改正ト云フコトニナリテ居リマスガ、此法律ハ依然トシテ原則十一時間、場合ニ依レバ十三時間マデ時間ノ延長ヲスルコトガ出來ルヤウニナリテ居ルノデアリマス、其結果ト致シマシテ、國際労働會議ノ、近年ノ傾向ヲ見マスルナラバ、爰數年引續キテ、印度ノ資本代表並政府代表等ハ、日本ガ印度ト約束ヲシテ、ア、云フ提案ヲシテ置キナガラ、印度ハ逸早く、千九百二十一年以來履行シテ居ルニ拘ラズ、日本ハ依然トシテ、此時間制ノ條約案ヲ批准モセズ、履行モシナイデ居ル、其結果印度ノ工業殊ニ織工業ハ、日本ノ同ジ工業ノ爲ニ「アンフェア」、コンベチション」不正ナル競争ヲスル結果トナリ、印度ノ紡績業ハ非常ナル打撃ヲ被テ居ルノデアリ、日本ハ既ニ先年、此問題ニ付テ印度ト協定ノ上ニ於テ、同ジク特殊國ノ待遇ヲ受ケナガラ、此對手方ノ印度ガ既ニ之ヲ履行シテ居ルニ拘ラズ、日本ハ之ヲ履行シナイデ、所謂不正ナル競争ヲヤルコトニ依リテ、他國ノ工業ノ發達ニマデ打撃ヲ加ヘテ居ルコトハ、國際信義ノ上ニ於テ無視スルコトノ出來ナイコトデハナイカト云フコトヲ申シマシテ、殆ド毎年ノヤウニ繰返シ繰返シ、國際労働會議ニ於テハ、印度ノ資本代表、政府代表ハ、交、立テ日本ノ不信ヲ責メルノデアリマス、國際労働會議ニ參列致シマシタ人ハ、誰デモ同様ノ感ヲ持ツノデアリマシテ、非常ニ肩身ガ狭イヤウナ感ジガスルノデア

ル、日本ノ政府代表ハ大童ニナリテ、色々ノ方面カラソレニ駁撃ヲ試ミテ居ルノデアリマスガ、其會議ニ列スル世界多數ノ國々ノ人々ハ、殆ド嘲笑、若クハ冷笑ノ態度ヲ以テ觀テ居ルノデアリマシテ、日本ノ代表者トシテ此會議ニ列スル者ハ、常ニ冷汗ヲカ、ナケレバナラナイヤウナ状態ニナリテ居ルノデアリマスルガ、政府ハ一體此時間制労働條約ニ付テ、ドウ云フ考ヲ持ツノデアリマセウカ、工場法ニ於テハ十一時間ト云フ原則ヲ決メテ居ル、然ルニ此改正案ノ出來ル前ノ、千九百十九年ニ於テハ、九時間半制ノ労働條約ト云フモノヲ、八時間制労働條約案ノ一種ノ例外的ノ規定ト致シマシテ、サウ云フコトヲ要求シテ居ルノデアリ、其時ニ同ジ約束ヲシタ所ノ印度ハ、逸早く履行シテ居ルノ、何故履行シナイカト云フコトヲ、日本人ハ常ニ責メラレテ居ル、然ルニ之ニ對シテ依然トシテ八時間制労働條約ニ對シテハ、批准促進ノ態度方法ヲ執リテ居ルヤウニハ思ハレヌノデアリマス、是ハ私ハ國內ノ問題トシテモ、重要ナル問題デアルト信ジマスガ、國際ノ立場カラ考ヘマシテモ、非常ニ重要ナル問題デアルト信ズルノデアリマス、其當時ノ日本ノ政府代表ハ、現樞密顧問官ノ鎌田榮吉氏ト、岡實氏デアリマシタガ、資本代表ハ、此議席ニ列シテ居ラレル所ノ武藤山治氏デアラレタノデアリマス、日本ノ労働代表ハ概本卯平氏デアリマシタガ、日本ノ三代表ハ、悉ク其案ニ對シテハ、贊成ノ投票ヲシテ居ルノデアリマス、贊成ノ投票ヲシテ居ルノミナラズ、三分ノ二以上ノ大多數ヲ以テ通過シテ居ルノデアリマスカラ、此問題ニ付テハ、日本ハ之ヲ國內ニ於テ労働立法ノ形ニ於テ履行スベキ所ノ道德的及條約上ノ責任ヲ有スルモノデアルト信ズルノデアリマス、而モ此労働時間制ノ條約ト云フモノハ、十年ノ間ニ於テ其成績ノ思ハシカラザル場合、其勉ノ事情ノ發生シタル時ニ於テハ、此條約案ハ改正スルコトニナリテ居ルノデアリマス、今年ハ丁度其十年目ニナリテ居ルノデア

アリマシテ、恐ラク今年ノ國際労働會議ニ於テ、改訂案ガ出ラウト考ヘルノデアリマス、此際日本ノ政府ハ、如何ナル態度ヲ以テ此國際労働會議ニ臨マレルノデアルカ、世界ニ對シテ不信ノ申聞キヲ如何ニセントスルノデアルカ、或ハ労働時間制ノ問題ニ付テハ、改正スルノ御考ヲ有テ居ラレルカ、若クハ所謂八時間制労働條約案ニ對シテ、御批准ヲ奏請スルヤウナ御準備ヲ御持チニナリテ居ルノデアルカ、此點ヲ私ハ御質申シテ置キタイト思フノデアリマス、其次ニハ工場法ニ依ル、所謂扶助問題デアリマス、此扶助問題ニ付テハ、三點御同致シタイノデアリマスガ、色々細イコトヲ御尋致シタイト思ヒマスケレドモ、是ハ委員會ニ讓リタイト思ヒマス、大マカナ點ガケ、扶助ノ問題ニ關聯シテ三點ヲ御同致シマス、工場法施行令第四條ニ依リマスト云フト「職工業務上負傷シ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ工業主ハ本章ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲スヘシ但シ扶助ヲ受ケヘキ者民法ニ依リ同一ノ原因ニ付損害賠償ヲ受ケタルトキハ工業主ハ扶助金額ヨリ其ノ金額ヲ控除スルコトヲ得」ト云フコトヲ規定致シテ居リマス、即チ私ノ御尋致シタイト思ヒマス所ノ第一ノ要點ハ、職工ガ業務上ノ負傷ヲシタ場合、又ハ疾病ニ罹リ死亡シタル場合ニ於テ、工業主ガ其職工ニ對シテ手當ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ扶助ト御考デアルカ、或ハ賠償ト御考デアルカト云フコトデアリマス、若シ是ガ扶助デアッテ、損害賠償デアナイト云フ考デアルト致シマシタナラバ、此工場法施行令第四條ノ扶助ヲ受ケタル者ガ、損害賠償ニ依テ、扶助ノ金額以上ノ金額ヲ受ケタ時ハ、扶助金額ヲ控除スルト云フ、此考ハ間違ダナケレバナラスト思ヒマス、扶助ト賠償トハ違テ觀念デアッテ、工場法ノ認めテ居ルノガ扶助デアルト致シマスルナラバ、扶助ト認メラレタル者ハ、同時ニ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトガ出來ル筈デアリマス、損害賠償ニ依テ得タル金額ノ中ヨリ、扶助ニ依テ得タル金額ヲ控除スルト云フコトハ、其理由ヲ爲ササル

モノト認ムルモノデアリマス、一體我國ノ労働立法關係ニハ、扶助ト云フ言葉ガ方々ニ使テアル、鑛夫勞務後扶助規則、或ハ只今御提出ニナリテ居リマス労働者災害扶助法案ト云フガ如キ、扶助ト云フ言葉ヲ使テ居ルノデアリマスガ、扶助ト云フ言葉ハドウ云フ意味ヲ有テ居ルト考ヘテ御出デニナルノデアルカ、私ハ先日此労働問題ニ關スル質問ヲ申上ダマシタ際ニ於テモ、今日新シキ時代ノ觀念ノ下ニ於テハ、労働問題ノ解決ハ、慈悲恩惠救恤ノ如キ考ヲ以テスベキデハナイ、サウ云フ考ヲ以テスルコトハ、誤リデハナイカト云フコトヲ申上ダタノデアリマスガ、若シ扶助ト云フコトガ、恩惠、救恤、情々、憐レミト云フコトヲ意味シマスナラバ、是ハ差別的ノ考デアルノデアリマシテ、是ハ労働問題解決ノ、新シイ時代精神ニ相違シテ居ルモノト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、故ニ私ハ先ヅ工場法ニ於ケル所謂扶助ト云フ言葉ガ、言葉ハ扶助デアルケレドモ、實ハ損害扶助ノ意味デアルカ、ドウカト云フコトヲ御尋致シタイノデアリマス、現ニ政府ハ労働者災害扶助法案ニ關聯致シマシタ参考書類等ニ於テモ、外國ノ労働立法例ニ關スル數多ノ参考書ヲ御出シニナリテ居ルノデアリマスガ、其参考書ニ依テ見マシテモ、世界各國ノ本問題ニ關スル、即チ労働者ノ災害ヲ扶助スル場合ニ於ケル——救済スル場合ニ於ケル、其言葉ト云フモノハ、多クハ即チ賠償、若クハ補償ト云フ言葉ヲ使テ居ル、即チ「コンベンション」、ロー「トカ」コンベンション、アクト」ト云フコトデ、扶助ト云フヤウナ言葉ヲ使テ諸外國ノ立法例ハ見ナイノデアリマス、日本ニ於テハ特ニ同ジ場合ニ於テ、扶助ト云フ言葉ヲ使ハナケレバナラヌト云フ、特殊ノ事情ガアルノデアリマスカドウカト云フコトヲ、此機會ニ御尋ヲ致シテ置キタイノデアリマス、次ニ扶助ニ關スル第二點ハ、扶助ノ金額ニ關スル問題デアリマスガ、是モ細カイコトハ委員會ニ讓リタイト思ヒマスルケレドモ、概括的ニ申上ダマスナラ

バ、扶助ノ金額ハ、即チ此本工場法ヲ制定スル當時ニ定メラレ、其後多少ノ改正モアツタヤウデアリマスケレドモ、其當初ノ金額ト云フモノハ、今日ノ物價ノ情勢カラ見マスナラバ、其金額ハ少イデハナイカ、殊ニ扶助ノ規定ニ付キマシテハ、勞働者ノ日給賃銀ト云フモノガ基礎ニテ居リマスガ、勞働者ノ賃銀ハ、大正十二年頃ト比ベマシテ、餘程下ッテ居ルノデアリマス、物價並賃銀ノ關係カラ考ヘテ見マシテ、賃銀ガ餘程下ッテ居ルノデアリマシテ、其割合ハ、今正確ニ申上ダラレマセケレドモ、東京方面ニ於ケル鐵工關係ノ賃銀ヲ見マスナラバ、私共ノ經驗ノ範圍ニ於キマシテ、約三割位低下シテ居ルノデアリマス、而モ扶助金額ノ起算ノ工合ハ、何デアアルカト申シマスナラバ、賃銀ニ依ルノデアリマスカラ、賃銀何日分、何百日分ト云フ規定デアリマスカラ、扶助金額全體ガ少クナル、私ハ是ハ今日ノ情勢カラ見マスナラバ、此金額ヲ増サナケレバナラナイ必要ガアルモノト認メルノデアリマスガ、此點ニ對スル政府ノ御考ガドウデアアルカヲ御伺致シタイノデアリマス、尙ホ扶助問題ニ付テ、打切扶助料ト云フモノガ規定シテアリマシテ、是ハ同施行令第十四條ニ、五百四十日分ト云フ規定ガアルノデアリマスガ、五百四十日分ト云フ打切扶助料ト云フモノ、金額ガ、餘リ少ナ過ギルヤウニ感ジラレルノデアリマスガ、此點ニ對シ改正ノ御考ガナイカドウカト云フコトヲ御伺致シタイノデアリマス、ソレカラ同ジ扶助ノ問題ニ付テ一點御尋致シマスガ、ソレハ此工場法ニ依リマスルト云フテ、扶助料ヲ支給スベシト云フコトガ書イテアリマスケレドモ、扶助料ヲ何時支給セヨト云フテ、扶助料支給ノ期間ニ關スル規定ガアリマセヌ、隨テ實際ノ場合ニ於テ、サウ云フ經驗ハモウ幾十回トナクアルノデアリマスルガ、工場主ノ事業主等ノ中ニハ扶助規定ニ從テ扶助スルコトハ認メマスケレドモ、扶助金額ノ交付ヲ非常ニ怠リマシテ、殊ニ其扶助ヲ受クベキ職工ガ、尙ホ依然トシテ其工場ニ就業中

ノ場合ニ於テハ、中々其扶助金額ヲ渡サナイ、強テ請求致シマス、解雇ヲ以テ脅カスヤウナコトガアリ、或ハ退職ノ場合、解雇ノ場合ニ出スカラ、ソレデ宜イデヤナイカト云フヤウナコトヲ申シマシタリ致シマス、結局扶助ノ義務ヲ免レシヤウナ場合ガアリ、免レテ居ル實例モ少クハナイノデアリマス、故ニ私ハ、例ヘバ扶助スベキ事實ガ發生シテ、扶助ノ義務ガ確定シタ場合、其時カラ、例ヘバ二週間以内ニ支給スベシトカ、一ヶ月以内ニ支給スベシトカ云フテ、扶助金額ヲ交付スベキ期間ノ定メヲスル必要ガアルト考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ政府ハドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレマスカ、御尋致シタイノデアリマス、ソレカラ第三ニハ、工場寄宿舎ニ關スル問題デアリマス、工場寄宿舎ニ關スル問題ニ付キマシテハ、政府ハ昭和二年四月六日內務省令第二十六號ヲ以テマシテ、工場附屬寄宿舎規則ト云フモノヲ制定サレテ居リマス、サウシテ工場ノ保安、衛生、火災ノ豫防其他ニ關スル設備ノ義務ヲ工場主ニ負ハセテ居ルノデアリマスルケレドモ、此工場附屬寄宿舎規則ナルモノハ、此規則發布以前ニ出來マシタ寄宿舎ニハ及ナイノデアリマス、其以前ニ出來マシタ工場ノ寄宿舎ハ、如何ニ古イモノデアリマシテモ、如何ニ不完全ナモノデアリマシテモ、依然トシテ其儘ニナッテ居ルノデアリマシテ、或ハ改築、増築、新築等ノコトガ起ルノデナケレバ、此新シイ寄宿舎規則ニ依ル所ノ制裁ヲ受ケナイノデアアル、取締ヲ受ケナイノデアリマス、然ルニ事實ニ於テハ、新シク出來ル工場寄宿舎等ニ於テハ、段々時勢モ進歩シテ參リマスルカラ、衛生ナリ、保安ナリ、危害ノ豫防ナリニ付テ、注意致シテ來ルヤウナ傾向ニアリマスルケレドモ、實際工場ノ寄宿舎等ニ於テ不備、缺陷、甚シイモノハ、寧ろ此寄宿舎規則ガ出來ル以前ノモノニ相當アルヤウニ思フノデアリマス、ソレモ一樣ニハ申サレマセヌケレドモ、先ヅ大體サウ云フヤウナ傾向ガアルト思ヒマスガ、此寄宿舎ニ關スル規則ハ、此規則ノ出來マスル以前ノ寄宿舎

ニモ及ボサウト云フ御考ハ無イノデアアルカ、是ハ工業主、事業主等ノ經濟上ノ負擔ナドニ對スル政府ノ御斟酌モアラウカトモ考ヘマスルガ、併ナガラ此一旦工場ノ寄宿舎ニ付テ所ノ慘害等ガ起リマスルナラバ、事人問題デアアル、現ニ御承知ノ通り、本月ノ十日靜岡縣御殿場ノ製絲工場ニ於キマシテハ、其日ノ午前零時過ニ一午前零時五分ト新聞ハ報道致シテ居リマスルガ、其工場ノ寄宿舎ニ、二十六人ノ女工ヲ收容シテ居リマシタ、其工場ノ寄宿舎ニ火災ガ起リマシテ、二十六人ノ女工ノ中デ十三名ノ女工ハ遂ニ燒死致シタノデアリマス、又其火災ニ罹リマシタ女工ヲ救済スル爲ニ、工場ノ中ヘ飛込シテ行ッテ一人ノ男工モ死ニマシタシ、其後生殘タ十三名ノ女工ノ中ニ於テ、死シタ女工ノ身内ノ者ナドカラ、様々ノ非難ヲ被ルコトニ堪エズシテ、遂ニ鐵道轢死ヲ遂ゲタト云フヤウナ事實モアルノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナ事實ガアルノデアリマスルガ、ソレヲ其縣ノ工場監督官補ノ高橋ト云フ人ガ、實地ニ就テ研究シタコトガ、新聞ニ出テ居ルノデアリマス、其工場監督官補ノ談デアルト云フノヲ總括的ニ見マスルト云フト、此工場ニ於テハ八十一時以後ノ労働ヤラシテ居タ、労働時間ノ規定以上ノ労働時間ヲ課シテ居タ、ソレカラ此製絲工場ノ作業所ノ二階ヲ其儘寄宿舎ニ充テ、居タ、階段ハ三尺足ラズノモノガ、只一ツシカ無カッタ、非常口ノ設ケガナカッタ、ソレカラ殆ド監獄ニ等シイヤウナ工場監督官補自身ノ言葉デアリマスガ、監獄ニ等シイヤウナ、牢獄ノ如キ格子窓ヲ嵌メテ居タト、斯ウ云フヤウナコトヲ言ッテ居ルノデアリマスガ、更ニ私ガ此當時ニ於ケル所ノ狀況ヲ色ニト想像シテ見マスルノニ、恐ラク此寄宿舎ハ、其出口ヲ、外カラ鍵ヲ掛ケテ居タノデヤナイカト出來ナカッタト云フヤウナ状態デハナカッタカト想像サレルノデアリ、サウ致シマスルナラバ、細カイ話デアリマスルガ、同ジ工場附屬寄宿舎規則ノ第四條ニモ反クコト、

思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ重大事件ガ起ッテデアリマスルカラ、非常ニ是ハ人目ヲ引キマシテ、殊ニ此新聞ノ記事ガ、紀元節ノ朝ノ新聞ニ出テ居リマシテ、此紀元節ノ朝ノ朝刊社會部ノ記事ノ大半ヲ、此無慘ナル燒死事件ノ記事デアリマス、此無慘ナル燒死事件デアリマス、斯ウ云フヤウナコトハ、滅多ニアルベキコトデモナシ、又アツテハ困ルノデアリマスルケレドモ、斯ウ云フヤウナ事情ガアルノデアリマスカラ、是ハ一ツハ此工場附屬寄宿舎ニ關スル規則ハ、其規則發布以前ニ遡ラシメテ十分ナ取締ヲ爲スベキモノデヤナイカト思ハレマス同時ニ、此工場附屬寄宿舎規則ニ違反シタ場合ニ於テ、制裁ノ規定ガナイノデアリマス、或ハ他ニアルカ知りマセヌガ、私ノ調ベタ所ニ依レバ、制裁ノ規定ガ無イノデアリマス、制裁ノ規定ガナケレバ、工場監督官ガ、縦ンバ道德的ニ工場主ノ反省ヲ促シテモ、工場主ガ忠告ニ從ハナイ場合ニハ、如何トモスルコトガ出來ナイ、而モ往々ニシテ、人道上ノ大問題ヲ起スヤウナコトニナル次第デアリマス、此點ニ對シテ政府ハ工場附屬寄宿舎規則ニ關聯シテ、同時ニ之ヲ犯ス者ニ對シテハ、嚴重ナル制裁ヲ以テ臨ムベキモノデアルト信ズルノデアリマスガ、其點ニ對シテ、何等カノ考慮ガアルノデアリマス、無イノデアリマス、更ニ其次ハ工場監督官ニ關スル問題デアリマス、此問題ニ付テハ、三點御尋致スノデアリマス、第一ニ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、工場監督官ノ地位ヲ獨立セシメテ、其地位ヲ保障スルノ御考ガナイカト云フコトデアリマス、是ハ工場法運用ノ上ニ於テ、重大ナル影響ヲ與フルモノデアリマシテ、現ニ地方ノ狀況ヲ見マスナラバ、工場監督官ハ、地方ノ警察部長ノ下ニ隸屬ヲシテ、其監督ヲ受ケテ居ルデアリマス所カラ、往々ニシテ工場監督官ガ、獨立ノ立場ニ於テ其權限ヲ行ハントスルヤウナ場合ニ於テ、地方ノ政治的ノ勢力、或ハ政黨的ノ勢力ノ爲ニ、十分ニ工場監督官

ガ、其權限ヲ行ヒ得ザル例ガ今迄ニ幾ラモアルノデアリマス、私ハ其事實ヲ握リテ居ルノデアリマスガ、ソレハ委員會等ニ於テ確實ニ實例ヲ申上ゲテ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマシテ、此機會ニ於テハ、唯、サウニテ事實ガアルト云フコトダケヲ申上ゲルノデアリマス、尙ホ又工場監督官ガ、工場法違反ノ事實ヲ發見致シマシタ場合ニ於テモ、工場監督官ハ、司法警察官ノ資格ガ無いノデアリマスカラ、一旦歸職致シマシテ上司ノ、即チ警察部長ニ報告ヲシテ、警察部長ノ裁量如何ニ依テ、此工場法違反ノ事件ト云フモノガ摘發サレルノデハナイカト云フ風ニ思ハレル、間違ガアリマシタナラバ御訂正ヲ願ヒタイノデアリマスガ、サウニテ風ニ考ヘラレマス結果、工場法ノ履行ト云フモノガ、ドウモ兎角有耶無耶ノ間ニ葬ラレル例ガ少クナイ、デアリマスカラシテ、若シ此工場監督官ト云フモノヲシテ、十分ニ其職務ヲ執行セシメテ、工場法制定ノ本旨ノ實現ニ努力シヤウトスル誠意ガアルナラバ、寧ろ工場監督官ノ地位ヲ獨立ニ保障スル方法ヲ講ズルト同時ニ、進ンデ勅令ニ依テ工場監督官ニ、司法警察官トシテノ資格ヲ認メテハドウカト云フコトヲ御伺致シタイノデアリマス、御承知ノヤウニ、刑事訴訟法ノ第二百五十條ニ依リマスナラバ、勅令ニ依テ檢事ノ指揮命令ヲ受ケテ活動シテ居リマス所ノ普通ノ司法警察官以外ニ、勅令ニ依テ司法警察官ヲ定メルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルコト、心得ルノデアリマスガ、即チ勅令ニ依テ工場監督官ニ司法警察官ノ資格ヲ與ヘ、工場監督官ガ工場法違反ノ事實ヲ知ルヤ否、直ニ運滞ナク、司法警察官トシテ、即チ此罰則ノ適用、又機宜ノ處置ヲ執ルコトガ出來ルヤウニスル必要ガナイカト考ヘルノデアリマスガ、其點ニ對スル政府ノ御所見ヲ御伺致シマス、次ニ工場監督官ノ人数ヲ増ス、即チ増員ヲ爲スト云フ御考ハ、數ヲ増ス、工場監督官ハ、中央ノ社會局ニ於ケル工場監督官ノ數モ決シテ多イトハ言ヘナイト思ヒマスガ、殊ニ地方ノ工場監督官ノ如

キモノハ、非常ニ少イ、工場監督官補ヲ合セマシテモ、其數ガ極メテ少イノデアリマシテ、地方ノ工場等ニ於テハ、年ニ一回位シカ工場監督官ノ巡察ヲ受ケナイヤウナ工場ガ澤山アル、二年三年引續イテ、一度モ工場監督官ノ巡察ヲ受ケナイト云フ工場ハナイデヤナイ、ソレデハ如何ニ完備シタ工場法ガアリマシテモ、工場法ヲ履行スル人間ノ活動ガ不十分デアリマスカラ、何等ノ效用ヲ爲サナイト信ズルノデアリマスガ此點ニ對シテ政府ハドウ云フヤウナ御考ヲ持テ御出デニナリマスカ、若クハ工場監督官ノ人数ヲ増サナクテモ、他ノ適當ノ方法ニ依テ、工場法ノ履行ニ付テ御考ヲ持テ居ルカ、ドウカト云フコトヲ、併セテ御伺致シタイノデアリマス、尙ホソレニ關聯致シマシテ、婦人ノ監督官ヲ御設ケニナル所ノ御考ハナイカト云フコトヲ序ニ御伺致シマス、是ハ國際労働條約、其他國際労働關係ニ於テ、婦人監督官ヲ設ケルコトハ、モウ既ニ決マリ切ツテ居ルコトデアリマスガ、マダ我が日本ニ於テハ、其運用ガナイヤウデアリマス、而モ我國ノ工場労働者ノ數ヲ見マスナラバ、男子ノ労働者ノ方ヨリモ、婦人ノ數ノ方ガ多イノデアリマス、昭和二年社會局ノ發表ノ工場労働者ノ數ヲ見マスト云フト、男子ノ労働者ノ數ノ七十三万四千五百二人對シテ、婦人ノ労働者、即チ適用工場ニ於ケル婦人ノ労働者ノ總數ハ八十五万四千四百九十九人デアリマス、即チ婦人ノ労働者ノ方ガ、遙ニ男子ノ労働者ヨリモ多イヤウデアリマスガ、此多數ノ婦人ノ労働者ヲ有ツテ居リマス日本ノ工場ノ状態ノ下ニ於テ、工場法ヲ適用シテ、遺憾ナカラシメントスルコトノ爲ニハ、婦人ノ監督官ガ必要ナコト、信ズルノデアリマス、婦人ノ問題ニ付テハ、男子デハ十分手ノ行届カナイ所ガアルデアラウコトハ、深く説明ヲスルマデモナイコトデアリマス、而モ其點ニ對スル御考慮ガアルカモ知レマセマスガ、其任命ヲ見ナイノデアリマスカ、此點ニ付テドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、此點ヲ明ニシテ戴キタイト思フノデアリマス、最後

ニ私ハ、工場法違反ノ制裁ニ關スル問題、處罰ニ關スル問題ニ付テ簡單ニ一言申上ゲタイト思フノデアリマス、工場法違反ノ場合ニ於ケル際ニハ、色々ナ制裁ガアリマシテ、其極刑ハ千圓以下ノ罰金ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ罰金刑ヲ以テシテハ不十分デハナイカ、法ノ履行ヲ期スル爲ニハ、不正ナル方法ニ依テ脱法的ノ行為ヲ爲シテ憚カラザル工場主、事業主ニ對シテハ、極刑トシテハ寧ろ體刑ヲ以テ臨ム必要ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、私ハ法律ノコトハ素人デアリマスケレドモ、刑罰法ニ關スル一般ノ傾向デアルト云フコトヲ伺ヒマスニ、體刑ヨリ罰金刑ニ向フ趨勢ガアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、現ニ獨逸ノ刑法改正案ノ如キモ、體刑ヨリ罰金刑ニ向フ傾向ガアルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、併シハ場合ニ依リケリデアリマス、事業主ノ工場主ト云フ——假令何十人デモ、何百人デモ、労働者ヲ使用シテ、資本ヲ有テ事業ノ經營ニ當ル人ハ、相當資力ニ餘裕ノアル人デアリマスカラ、斯ウ云フ資力ノアル人ニ對シテ、罰金刑ヲ以テ臨ンデモ、大シク效果ヲ發揮スルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、現ニ吾々ノ經驗ノ範圍ニ依リマシテモ、悉クデアリマセマスガ、工場主中ニハ罰金刑ヲ課セラレテモ、高ガ多クテモ千圓ダ、千圓位罰金ヲ拂ツテモ、工場法ノ違反ヲシヤウ、工場法ヲ濫シタ方ガ得ダト云フヤウナコトヲ放言ヲシテ居ル工場主モ澤山アリマス、私モサウ云フ事實ヲ能ク知ツテ居ルノデアリマス、此點カラ申スナラバ、私ハ此制裁法規ト云フモノガ、頗ル不十分デアルノミナラズ、可ナリ不正ナル所ノ工場主ノ爲ニ、工場法ハ、翻テ受ケテ居ルモノト云ハナケレバナラズ、斯クテハ單リ工場法全體ノ意義ヲ全ウスルコトガ出來ナイノミナラズ、工場法ナル法ノ威信ニ關スル問題デアラズ、工場法ナル法ノ威信ニ關スル問題デアラズ、故ニ私ハ此問題ニ付テハ、進ンデ悉ク是ハ體刑ヲ以テ臨ムトハ申シマセマス、併ナガラ極刑トシテ千圓以下ト云フ位ナ、手緩イ制裁ノ方法ニ依ラズ、

進ンデ體刑ヲ以テピシト堪ヘルヤウナ方法ニ依テ制裁ヲ行フニ非ズンバ、工場法ノ存在スル意義ガアルマイト信ズルノデアリマス、現ニ昭和二年ノ一月ヨリ十二月ニ至ル一ケ年ニ於ケル所ノ、工場法違反ノ處罰ヲ受ケマシタ人数ガ六百二十五件デアリマス、六百二十五件デアリマス、是ハ先刻モ申上ゲマス通り、工場監督官ノ數ガ甚ダ少ナイノデアリマス、隨テ各工場ヲ十分ニ見廻ルコトガ出來ナイノデアリ、一年ニ一遍廻ルコトガ出來ルカ出來ナイカ位ノ有様デアリマシテ、而モ尙ホ工場法ノ違反ヲ敢テシ、處罰ヲセラレタ者ノ件數ノ六百二十五件ト云フコトガ、社會局發表ノ労働時報ニ載ツテ居ル、斯ウニ云フヤウナ事實ヲ以テ見マシテ、實際ノ工場法ノ違反者ト云フモノハ、恐ラク十倍、二十倍、三十倍ニ達スルモノト思ハレルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ状態デハ、私ハ此工場法ナルモノガ假ニ出來テ居ルテモ、十分ナル其效果ヲ期スルコトハ出來ナイ、況ヤ現行ノ工場法ソレ自身スラ、不備不完全ナルニ於テヤデアリマス、此點ヨリ考ヘマシテ、私ハ此處罰ノ問題ノ如キモ體刑ヲ以テ臨ムト云フ位ノ極刑ヲ科スルノ必要アルモノト考ヘルノデアリマス、之ニ付キマシテノ政府ノ御考ハドウデアリマスカ、御伺致シタイノデアリマス、都合、以上五點ニ付キマシテ政府ノ御答辯ヲ御願致シマス

(政府委員長岡隆一郎君登壇)

○政府委員(長岡隆一郎君) 鈴木君ハ私ノ答辯ヲ御忌避ニナリマシテ、政務次官ノ答辯ヲ煩シタイト云フノハ、自分ノ質問ハ多ク政務ニ關スル事デアアルカラ、事務官ニハ分ルマイト云フヤウナ御趣意デアリマシタガ、伺ツテ居リマス、仲々細カイ事務的問題モアリマスカラ、一應私カラ御答申上ゲマシテ、尙ホ御不滿デゴザイマスレバ、政務次官ヨリ御答スルコトニ致シテ、ソレデ御満足ヲ得タイト思ヒマス、第一ハ華盛頓條約ニ於ケル労働時間ニ關スル御質問デゴザイマス、是ハ鈴木君ガ御示ノ如ク、當然我が日本政府ヲ代表シテ華盛



頓ニ参リマシタ鎌田、岡兩代表ハ、確ニ華盛頓會議ニ於テ九時間半ノ労働條約ヲ日本ハ實行スル誠意ガアルト云フコトヲ申シタニ違ヒアリマセヌ、此事ニ付キマシテハ、今日色々強辯ガマシイ事ハ申上ゲマセヌ、又若シ其當時ノ産業ノ状態ガ今日マデ續イテ居リマシタナラバ、恐ラクハ日本政府ハ、此華盛頓條約ノ労働時間制ヲ批准シテ居タラウト考ヘマス、併ナガラ鈴木君モ御承知ノ通り、華盛頓會議ノ翌年ニハ、我國ニ於テハ空前ノ産業界ノ不景氣ガ参リマシテ、幾多ノ銀行、幾多ノ事業家ガ破産ヲ致シテ居リマス、其後又一二年ヲ經マシテ、我國ニ於テハ未曾有ノ大震災災ト云フヤウナ豫期セザル問題ガ起リマシテ、産業界ガ再ビ容易ニ短イ時間ニ於テ癒スベカラザル打撃ヲ受ケテ居リマス、斯ウ云フヤウナ事ガ無クナラバ、恐ラクハ鎌田、岡兩代表ノ約束シテ参リマシタ労働時間制ト云フモノハ、日本ハ批准シテ居リマシタラウケレドモ、其後日本ノ産業界ハ、斯ノ如キ豫期セザル色々事情ガ起リマシテ、産業上色々打撃ヲ受ケテ居リマスカラ、遺憾ナガラ今日迄ハ、此時間制ヲ批准スルコトガ出来ナカッタデアリマス、只今鈴木君ハ、此問題ニ付テ労働會議ノアル度ニ、世界各國代表ノ冷評ヲ受ケル、又世界ニ對シテ不信任ヲ示スト云フヤウナ、鋭イ御意見デアリマシタガ、是ハ鈴木君ノ御承知ノ通り、日本ハ特殊國ノ例外ヲ認メテ居リマスケレドモ、特殊國ノ例外ヲ認メテ居ナイ五大産業國ニ於テモ、八時間ノ労働制ト云フモノハ、未ダ完全ニ批准サレテ居リマセヌ、是ガ完全ニ批准サレテ居リマス所ハ、白耳義其他ノ小サイ國ダケデアリマシテ、佛蘭西其他ノ大産業國ニ於キマシテハ、是ハ唯、條件附批准ト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、英國ガ之ニ付テ批准ヲ致サナイ限リハ、佛蘭西其他ノ國ニ於テモ八時間制ニ付テ批准ヲシナイヤウナ状態ニナツテ居リマス、私ガ英國ノ議會ノ速記録ヲ見マス、昨年ノ十一月二十日ノ上院ニ於ケル工部大臣ノ答辯ヲ見マス、英國ニハ當分此八時間

制ヲ批准スルト云フヤウナ模様ハアリマセヌ、隨ヒマシテ八時間制ヲ約束シテ歸リマシタ所ノ産業國ニ於キマシテモ、マダ此労働時間制ヲ批准シテ居ナイ國ガ多イノデアリマスカラ、鈴木君ガ世界ノ冷評ヲ御受ニナリ、若クハ世界ノ不信任ヲ受ケラレル必要ハナカラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ第三ノ工場法ニ關スル御質問デゴザイマスガ、工場法ノ第四條ノ扶助カ賠償カト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ通り、學者ノ意見ノ岐レル所デアリマシテ、民法上ノ故意過失ニ依ルモノダケヲ賠償スルガ宜イカ、若クハ企業家其モノニ相當ノ危険ノ伴フモノアルカラ、企業者ソレ自身ガ賠償ノ責任ヲ負フベキカト云フコトハ、是ハ學者ノ議論ノ岐レル所デアリマシテ、私今日之ニ付テ兎ヤ角學問上ノ議論ハ致シマセヌ、唯、民法上ノ損害ノ賠償ヲ受ケタ場合ニ於キマシテモ、猶且ツ工場法ノ扶助ヲ受ケル方ガ適當デアルト云フ御意見デアラナラバ、左様ナ修正案ヲ議員ノ御權限トシテ御提出ナサル方宜イト思ヒマス、其次ノ扶助ノ金額ニ付テハ、是非常ニ少イト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ見方ノ問題デアリマシテ、工場法令ガ發布サレマシタ後ニ、大正五年七月一日工場法令ノ改正ニ依リマシテ、相當扶助ノ金額ヲ増加致シテ居リマス、鈴木君ノ御意見カラ言ヒマシレバ、是デハ尙ホ不十分カハ存ジマセヌケレドモ、政府ハ産業ノ狀況ヲ考慮致シマシテ、産業ノ狀況ガ許スナラバ、將來ニ於テモ扶助ノ金額ヲ成ルベク増加致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ扶助料ノ支給ガ遲滞スルト云フヤウナ御意見デゴザイマシタガ、是ハ成ベク扶助料ノ支給ハ遲滞ナク支給スルト云フコトハ、希望致シテ居リマスケレドモ、随フ法ニ於キマシテモ、資力無キ工場主ニ於キマシテハ、之ヲ分割シテ支給シ得ルト云フヤウナ規定ヲ設ケテ居リマス善デゴザイマス、其次ニ工場寄宿舎ノ規則ニ付キマシテ、昭和二年四月六日發布以前ノモノニ付テハ、此法令ノ強制ハ及バナイカラ、其發布以前ノ古い工

場寄宿舎ニ付テモ、此規則ヲ遡テ及ボシテ吳レト云フヤウナ御議論デゴザイマシタガ、是ハ鈴木君ハ、此工場附屬寄宿舎取締規則ヲ大シテ能ク御覽ニナラナカッタノデハナイカト、失禮ナガラ考ヘルノデアリマシテ、是ハ勿論、將來ノ新築、増築、改築ト云フモノニハ適用ハゴザイマスルガ、其規則ノ或ルモノニ付キマシテハ、舊來ノ寄宿舎ニ付キマシテモ猶豫期間ハ設ケテアリスガ、二年若クハ三年ノ猶豫期間ガ經過致シマスレバ、當然此工場附屬寄宿舎取締規則ノ適用ヲ見ルノデアリマス、全然舊來ノ寄宿舎ニハ適用ガナイト云フノデアリマセヌ、猶豫期間ハ設ケテアリスガ、此點ニ付キマシテ多少考慮ノ一失デ、御見間違ヒニナツタノデハナイカト考ヘマス、ソレカラ制裁ノ規定ガ工場寄宿舎ノ取締規則ニ無イガ、制裁ノ無イ規定ガ何ノ權威ガアルカト云フ御質問デゴザイマスガ、是モ甚ダ失禮ナコトヲ申上ゲマシテ御氣ニ觸ルカ存ジマセヌガ、工場法ノ本法ニ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處スルト云フ規定ガアリマスノデ、工場附屬寄宿舎取締規則ハ、工場法ニ基キテ發スル命令デアリマスカラ、當然本法ノ千圓以下ノ制裁ガアルノデアリマス、前ニ申述ベラレマシタヤウニ、是ガ體刑デナイカライカスト云フヤウナ御議論デアリマスレバ、是ハ別ト致シマシテ、制裁ノ規定ハ、工場法ノ本法ニアルノデアリマシテ、最モ失禮ナガラ御見間違ヒニナツタノデハナイカト存ズルノデアリマス、ソレカラ工場監督官ノ位置ニ付テ、今少シク之ヲ向上致シ、其位地ハ御同感デアリマシテ、獨リ工場監督官ノミナラズ、一般事務官ノ地位ヲ向上致シ、若クハ其保障ヲ致スト云フコトハ、洵ニ望マシイコトデアリマシテ、私共モ被害者ノ一人デゴザイマスカラ、之ニ付キマシテハ出來得ルコトナラバ、其地位ヲ保障スルト云フコトハ望マシイコトデアルト考ヘテ居リマス、私共ハ能ク存ジマセヌガ、一般事務官ノ地位ノ保障ニ付テハ、只今

行政審議會等ニ於キマシテ、著々其審議ヲ進メラレテ居ルコト、考ヘマスカラ、獨リ工場監督官ノミナラズ、吾々事務官ノ地位ノ保障ニ付テモ、遠カラズ相當ノ規定ガ設ケラレルコト、考ヘテ居リマス、ソレカラ工場監督官ノ人員ノ増員ニ付キマシテモ、是モ豫算ノ許ス限リ——只今ノ人員ヲ以テシテハ不十分ト考ヘテ居リマスノデ、財政經濟ノ許ス限リ、將來相當ノ増員ヲ要求致シタイト考ヘテ居リマス、尙又婦人ノ監督官ノ問題デゴザイマスガ、之ニ付キマシテハ從來其例ヲ見ナカッタト云フヤウナ御質問デゴザイマスガ、是ハサウデハアリマセヌ、嘗テ大阪府ニ於テモ、婦人工場監督官補ヲ任命致シマシタシ、又現在社會局ニ於キマシテモ、婦人工場監督官補ヲ任命シテ、現ニ職務ヲ行テ居リマス、唯、殘念ナコトニハ、婦人ヲ任命致シマシテモ、直グオ嫁ニ参リマスノデ、永續キガシマセヌ、ソレハ甚ダ殘念デゴザイマスガ、出來得ルナラバ將來婦人ノ監督官ヲ現在ヨリモ増員致シタイト考ヘテ居リマス、最後ノ御質問ノ、工場法違反ニ付テ、罰金デハ甚ダ不十分デアル、體刑ヲ科スルガ宜シイト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ御意見ヲ尊重致シマシテ、御希望通り参リマスカドウカ、御約束ハ出來マセヌケレドモ、將來ニ於テ篤ト考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

(鈴木文治君登壇)

○鈴木文治君 大體御親切ナ御答辯ガアリマシテ、大分諒承致スコトガ出來タノデアリマス、併シ尙ホ不十分ナ點モアリマス、更ニ色々質問應答ヲ重ネナケレバ、ハッキリシ得ナイヤウナ點ナドモアルノデアリマスガ、ソレ等ハ委員會ニ於テ、重ネテ一問一答ノ形ニ於テ御尋申上ゲタイト考ヘマスカラ、本議場ニ於テハ申上ゲマセヌ、唯、一言労働時間制ノ問題ニ付テ、八時間制労働條約案ハ、英吉利モヤツテ居ラヌカラ、日本ハ別ニソレニ付テ心配スル必要ハナイデハナイカ、世界列國ノ冷評ヲ氣ニスル必要ハナイデハナイカト云フ、多少逆襲的ノ御答辯デアリマシタケレドモ、是ハ社會局長

官長岡君自身が先年政府代表トシテ自ラ國際労働會議ノ議場ニ臨ンデ、今答辯サレタヤウナ内容ニ付テノ釋明ヲセラレテ、非常ニ自ラ困テ居ラレタコト、信ズルノデアリマス、私ハ社會局長官ヲ、此意味ニ於テ此席ニ引出スコトハ如何カト思ヒマシタカラ、實ハ控ヘテ居ラレタコト、自ラ覺テ答辯サレタ以上、一言申上ゲナケレバナラナイノデアリマス、英吉利ガ批准シテ居ラナイト云フコトハ、八時間制労働條約案デアリマス、日本ハ八時間制労働條約案ノ原則ヲ認メタ、ケレドモ特殊國ノ待遇ヲ要求シテ、九時間半制ノ労働時間ニシタノデアリマス、而モ此九時間半ノ労働時間ニ對シテ、印度ハ十時間ノ労働時間ニシテ實ヒタイト云フコトヲ頼ンデ、日本ノ約束ヲシテ、特殊國ノ待遇ヲ受ケタノデアリマス、印度ハ英吉利ノ屬國デハナイカ、英吉利ノ屬國タル印度下、僅カ半時間位シカ違ハヌ所ノ、九時間半制ヲ日本ガ要求シテ、幸ニシテソレハ容レラレタカ、而モ其際ニ於テ、御承知デモアリマセウガ、佛蘭西ノ労働代表「ジョーオー」ハ、日本ハ斯ノ如キ特殊國ノ待遇ヲ要求スルコトハ不都合デアル、日本ハ今後數年ニシテ八時間労働時間制條約案ヲ採用スルコトガ出來ル筈デアルト云フ決議案ヲ提出シテ、ソレガ四十五票對四十二票ノ、僅カ三票ノ差ヲ以テ破レタ、此事實カラ見ルナラバ、第一回國際労働會議ニ於ケル大勢ガドウデアアルカト云フコトハ、能ク御承知ノ筈デアリマス、八時間制労働條約案ヲ批准シナイコトニ付テ、英吉利ガ批准シナイカラ日本ガシナクトモ不都合アルマイト云フコトハ、私ハ諒承致シ兼ネマス、日本ハ特殊國ノ待遇ヲ要求シ、ソレガ認メラレテ九時間半制ノ労働時間ガ認めラレタ、其時ニ約束ヲシタ英吉利ノ屬國タル印度ハ、千九百二十一年ニ既ニ批准シテ履行シテ居ルノニ、尙ホ日本ガヤツテ居ラスト云フコトガ、世界列國ガ日本ノ反動的ノ狀勢ニ對シテ、冷笑的ノ氣分ヲ持ツ所以デハナカト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、是ハ何レ今年ノ國際労働會議ニ於テ、此條約改

訂ニ關スル問題ガ出ルダラウト思フ、其際何レ問題ニナルデアラウト思ヒマスケレドモ、私ハ英吉利ガヤラナイカラ日本ガヤラナイデモ宜イト云フコトハ、議論ニナラナイモノト思フ、併シ是ハ意見ノ相違ニナルコトデアリマスカラ申上ゲマセヌ、其他ノ點ニ付テハ、御親切ノ御答辯ノアツタコトニ付テハ、感謝申上ゲマスガ、甚ダ不十分ノ點モアリマスカラ、重ネテ委員會ノ席上ニ於テ詳シク政府當局ニ對シテ御質問申上ゲタイト思ヒマシテ、此質問ハ是デ打切りマ

ナ關係ニ付テ、政府ハドウ云フ風ニ考ヘラレテ居ルカト云フ點デアリマス、第二ニハ深夜業ノ廢止ヲ實行スルニ當テ、或ル「モスリン」會社ノ如キハ、七月カラ實行サレルニモ拘ラズ、之ヲ實行シナイト云フ風ナコトニ決テ居ルト云フ噂ヲ私ハ聞イテ居ル、其理由ハ何デアアルカト云フナラバ、今日ノ工場法ノ規定デアリマスガ、假令工場法ノ深夜業廢止ニ違反シテモ、罰金ハ千圓デア

銀ノ値上ト云フコトガ、此七月一日以後ノ深夜業廢止ノ結果、分裂シテ來ル、逆ニナテ來ルト云フヤウナ事情ヲ發生スル處ノ虞ガ十分ニアルデアラウト思フノデアリマス、是等ノコトニ對スル政府ノ所見ト對策ハドウデアアルカ、私ハ簡單ニ以上ノ三點ニ付テ、長岡君サレテ結構デゴザイマスカラ御親切ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡崎久次郎君 議長ノ答辯ニ關聯シテ、簡單ニ質問致シタイト思ヒマス

○議長(元田肇君) 通告ガマダ河上丈太郎君ガアリマスカラソレヲ許シ、其後デ何デスカ承リマセウ、河上丈太郎君

○政府委員(長岡隆一郎君) 河上君ノ御質問ニ對シマシテ、簡單ニ御答申上ゲマス、工場法ノ深夜業ヲ午後十一時ヨリ午前五時トセズシテ、午後十二時ヨリ午前六時トスルガ適當デハナイカト云フコトニ付キマシテハ、現在之ニ對シテハ色々ノ陳情、若クハ要求ガ提出サレテ居リマス、併シ只今マデ御承知ノ通り、深夜業ノ禁止ハ、本年ノ七月一日デゴザイマスガ、紡績會社ノ或モノハ、既ニ今日ニ於テ深夜業ヲ禁止シテ居リマスガ、午前五時ノ出勤ガ非常ニ職工ノ爲ニ困難デアラウト云フ豫想ヲ、裏切りマシテ、午前五時ノ出勤ト云フモノハ、冬期ニ於テモ左程困難デナイ五時ノ出勤ハ、遅刻ガ非常ニ少イト云フ統計ヲ示シテ居リマス、寧ろ午後十一時ヨリ午後十二時ニ延長致シマスナラバ、午後十二時マデ作業致シマシテ、寄宿舎ニ歸リ、若クハ自宅ニ歸レバ、就寢時間ハ午前一時頃ニナル、此方ガ苦痛ガ多カラウト云フコトニ、只今ハ意見ガ傾イテ居リマス、併ナガラハ只今迄ノ經驗デアリマシテ、當局者ハ決シテ現在マデ得マシタ經驗ヲ極ニ取リマシテ、行掛リ上之ヲ主張スルト云フヤウナ、サウ云フサモシイ意見ハゴザイマセヌカラ、此事ニ付キマシテハ、尙ホ篤ト將來攻究致シタイト考ヘマス、第二ノ深夜業禁止ニ付テ、七月一日カラ強制サレタルニ付テモ、ソレハ處罰ガ罰金刑デアアルカラ、千圓ノ罰金ヲ引續イテ納メテモ、尙且ツ深夜業ヲ法ノ規定ニ背イテ行フモスリン會社モアル、是ハドウデアアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ罰金ヲ科シテモ尙且ツ深夜業ヲ改メナイモノハ、是

○河上丈太郎君 私人工場法ノ改正ニ關シ、局限サレタコトニ、對スル質問ヲシタイト思フ、根本ノ問題ニ付テノ質問モ濟ンデ居リマスカラ、此度ノ深夜業廢止、及ビ救恤ノ規定ヲ小サナ工場ニモ適用スルト云フ改正案デアリマスガ、ソレニ付キマシテ私ハ三點ノ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、第一ハ工場法ノ規定ニ於テハ、十時カラ五時マデガ、矢張國際労働條約ノ規定ニ依テ深夜ト決テ居ラレタ、ソレヲ日本ノ政府ガ直譯的ニ採用シテ居ルノデアツテ、日本ノ政府ノ大體ノ哲學、殊ニ社會問題ニ關スル哲學ハ、日本ハ特殊制デアルト云フ哲學ヲ持ッテ御出デニナル、然ルニ國際條約ノ規定、十時カラ五時ト云フ風ノ規定ヲ、單純ニ、直譯的ニ之ヲ採用シテ居ルガ、日本ノ氣候ノ關係ヤ、緯度ノ關係ヤ、或ハ労働者ノ各種ノ條件カラ見ルナラバ、之ヲ少シ變ヘテハドウデアアルカ、變ヘテ欲シイト云フヤウナ労働階級ノ要求ガ實際ニアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、ドウ云フ風ニ變ヘルカト云フナラバ、夜ハモウ一時間位延バシテモ宜イガ、朝ヲ六時頃マデニシテ實ヒタイト云フ要求ガアル、斯ウ云フ風ノ特殊

二色ニ議論スルコトヲ避ケマスケレドモ、此處ニモ工場法ノ罰則ノ規定ノ缺陷ノ一ツガ、深夜業廢止ノ七月一日カラ行ハレル所ノ事情ニ依テ、罰則ノ缺陷ガ暴露スルト考ヘル、是等ノ點ニ對スル政府ノ所見ハドウデアアルカト云フ點デアリマス、第三ハ所謂深夜業ノ廢止ニ依テ、労働時間ノ短縮ガ來リ、隨テ賃銀ノ引下ト云フコトガ、各會社ニ依テ行ハレル様子ヲ聞イテ居ル、所謂深夜業手當ノ廢止其他ニ依テ、労働ノ賃銀ガ引下ダラレル、若モ深夜業ノ廢止ト云フコトガ社會政策ニ立脚シテ居ル立法デアツテ、其結果労働者ノ賃銀ノ引下ニナルト云フコトハ、是ハ矛盾スル結果ヲ生ズルノデアツテ、今日ノ労働階級ハ、深夜業ノ廢止ニ對スル絶大ノ要求ガアルケレドモ、其結果トシテ、賃銀ノ引下ダラレルト云フコトニ對シテハ、絶大ノ不安ヲ感ジテ居ルノデアリマス、政府ノ所見ハ如何デアアルカ、此點ニ付テ伺ヒタイトデアリマス、若モ深夜業廢止ノ結果トシテ、賃銀ノ引下ガ起ルナラバ、是ハ由々數キ問題ヲ發生スルト思フノデアリマス、賃銀値上ノ要求、労働時間ノ短縮ト云フモノハ、兩立シ要求サレル所ノ労働階級ノ基本ノ要求デアルト私ハ思フノデアリマス、然ルニ今日ノ工場法ノ規定ナリ、今日ノ日本ノ事情カラ見ルナラバ、當然相共ニ主張サルベキ所ノ労働時間ノ短縮ト、賃

銀ノ値上ト云フコトガ、此七月一日以後ノ深夜業廢止ノ結果、分裂シテ來ル、逆ニナテ來ルト云フヤウナ事情ヲ發生スル處ノ虞ガ十分ニアルデアラウト思フノデアリマス、是等ノコトニ對スル政府ノ所見ト對策ハドウデアアルカ、私ハ簡單ニ以上ノ三點ニ付テ、長岡君サレテ結構デゴザイマスカラ御親切ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 河上君ノ御質問ニ對シマシテ、簡單ニ御答申上ゲマス、工場法ノ深夜業ヲ午後十一時ヨリ午前五時トセズシテ、午後十二時ヨリ午前六時トスルガ適當デハナイカト云フコトニ付キマシテハ、現在之ニ對シテハ色々ノ陳情、若クハ要求ガ提出サレテ居リマス、併シ只今マデ御承知ノ通り、深夜業ノ禁止ハ、本年ノ七月一日デゴザイマスガ、紡績會社ノ或モノハ、既ニ今日ニ於テ深夜業ヲ禁止シテ居リマスガ、午前五時ノ出勤ガ非常ニ職工ノ爲ニ困難デアラウト云フ豫想ヲ、裏切りマシテ、午前五時ノ出勤ト云フモノハ、冬期ニ於テモ左程困難デナイ五時ノ出勤ハ、遅刻ガ非常ニ少イト云フ統計ヲ示シテ居リマス、寧ろ午後十一時ヨリ午後十二時ニ延長致シマスナラバ、午後十二時マデ作業致シマシテ、寄宿舎ニ歸リ、若クハ自宅ニ歸レバ、就寢時間ハ午前一時頃ニナル、此方ガ苦痛ガ多カラウト云フコトニ、只今ハ意見ガ傾イテ居リマス、併ナガラハ只今迄ノ經驗デアリマシテ、當局者ハ決シテ現在マデ得マシタ經驗ヲ極ニ取リマシテ、行掛リ上之ヲ主張スルト云フヤウナ、サウ云フサモシイ意見ハゴザイマセヌカラ、此事ニ付キマシテハ、尙ホ篤ト將來攻究致シタイト考ヘマス、第二ノ深夜業禁止ニ付テ、七月一日カラ強制サレタルニ付テモ、ソレハ處罰ガ罰金刑デアアルカラ、千圓ノ罰金ヲ引續イテ納メテモ、尙且ツ深夜業ヲ法ノ規定ニ背イテ行フモスリン會社モアル、是ハドウデアアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ罰金ヲ科シテモ尙且ツ深夜業ヲ改メナイモノハ、是

○政府委員(長岡隆一郎君) 河上君ノ御質問ニ對シマシテ、簡單ニ御答申上ゲマス、工場法ノ深夜業ヲ午後十一時ヨリ午前五時トセズシテ、午後十二時ヨリ午前六時トスルガ適當デハナイカト云フコトニ付キマシテハ、現在之ニ對シテハ色々ノ陳情、若クハ要求ガ提出サレテ居リマス、併シ只今マデ御承知ノ通り、深夜業ノ禁止ハ、本年ノ七月一日デゴザイマスガ、紡績會社ノ或モノハ、既ニ今日ニ於テ深夜業ヲ禁止シテ居リマスガ、午前五時ノ出勤ガ非常ニ職工ノ爲ニ困難デアラウト云フ豫想ヲ、裏切りマシテ、午前五時ノ出勤ト云フモノハ、冬期ニ於テモ左程困難デナイ五時ノ出勤ハ、遅刻ガ非常ニ少イト云フ統計ヲ示シテ居リマス、寧ろ午後十一時ヨリ午後十二時ニ延長致シマスナラバ、午後十二時マデ作業致シマシテ、寄宿舎ニ歸リ、若クハ自宅ニ歸レバ、就寢時間ハ午前一時頃ニナル、此方ガ苦痛ガ多カラウト云フコトニ、只今ハ意見ガ傾イテ居リマス、併ナガラハ只今迄ノ經驗デアリマシテ、當局者ハ決シテ現在マデ得マシタ經驗ヲ極ニ取リマシテ、行掛リ上之ヲ主張スルト云フヤウナ、サウ云フサモシイ意見ハゴザイマセヌカラ、此事ニ付キマシテハ、尙ホ篤ト將來攻究致シタイト考ヘマス、第二ノ深夜業禁止ニ付テ、七月一日カラ強制サレタルニ付テモ、ソレハ處罰ガ罰金刑デアアルカラ、千圓ノ罰金ヲ引續イテ納メテモ、尙且ツ深夜業ヲ法ノ規定ニ背イテ行フモスリン會社モアル、是ハドウデアアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ罰金ヲ科シテモ尙且ツ深夜業ヲ改メナイモノハ、是

○政府委員(長岡隆一郎君) 河上君ノ御質問ニ對シマシテ、簡單ニ御答申上ゲマス、工場法ノ深夜業ヲ午後十一時ヨリ午前五時トセズシテ、午後十二時ヨリ午前六時トスルガ適當デハナイカト云フコトニ付キマシテハ、現在之ニ對シテハ色々ノ陳情、若クハ要求ガ提出サレテ居リマス、併シ只今マデ御承知ノ通り、深夜業ノ禁止ハ、本年ノ七月一日デゴザイマスガ、紡績會社ノ或モノハ、既ニ今日ニ於テ深夜業ヲ禁止シテ居リマスガ、午前五時ノ出勤ガ非常ニ職工ノ爲ニ困難デアラウト云フ豫想ヲ、裏切りマシテ、午前五時ノ出勤ト云フモノハ、冬期ニ於テモ左程困難デナイ五時ノ出勤ハ、遅刻ガ非常ニ少イト云フ統計ヲ示シテ居リマス、寧ろ午後十一時ヨリ午後十二時ニ延長致シマスナラバ、午後十二時マデ作業致シマシテ、寄宿舎ニ歸リ、若クハ自宅ニ歸レバ、就寢時間ハ午前一時頃ニナル、此方ガ苦痛ガ多カラウト云フコトニ、只今ハ意見ガ傾イテ居リマス、併ナガラハ只今迄ノ經驗デアリマシテ、當局者ハ決シテ現在マデ得マシタ經驗ヲ極ニ取リマシテ、行掛リ上之ヲ主張スルト云フヤウナ、サウ云フサモシイ意見ハゴザイマセヌカラ、此事ニ付キマシテハ、尙ホ篤ト將來攻究致シタイト考ヘマス、第二ノ深夜業禁止ニ付テ、七月一日カラ強制サレタルニ付テモ、ソレハ處罰ガ罰金刑デアアルカラ、千圓ノ罰金ヲ引續イテ納メテモ、尙且ツ深夜業ヲ法ノ規定ニ背イテ行フモスリン會社モアル、是ハドウデアアルカト云フ御質問デアリマスガ、是ハ罰金ヲ科シテモ尙且ツ深夜業ヲ改メナイモノハ、是

ハ行政執行法ニ依テ強制スル途ガアリマス  
カテ、七月一日ニ至テ、尙且ツ法ノ規定ニ  
背イテ、深夜業ヲ行フ「モスリン」會社ガア  
リマスナラバ、只今申シマシタ行政執行法  
ノ規定ニ依テ、斷乎トシテ嚴罰致ス積リ  
デゴザイマス、尙ホ第三ニ、深夜業禁止ニ  
依テ賃銀ヲ引下ゲルト云フ危險ハナイカト  
云フ御質問デゴザイマスガ、今日マデ法ノ  
執行以前ニ實行致シマシタ數箇ノ紡績會社  
ニ於キマシテハ、事實上職工ノ賃銀ハ引下  
ゲテ居リマセヌ、又私共紡績聯合會ノ幹部  
等ト會ヒマシテ、只今マデノ話合ニ依リマ  
シテハ、今日マデノ勞働賃銀ハ、引下ゲズ  
シテ、深夜業ノ禁止ヲ實行致シタイト云フ  
コトカ、多クノ紡績業者ノ意見ノヤウデア  
リマスカラ、河上君ノ御意見ノヤウニ、深夜  
業ノ禁止ニ依テ、職工ノ賃銀ガ低下サレル  
ト云フヤウノ危險ヲ見ズシテ、滑ラカニ實  
行シ得ルモノト考ヘテ居リマス

○議長(元田肇君) 岡崎久次郎君  
〔岡崎久次郎君登壇〕  
○岡崎久次郎君 極メテ簡單ニ勞働時間制  
ノ問題ニ付キマシテ、局長ノ御答辯ニ對シ  
テ更ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス、華盛頓  
會議以來十年、尙ホ今日我國ガ九時間半制  
度ノ時間制サヘ勵行スルコトガ出來ナイト  
云フ鈴木君ノ質問ニ對シテハ、本員モ洵ニ  
遺憾ニ考ヘル所デアリマス、而シテ今日マ  
デノ經驗ニ徴スルニ、其能率ニ於テ、或ハ  
總テノ條件ニ於テ、必シモ時間ヲ延シテ行  
カナケレバナラヌト云フ必要ニハ、迫ラレ  
テ居ラナイト私ハ信ズルノデアリマス、局  
長ノ意見ハ、或ハ企業者ノ多クノ意見ヲ代  
表シ、資本家ノ意見ヲ多ク代表スルテ、マダ  
此際九時間半ニスル、或ハ短縮スルト規定  
スルト云フコトハ、無理デアルト云フ御考  
デアアルノデアラウト思ヒマスガ、私ガ多ク  
ノ企業家ヲ訪ヒ、意見ヲ聽キ、工業俱樂部  
アタリノ多クノ相當人ノ意見ハ、今日既  
ニ規定サレテ實行サレテモ、敢テ差支ハナ  
イト云フ意見ノ方ガ寧ロ多イカノヤウニ感  
ズルノデアリマスガ、政府ノ見ル所ハ、尙  
ホ今日マダ尙早デアツテ、マダ相當ノ年限

ヲ經ルニアラザレバ、此時間制ヲ確定スル  
ト云フコトハ早イ、斯ウ云フ御考デアルヤ  
否ヤ、此點ヲ直接簡明ニ承リタイ、斯様ニ  
考ヘマス

○議長(元田肇君) 長岡政府委員  
〔政府委員長岡隆一郎君登壇〕  
○政府委員(長岡隆一郎君) 只今岡崎君ヨ  
リ、勞働時間制ハ即時斷行致シテモ、我日  
本ノ產業界ニハ、大シタ打撃ハナカラウ、  
寧ロ之ヲ即行スル方ガ宜カラウト云フヤウ  
ナ、非常ノ進歩的ノ御意見ヲ伺ヒマシタコ  
トヲ感謝致シマス、併シ當局者ノ見ル所ニ  
依リマスレバ、日本ノ產業狀態ハ、前後二  
回ノ恐慌ト、大震災ノ影響トガマダ全快致  
シテ居リマセヌカラ、此勞働時間制其他ノ  
勞働條件ノ改善ノ如キハ、漸ク逐ウテ產業  
界ノ恢復ト共ニ進ミタイト云フ考ヲ持ツテ  
居ルノデゴザイマス、唯、只今ノ御言葉ノ  
中ニ、私ガ資本家ノ意見ヲ代表シテ云々ト  
云フ御言葉ガアリマシタガ、私ハ資本家ノ  
意見ヲ代表シテ申上ゲルノデアリマセ  
ヌ、政府ハ資本家ノ意見ヲ代表モ致シマセ  
ヌケレバ、勞働者ノ意見モ代表致シマセ  
ヌ、國家ノ公僕ト致シマシテ、兩者ノ間ニ  
立ツテ、中正ノ穩健、公平、無私ナル考ヲ  
申上ゲテ居ル積リデアリマス(拍手)

○議長(元田肇君) 之ニテ通告ハ濟シマシ  
タリ。日程第二ニ移リマス、日程第二、右  
議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題  
ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員  
ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ政府提出鑛業法中改  
正法律案外一件ノ委員ニ併セ付託セラレン  
コトヲ望ミマス

○議長(元田肇君) 右動議ニ御異議ゴザイ  
マセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕  
○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メテ、  
右ノ動議ハ可決サレマシタ、日程第三、健  
康保險法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマ  
ス。秋田政府委員

第三 健康保險法中改正法律案(政府  
提出) 第一讀會

健康保險法中左ノ通改正ス  
第八條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ  
被保險者ヲ使用スル事業主ヲシテ其ノ  
使用スル者ノ異動、報酬等ニ關シ報告  
ヲ爲サシメ又ハ文書ヲ提示セシメ其ノ  
他健康保險ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行  
ハシムルコトヲ得

第十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依  
ル徵收金ヲ滯納スル者アルトキハ保險  
者ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ  
前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合  
ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手  
數料及延滞金ヲ徵收ス

第十一條ノ二 前條ノ規定ニ依ル督促ヲ  
受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料  
其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ納付  
セザルトキハ保險者ハ國稅滯納處分ノ  
例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其  
ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處  
分ヲ請求スルコトヲ得但シ保險者ガ國  
稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スルコトヲ  
得ルハ政府ガ保險者ナル場合ニ限ル

保險者ガ前項ノ規定ニ依リ市町村ニ對  
シ處分ヲ請求ヲ爲シタルトキハ市町村  
ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ  
場合ニ於テハ保險者ハ徵收金額ノ百分  
ノ四ヲ當該市町村ニ交付スベシ

前二項ノ規定ニ於テ市町村アルハ市町村  
制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズ  
ベキモノトス

第十一條ノ三 保險料其ノ他本法ノ規定  
ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町  
村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ  
次ギ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十一條ノ四 保險料其ノ他本法ノ規定  
ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付  
テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ  
八ノ規定ヲ準用ス

第十三條中「工場法ノ適用ヲ受クル工場」  
ヲ「工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用

ヲ受クル工場」ニ改ム  
第十六條中「工場法」ヲ「工場法第一條ノ  
規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場」ニ  
改ム

第二十條中「喪失ノ日前一年內ニ於テ百  
八十日以上被保險者タリシモノ又ハ」ヲ  
削ル

第二十七條 健康保險組合ハ事業主及其  
ノ事業ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ  
之ヲ組織ス

第三十五條第二項ヲ削ル

第四十七條 療養ノ給付及傷病手當金ノ  
支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ  
發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メ  
タル日より起算シ百八十日ヲ經過シタ  
ルトキハ之ヲ爲サズ

第四十九條第一項中「二十日」ヲ「三十日」  
ニ、二十圓ヲ「三十圓」ニ改ム

第六十一條中「鬭爭若ハ泥醉」ヲ「鬭爭、  
泥醉若ハ著シキ不行跡」ニ改ム

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ  
依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ不  
服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政  
裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 前條ノ規定ニ依リ訴願ノ提  
起アリタルトキハ主務大臣ハ第三次健  
康保險審査會ヲ審査ヲ經テ裁決ヲ爲ス  
ベシ

第八十四條 第十一條ノ二ノ規定ニ依ル  
處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ  
又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條第三項中「民事訴訟法ノ證據  
調ニ關スル規定」ノ下ニ「及民事訴訟費  
用法第九條及第十一條乃至第十三條ノ規  
定」ヲ加フ

第八十六條中「若ハ裁決書」ヲ削リ「第百  
六十七條及第百七十四條乃至第百七十七  
條」ヲ「第百五十八條第二項及第百五十九  
條」ニ改ム

第九十二條 事業主營業ニ關シ成年者ト  
同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁  
治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於  
テハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令

中事業主ニ適用スベキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

第九十三條 事業主ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第八十六條ノ改正規定中民事訴訟法ノ規定ノ準用ニ關スル部分ハ大正十五年法律第六十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員秋田清君登壇〕

○政府委員(秋田清君) 只今議題ト相成テ居リマス健康保險法中改正法律案ノ提案ノ主旨ヲ申上ゲタイト存ジマス、健康保險ノ事業ハ、御承知ノ如ク昭和二年一月一日ヨリ實施セラレタノデアリマスルガ、政府ニ於キマシテハ、此事業ガ小額所得勤勞者ハ固ヨリ、産業界ニ對シテモ密接ナル關係アルニ鑑ミマシテ、其施行ニ當テハ、常ニ十分ノ注意ト努力ヲ拂フテ居ル次第デアリマス、而シテ今日マデノ經過ニ徴シマスレバ、大體ニ於テ相當ナル成績ヲ擧ゲテ居ルモノト存ズルノデアリマス、唯、健康保險法實施以來、經驗ヲ重ネマスルニ從ヒ、諸般ノ事務ノ手續、保險料ノ徵收方法、保險給付ノ内容等ニ關シマシテ、尙ホ多少ノ改善ヲ加ヘ、以テ本事業ノ施行ヲ圓滑ニシ、事務ノ簡捷ヲ圖ルノ必要アリト認メマス、仍テ茲ニ健康保險法中改正ヲ要スル部分ニ付テ、本改正案ヲ提出致シタル次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマス——本案ニ付テハ別ニ通告ガアリマセヌカラ日程第四ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ政府提出、朝鮮簡易

生命保險特別會計法案外三件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(元田肇君) 原君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メテ可決致シマス——日程第五、登錄稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、大口大藏政務次官

第五 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

登錄稅法中左ノ通改正ス

第十九條ノ四ヲ第十九條ノ五トシ以下順次繰下ク

第十九條ノ四 外國カ其ノ大使館、公使館又ハ領事館ノ敷地又ハ建物ニ關シテ受タル登記ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ登錄稅ヲ免除ス但シ當該國カ帝國ノ大使館、公使館又ハ領事館ノ敷地又ハ建物ニ關スル登記ニ付同様に免稅ヲ爲サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員大口喜六君登壇〕

○政府委員(大口喜六君) 只今議題ト相成リマシタ登錄稅法中改正法律案ニ付キマシテ、極メテ簡單ニ其提案ノ趣旨ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス、外國ノ大公使館及領事館ノ敷地建物ニ關スル登錄稅ハ、我國ノ現行登錄稅法上ニ於キマシテハ、免稅ヲ行フノ途ガアリマセヌ、ソレ故ニ國際交誼上不便トスル所ガアリマスノデ、此不便ヲ除キマスルガ爲ニ、相互條件ノ下ニ於テ免稅スルノ途ヲ開カントシマスルノガ本案ノ趣意デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマス——別ニ通告モゴザイマセヌカラ、議事日程第六ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ政府提出、地租條例廢止法律案外十六件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(元田肇君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メテ可決致シマシタ——日程第七、大正十一年法律第五十二號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——下條政府委員

第七 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

大正十一年法律第五十二號中左ノ通改正ス

第一條中「政府ハ」ノ下ニ「農業及」ヲ加ヘ「實地調査ヲ行フ」ヲ「本法ニ依ル實地調査ヲ行フコトヲ得」ニ改ム

〔政府委員下條康磨君登壇〕

○政府委員(下條康磨君) 只今日程ニ上リマシタ大正十一年法律第五十二號中改正法律案ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲタイト存ジマス、此法律案ハ御承知ノ如ク各般ノ政策施設ノ基本資料トスベキ、最モ正確ナル統計ヲ得ル目的ヲ以テマシテ特別ノ實地調査即チ所謂「センサス」ヲ施行スル爲ニ制定セラレテアルモノデアリマス、而シテ現在ニ於キマシテハ、此法律ハ單ニ勞働事情ニ關スル「センサス」ノ施行ノ場合ニノミ限ラレテ居ルノデアリマスルガ、時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、農業統計ノ刷新改善ヲ圖ル爲ニ、所謂農業、「センサス」ヲ施行スルノ必要ガアルニ至ラタノデアリマス、此農業「センサス」ニ關シマシテハ、政府ハ昨年中中央統計委員會ニ諮問致シマシテ、其答申ヲ得マシタカラ、明年度カラ是ガ實施ニ着手セント致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此法律ノ適用範圍ヲ擴張致シマシテ、單ニ、勞働事情ニ關スル「センサス」バカリデナク

農業「センサス」ニ適用致シタイト考ヘルノデアリマス、是ガ本案ヲ提出致シマシタ理由デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラレンコトヲ希望致シマス

○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマス、別ニ通告ガアリマセヌカラ、日程第八ニ移リマス——右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ハ政府提出、馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案外三件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(元田肇君) 原君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メテ可決致シマス——日程第九、朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——池上政府委員

第九 朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案

便物ニ關スル法律案

朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ無料ト爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員池上四郎君登壇〕

○政府委員(池上四郎君) 茲ニ本案提出ノ理由ヲ極メテ簡單ニ申上ゲタイト存ジマス、昭和四年度ヨリ、朝鮮ニ於テ簡易生命保險ヲ實施スル見込デアリマシテ、之ガ特別會計ニ關スル法律案ハ既ニ提案ニナリマシタ次第デアリマス、サウ致シマシテ、朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ付キマシテハ、内地ノ簡易生命保險ノ例ニ倣フテ、之ヲ無料ト爲スコトヲ得ルノ特點ヲ認メルノ必要ガアルノデアリマス、朝鮮簡易生命保

險ニ關スル一般ノ規定ハ制令ニ依リ見込アリマス、右郵便物無料ニ關スル規定ハ、法律ニ依リナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ本案ヲ提出致シマシタル次第デアリマスカラ、何卒御審議ノ上御協賛アラシコトヲ切望致シマス(拍手)

○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマス——別ニ通告ガアリマセヌカラ日程第十二移リマス——右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉  
○原惣兵衛君 本案ハ政府提出朝鮮簡易生命保險特別會計法案外四件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(元田肇君) 原君ノ動議ニ御異議ハアリマスマイ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メテ可決致シマス——日程第十一、馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案(政府提出)

報告書  
一馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月十六日  
委員長 内野辰次郎  
衆議院議長 元田肇殿

〔内野辰次郎君登壇〕

○内野辰次郎君 本案ハ御承知ノ如ク馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル場合ニ、縣知事ガ命令ヲ以テ之ヲ殺サセル、其代リニ之ニ相當ノ手當ヲヤラウト云フノデアリマシテ、案モ非常ニ必要デゴザイマスシ、又法律モ極メテ簡明ニ出來テ居リマスガ爲ニ、委員會ヲ

開キマスコト一回、委員會ニ於テモ茲ニ特別ニ御報告申上ゲルヤウナ質問モゴザイマセズ、委員會ハ全會一致即決可決致シマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(元田肇君) 討論ヲ許スノデアリマスガ、通告ガアリマセヌ、隨テ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(元田肇君) 御異議ナシト認メテ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(元田肇君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(元田肇君) ソレデハ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

馬ノ傳染性貧血ニ罹リタル馬ノ殺處分ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

○議長(元田肇君) 三讀會ヲ省略致シマシテ決定スルコトニ致シマス、別段ニ討論モゴザイマセヌカラ御異議ナイモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(元田肇君) ソレデハ御異議ナク可決シタモノト認メマス——三讀會ヲ省略シテアリマスカラ委員長報告通リニ可決シタト云フコトヲ念ノ爲ニ申上ゲマス——日程第十二、鐵道敷設法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長若宮貞夫君

第十二 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)  
報告書  
一鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)  
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也  
昭和四年二月十六日  
委員長 若宮 貞夫  
衆議院議長 元田肇殿

〔若宮貞夫君登壇〕  
○若宮貞夫君 鐵道敷設法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過並結果ヲ御報告ヲ申上ゲマス、此案ハ御承知ノ通り鐵道敷設法中ニ定メテアリマスル所ノ豫定線ノ中ニ、新ニ二十六線ヲ追加シヤウトスルモノデアリマス、委員會ハ去ル四日以來數回會合ヲ致シマシテ、其間ニ幾多ノ質疑應答ガ行ハレタノデアリマスルガ、其中デ先ヅ本案ニ直接ノ交渉ヲ有シテ、サウシテ重要ナリト認メマシタ所ノ、三四ノ事項ニ付テ其梗概ヲ要約ヲ致シテ、茲ニ簡單ニ御紹介ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、其一ツハ鐵道ト自動車トノ關係ニ關スルコトデアリマスルガ、近來自動車ノ發達ガ著シク、外國ニ於テモ其發展ニ伴ヒテ、地方ノ鐵道ナリ、電車ナリガ、著シク經營ガ困難ニ陥リ居ルト聞クノデアアル、我國ニ於テモ地方ノ鐵道ト自動車トノ間ニハ、動モスレバ競争ヲ生ズル所ノ傾向ガアツテ、或ハ之ガ爲ニ二重投資ノ弊ニ陥ル所ノ虞モナイデハナイ、殊ニ短距離ノ場合ニ於テハ、寧ロ自動車道路ヲ修築ヲ致シテ、之ニ依テ貨客ノ輸送ニ充ルコトノ方ガ便トスルノデアリナカ、今度ノ二十六線ヲ追加セララル、ニ付テモ、政府ハ自動車トノ關係ヲ、ドウ取扱フ積リデアアルカト云フ意味ノ質問ガ、繰返サレテ質疑サレタノデアリマス、之ニ對シテ政府ニ於テハ、常ニ自動車ノコトハ考慮ニ入レテ居ル、殊ニ我國デハ、旅客ニアツテハ十五哩以内、貨物ニアツテハ凡ソ二十哩以内ノ短距離ニ於テハ、地方鐵道ハ大分自動車ノ爲ニ脅威ヲ感ズル所ノ事實ガアルガ故ニ、國有鐵道ニ關シテモ、將又地方鐵道ヲ免許スル場合ニアツテモ、此事柄ハ十分ニ考慮ノ中ニ入レテ取扱フテ居ルノデアリ、而シテ自動車ト鐵道トハ、其ノ働ノ範圍ヲ同ウスル場合モアリマスルケレドモ、併ナガラ又其間ニ於テモ、自カラ機能ヲ異ニスル點モアルノデアリテ、産業ノ開發ノ上カラ、國防ノ充實ノ上カラ、並ニ又鐵道系統ノ連絡ト云フコトノ上カラ見テ、自動車ダケデハ満足スルコトガ出來ナイ、ドウシテモ鐵道ノ敷

設ヲ必要トスル所ノ部面ガアルノデアアル、今回追加セントスル所ノ各線路ハ、何レモ此見地ヨリ見テ、極メテ必要ナルモノデアルト云フコトヲ辯明ヲ致シテ居ルノデアリマス、其二ハ二十六線ヲ選定スルコトニ關スル質問デアリマシテ、鐵道ノ敷設ハ、其效能ノ少イモノニ及ブト云フコトハ、自然ノ順序、原則デアラナケレバナラヌ、就テハ此二十六線ヲ選定ト云フコトニ付テハ、恐ラクハ多クノ線路ヲ調査シタ結果、其中ヨリ之ヲ摘ミ出シタト云フコトデアラナクナラヌト思フガ、果シテドレ程ノ線路ヲ調査シタモノデアアルカ、又疑ニ第五十二議會ニ於テ六線ヲ追加セラレタ、ソレ以來僅ニ三年シカ歲月ヲ經過シテ居ラヌニ拘ラズ、固ヨリ其間ニハ幾分經濟上ノ變化アリシコトヲ認ムルガ、此三年ノ間ニ俄ニ二十六線ヲ追加セネバナラヌト云フヤウナ、激變アリシトモ思ハレナイノデアアルガ、其邊ハ如何デアアルカト云フ趣意ノ質問ガ繰返サレタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ從來豫定線以外ニ於テ、或ハ請願トナリ、或ハ建議トナリ、政府ニ地方ヨリ要求シ來テ居ル所ノモノガ、實ニ百數線ヲ算シテ居ル次第デアアル、其中デ震災以來昨年迄ニ至ル間ニ調査ヲシタ所ノモノガ、八十六線アル、此八十六線ノ中カラ、第五十二議會ニ於テ既ニ六線ヲ追加セラレ、又更ニ今回其八十六線ノ中カラシテ、二十六線ヲ追加セントスル次第デアアルノデアリマシテ、此今回ノ二十六線ヲ選定ト云フコトハ、第五十二議會以後ニ俄ニヤツタ所ノ細工デアアリマセヌデ、以上申述ベル如ク、震災後昨年未ニ至ル迄ノ間ニ調査シタル、即チ五十二議會ニ追加セラレタル所ノ六線ト前後シテ、調査致シテ居ル所ノモノ、中ヨリ、其必要ナルト認ムル所ノモノヲ選擇シタ所ノ次第デアアルノガ、而シテ政府ニ於テハ、調査ガ完了スルニ從テ、其中可ナリト認メルモノニ付テ之ヲ追加致シテ、以テ社會國民ノ必要ニ應ジテ行キタイト云フ趣意ニ外ナラヌノデアアルト云フ意味ヲ、辯明致シテ

居ルノデアリマス、其三ハ交通系統、諸機關ノ統一ニ關スル質疑デアリマシテ、文化ノ發展ニ伴フテ、鐵道海運ハ云フ迄モナク、其他或ハ自動車、或ハ航空機、種々ナル所ノ交通機關ヲ産業振興ノ爲ニ必要ナル、是等ノ種々ナル機關ヲ綜合統一シテ、活動セシムルト云フコトガ、産業ヲ開發スル上ニ於テ極メテ必要デアルガ、政府ハ是等ノ諸機關ヲ統一シテ、交通省ヲ設置スルト云フ所ノ議ハ有ルノデアアルカ、無イノデアアルカト云フ意味ノ質疑ガアリマシタ、之ニ對シテ政府當局ヨリシテ、極メテ同感デアアル、蓋シ行政審議會等ニ於テ相當攻究セラレテ居ルコトデアアルト信ズル旨ノ答辯ガアリマシタ、其四ハ、私設鐵道ノ許可ノ方針ニ關スル事柄デアリマスルガ、私設鐵道ハ國有鐵道ニ比較シテ設備ガ不良デアアルコト送力ガ乏シク、而モ運賃ガ不廉デアアルコトヲ常例ト致シテ居ルノデアアル、此事柄ハ國家ニモ、國民ニモ共ニ不利ヲ來ス所ノモノデアアルガニ故、鐵道國有ニスルト云フコトノ主義ニモ、或ハ背反スル所ノ嫌ガナイデモナイ、政府ガ私設鐵道ヲ許可スル所ノ方針ハ、ドウ云フモノデアアルカト云フ意味ノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ニ於テハ、信用ガ確實デアッテ、資金ヲ蒐集スル所ノ實力ガ十分デアアルモノガ私設鐵道ノ免許ヲ出願シテ、此者ニ許可スルコトガ、地方ノ交通機關ヲ速成セシムル上ニ於テ可ナリト認ムル場合ニアッテハ、之ヲ許可スル所ノ方針ヲ執ッテ居ルト云フコトヲ辯明セラレテ居ルノデアリマス、其五ハ改良費ニ關スル質疑デアリマスルガ、此改良費ニ關スル質疑ハ、其性質ガ全ク相異テ居ル所ノ二様ノ質疑ガ、數回發セラレタノデアリマス、即チ其一方ハ今度ノ計畫ヲ見ルト、改良費ヲ減ジテ居ルガ、一面五年度以後ニ於テハ、或ハ減債基金、或ハ恩給ト云フヤウナモノヲ繰入レテ居ル、此繰入ヲ爲スガ爲ニ、改良費ヲ減ジテ居ルノデハナイカ否ヤ、並ニ改良費ヲ減ジテ居ルコトヲ結果トシテ、若モ輸送ガ激増スルト云フヤウナ事態ガ發生シタナラバ、ソコニ突如ト

シテ運輸上ニ支障ヲ生ズル虞ガアルデハナイカト云フ意味ノ質疑ガ一方ニアリマス、又一方ニ於キマシテハ、今日ノ我國ノ時勢ニ照ラシテ見テ、改良ト云フコトヨリモ尙ホ一層建設ト云フコトニ、カフ注ガナケレバナラスノデハナイカ、建設ニカフ注ダト云フコトガ、即チ地方産業開發ニ資スル所ノ今日ノ急務デハナイカト云フ意味ノ質疑、此全ク性質ノ相異ル所ノ二様ノ質疑ガ線返サレマシタ、之ニ對シテ政府ニ於テハ、曩ニ立テ、居テタ所ノ改良計畫ハ、旅客貨物ガ激増スルト云フコトヲ豫想シテ、之ヲ立テ、居テタ計畫デアアル、然ルニ近年ノ事實ハ全ク之ニ反シテ、豫期ノ通りノ増加ヲ見ナイノデアアル、ソレアルガ故ニ、今日ノ實情ニ適應スル如クニ改良計畫ヲ組直シテ、其必要ノナイモノハ之ヲ減ジテ、併ナガラ一面ニ於テハ線路ノ保安ノ上カラ、又輸送ノ便宜ヲ増ス上カラシテ、或ハ線路ヲ取換ヘ、或ハ橋桁ヲ取換ヘ、或ハ又鐵道ヲ電化スルト云フガ如キ、必要ナリト認ムル所ノ改良費ハ増加ヲ致シタ、即チ實際ノ必要ニ應ジテ増減變更取捨シタ所ノ結果ガ、是ニ及ンデ居ルノデアッテ、而モ鐵道ノ現在ノ輸送力並ニ設備ト云フモノハ、相當ノ彈力ヲ持ッテ居ルガ故ニ、茲ニ或ル程度ノ輸送ノ増加ガアツタコトデ、之ガ爲ニ支障ヲ生ズルト云フヤウナ虞ハ決シテナイノデアアルト云フコト、並ニ改良ト云フコトハ、廣イ意味カラ申セバ、建設ト云フコト、全ク同ジデアアル、建設ノミ致シテ、適當ナル改良ヲ急テ行クナラバ、茲ニ輸送力ガ減退シテ、却テ困難ヲ生ズルノデアアルカラ、改良ヲ止メテ建設ノミニカフ注ダト云フコトモ不可能デアアルト云フ意味ノ辯明セラレテ居ルノデアリマス、其外或ハ建設ノ順序ニ關シ、又或ハ鐵道ノ電化ニ關シ、又或ハ公債ノ償還ノコトニ關シ、又或ハ既定線路ヲ變更スル所ノ計畫ガ或ヤ否ヤト云フ點ニ關シ、又或ハ名古屋驛ノ改築工事ニ關シ、其他各線路ノ細目ニ互フテ、幾多ノ質疑應答ガ重ネラレタノデアリマスルガ、其詳細ニ付テハ之ヲ省略ヲ致シテ、速記録ニ就テ御覽下

サレンコトヲ茲ニ願フノデアリマス、而シテ討論ニ關シマシテハ、其結論ハ極メテ簡單デアアル、即チ何レモ原案ニ賛成スルト云フ議論デアリマスカラシテ、特ニ之ヲ此處ニ中上ゲル迄ノ必要ガナイカモ知レマセムガ、討論者カラシテ本議場ニ於テ報告セラレタイト云フ、取分テ御要求ガアリマシタガ故ニ、私ハ各討論者ノ要旨ヲ極メテ簡單ニ御紹介ヲ申上ダテ置キタイノデアリマス、先ヅ政友會ノ安原仁兵衛君カラシテ、各線何レモ相當ナル理由ガアリ、産業ノ開發上、文化ノ進歩上、極メテ適當ナル措置ト認ムルカラシテ、原案ニ賛成スルト云フ趣旨ノ陳述ガアツタデアリマス、次ニ民政黨ノ工藤鐵男君カラシテ、二十六線ハ其緩急ト輕重ヲ誤レルモノガアルカノヤウニ見受けラレル、黨勢擴張ニ付テ關係アルモノモアラヤウニ認メラレル、吾々ハ鐵道政策ノ上カラ見テ、豫定線ヲ出來ル限リ完成スルト云フ事ニ付テハ、政友會ト敢テ意見ヲ異ニスルモノデハナイ、唯此線路ヲ選ブニ當テ、黨弊ガ蟠ルト云フコトヲ恐レルノデアアル、併ナガラ政府ハ、是ハ一ツノ理想デアアル、之ヲ實行スル場合ニハ、更ニ相當考慮スルト云フコトヲ申ス以上ハ、吾々ハ之ニ對シテ賛成ヲシ、實行ノ際ニ相當考慮スル機會ガアルモノト認メテ原案ニ賛成スル、但シ之ニ對シテハ左ノ意味ノ警告ヲ附シテ置キタイ、即チ今回提出セラレテ居ル所ノ鐵道豫定線ノ追加ニ付テハ、政府當局ノ措置宜シキヲ得ナイ、之ヲ黨略ニ利用シ、綱紀紊亂ノ虞アルモノガ少シトシナイ、殊ニ之ガ爲メ既定豫定線ノ速成ヲ遲延セシムルニ至ルカラシテ、政府ハ將來豫定線ノ建設ニ當ッテハ、特ニ慎重ナル注意ヲ拂ッテ其前後緩急ヲ誤ラザルコトヲ期セラレタイ、斯ウ云フ意味ノ警告ヲ附シテ原案ニ賛成スルト云フ意味ノ陳述ガアツタデアリマス、而シテ其際工藤君ハ、今申シタ警告ナルコトヲ文案ヲ以テ、之ヲ讀上ダラレマシタガ故ニ、委員長カラシテ注意ヲ致シマシタ、書面ヲ以テ報告スルト云フコトデアアルナラバ、本委員會ノ決議ヲ要ス

ルノデアアルガ、果シテ決議ヲ求メラル、趣旨デアアルヤ否ヤト云フコトヲ確メマシタ所ガ、工藤君ハ、決議ヲ求ムル所ノ趣意デハナイ、斯ウ云フ警告ヲ附シテ賛成スルト云フ意味ヲ、委員長ヨリ報告セラルレバ以テ足ルト云フ趣旨ヲ聲明セラレタノデアリマス、次ニ新黨俱樂部ノ寺田市正君カラシテ、各線ヲ仔細ニ吟味シテ見タナラバ、或ハ工藤君ノ所謂黨色ノ嫌ノアルモノガナイデモナイカモ知レナイ、併ナガラ敷設法ノ改正ヲスル場合ニ當ッテハ、當ニ在野黨ノ立場ニアル者ハ、同様ノ非難ヲスルノガ常例トナッテ居ルノデアアル、現ニ憲政會内閣ノ際ニハ、政友會諸君カラシテ、同様ナル意味ヲ申サレタルヤウニ記憶ヲ致シテ居ルノデアアル、吾々ハドウノ内閣デアッテモ、純眞ナ立場カラシテ決定セラレラント云フ希フモノデアッテ、今度ノ線路ノ、ガ黨略ノ嫌アリトハ申サナイノデアアル、眞ニ國家ノ鐵道政策カラ適當ナル所ノ措置ヲ執ラレタイト云フコト、此希望ヲ附シテ原案ニ賛成スルモノデアアル、此希望ヲ有スルト云フ事ヲ、特ニ委員長ヨリ報告セラレタイト云フ意味ノ陳述ガアツタノデアリマス、而シテ採決ノ結果ハ、委員全部ガ出席シテ居リマシテ、全員一致ヲ以テ、原案ヲ可決スベキモノナリト決定セラレタノデアリマス、此段御報告致シマス(拍手)

○議長(元田肇君) 質疑ヲ許シマス——大里廣次郎君——登壇ヲ望ミマス

(大里廣次郎君登壇)

○大里廣次郎君 私人只今提案ニナッテ居リマスル案ニ付キマシテハ、賛成ヲ表スル一人デアリマス、其前提ト致シマシテ、茲ニ一ツノ質疑ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、此質疑ニ付キマシテ鐵道當局ノ御説明ガ仰ギタイノデアリマス、凡ソ鐵道政策ヲ遂行致シマスル上ニハ、固ヨリ黨略、政略ガ之ニ加ハルト云フコトハ絕對ニイケナイコトハ、申ス迄モナイノデアリマス、鐵道ノ能率ヲ高メ、鐵道經濟ヲ滑カニ致シマスル上ニハ、鐵道ノ豫定線ヲ決メマスル場合ニハ、或ハ建設改良ヲ致シマスル場合ニ

ハ、極メテ深甚ナル所ノ考慮ヲ致サントケレ  
バナラヌコトモ勿論デアリマス、殊ニ鐵道  
ノ縦ノ線ト横ノ線ガ極メテ都合好ク結ビ付  
ケラレマスルト同時ニ、幹線ニ連絡サレマ  
スル所ノ支線ガ、其連絡ノ公平ヲ缺クト云  
フコトハ、鐵道政策ノ上ニ最モ考ヘネバナラ  
ヌコト、思フノデアリマス、此見地カラ見マ  
シテ、今回二十六線ガ豫定線ニ入リテ居リ  
マスルガ、我ガ九州ニ於キマシテ、現在ノ  
鐵道ノ状態更ニ此鐵道新線圖面ニ依テ窺ヒ  
マスルト、甚ダ矛盾ヲ致シテ居ルヤウナ感  
ジガ致スノデアリマス、殊ニ筑豊ノ省線ニ  
於キマシテハ此感ガ愈、深クナリテ居ルノデ  
アリマス、其第一ヲ申シマスルト云フト、  
今回新設サレマスル豫定線ノ中ニ添田日田  
間ノ鐵道ガアルノデアリマス、此鐵道ガ假  
ニ完成致シマシタ場合ハ、目下工事中デアリマ  
スル所謂冷水線ナルモノガ此五月ニハ開通  
致スノデアリマス、此冷水線ノ開通下、今  
回組入レラレマシタ所ノ日田添田間ノ鐵道  
ニ依リマシテ、始メテ九州ニハ東ト西ニ海  
岸線ヲ通テ居リマス省線ノ外ニ、九州ノ縦  
斷線ガ二箇出來ルノデアリマス、現在ハ遺  
憾ナガラ九州デハ一ツモ中央ノ縦斷線ハナ  
イノデアリマス、即チ冷水線ノ完成ニ依リ  
マシテ、僅ニ一ツノ縦ノ貫通線ガ出來ルコ  
トニナルノデアリマス、又横ノ線ヲ見テ見  
マスルト云フト、御承知ノ通りニ鹿兒島カ  
ラ宮崎ニ通ジテ居リマス既成線、更ニ目下  
工事中デアリマス久留米大分間、大分熊  
本間、此線路ガ完成致シマシタ時ニ至ッテ、  
始メテ横ノ三ツノ幹線ガ出來ルコトニナ  
テ居ルノデアリマス、併ナガラ九州デ最モ  
殷盛ナル土地即チ北九州ヲ始メテ致シマシ  
テ、筑豊炭田ノ中央デアリマス筑豊線ノ  
横テ居ル此方面ニ於キマシテハ、今尙ホ完  
全ナル所ノ横ノ線ガ無イノデアリマス、縦  
今此處ニ二ツノ縦ノ線ガ出來マシテモ、九  
州デ最モ大切ナル筑豊線ニ、今尙ホ横ニ貫通  
シタル所ノ線路ガ出來ナイト云フコトハ、此  
地方ニ於ケル産業上或ハ國防上ニ大ナル缺  
陥ガ來ルノデアリマス、而モ此横ノ線ヲ貫  
通致シマスルコトハ、非常ニ見易イコトニナ

テ居ルノデアリマス、其一ツヲ申シマスル  
ト云フト、只今申上デマシタヤウニ、添田、  
日田間ノ豫定線ニ接續致シマスル添田ノ次  
ノ停車場デアリマス後藤寺ト云フ停車場、  
是ハ豊前ノ中ニアルガ、此豊前ト筑前トノ  
連絡ヲスル横線ノ所屬築豊線ノ上山田電車  
ト、田川線ノ後藤寺驛トノ間ハ僅ニ三哩弱  
デアリマス、三哩ニ達シナイヤウナ近イ場  
所デアリマス、此場所ハ三菱、三井大鐵山  
ガアリマスルト同時ニ、幾多ノ鐵山ガ圍繞  
致シテ居ルノデアリマス、而モ極ク近イ中  
ニ三菱ハ此上山田カラ一哩半許リノ所ニ引  
込線ヲ拵ヘルコトニナリテ居ル、然ラバ、  
後ノ殘リマス所ハ僅ニ一哩弱デアアル、  
此一哩弱ノ鐵道ガ出來マシタナラバ、  
豊前ト筑前トノ横斷線トガ綺麗ニ貫通  
ガ出來ルノデアリマス、而モ此土地ハ山  
モ無ク河モ無ク、僅カニ二十万圓足ラズノ  
工費デ此目的ヲ達スルコトガ出來ヤウト  
思フノデアリマス、斯ル必要ナル鐵道ガ今  
日尙ホ其儘ニナリテ居ルノデアリマス、此鐵  
道ガ出來ナイ限リハ、假令縦ノ線ヲ拵ヘマ  
シテモ、其縦ノ線ガ活キテ參ルコトハ出來  
ナイノデアリマス、第二ニハ矢張是ハ筑豊  
線ノ横ノ線ニ結付ケラル、一ツデアリマス  
ルガ、既ニ此線ハ豫定線ニ這入リテ居リマ  
ス、人之ニ大分鐵道ト云フ名稱ヲ下シテ居  
リマスルガ、此大分鐵道ノ速成ハ此地方ト  
シテハ非常ニ熱望致シテ居ルノデアリマ  
ス、又此鐵道ガ出來ナイ限リハ、假令上山  
田、後藤寺間ガ連續致シマシテモ、完全ニ  
筑豊ノ横ノ線ヲ拵ヘルコトハ出來ヌノデア  
リマス、御承知ノ通り本年内務省ハ博多灣  
築港完成ノ爲ニ過分ノ補助ヲ致シテ居ルノ  
デアリマス、又仄ニ聞ク所ニ依リマスレバ、  
博多灣鐵道ガ政府ニ買收サレントシツ、ア  
ルノデアリマス、此博多灣鐵道ナリ、博多  
築港ナリヲ意義アラシムルニハ、ドウシテ  
モ、大分鐵道ノ完成ヲ見ナクレバ其效ハナ  
イノデアリマス、而モ此大分鐵道ハ哩數ニ  
於キマシテ僅ニ二三哩ト思フノデアリマ  
ス、即チ冷水線ノ接續ニナリテ居リマスル  
長尾線ト、篠栗線トノ間ノ鐵道デアリマス、

此鐵道ニ結付ケラレマシテ始メテ東ノ福岡  
カラ西ノ海岸行橋ニ至ル迄完全ニ横ノ線ガ  
出來ルコトニナルノデアリマス、未ダ此線  
路ノ完成ヲ見ナイ爲ニ、此地方殊ニ筑豊線  
ノ中央デアリマスル飯塚直方ノ如キハ、鐵  
道ノ利用ガ出來マシタナラバ僅カニ四十分デ  
行クベキ所ヲ、三時間モ掛リテ居ルノデス、  
即チ鍋ノ弦ヲ通テ居ルノデアリマス、御承  
知ノ通り飯塚、直方地方ハ筑豊デ最モ石炭  
ノ產地デアリマスカラ、隨テテノ地方デハ  
鐵道ノ運輸ハ人ニアラズシテ石炭デアアル  
マデ申サレテ居ルガ、ソレダケアノ地方  
デハ鐵道ノ利益ヲ石炭ガ舉ゲテ居ル、日本  
ノ鐵道ノ中デ北海道ノ一部ト、我ガ筑豊ノ  
一部ノ鐵道程利益ヲ舉ゲテ居ル所ハナイト  
思フノデアリマス、今日此鐵道ノ完成ガナ  
イ、而モ大正八年ニ豫定線ニ這入リテ居ル  
ニモ拘ラズ、今尙ホ工事ノ著手ヲ見ナイ爲  
ニ、此地方ノ人ハ非常ニ不便ヲ致シテ居ル  
ノデアアル、險阻ナル所ノ八木山峠ヲ五分毎  
ニ自動車ヲ通ジテ、日ニ數千人數万噸ノ貨  
物ガ辛ウジテ運搬サレテ居ルノデアリマ  
ス、更ニ今一ツハ八幡ノ製鐵所ニ石炭ヲ運  
搬致シテ居リマスル二瀬驛カラ、先程申シ  
マス冷水線ノ一部ニナリマス所ノ長尾驛  
ニ通ジマスル所ノ鐵道ノ如キモ、矢張僅ニ  
二哩強デアリマス、八幡ノ製鐵所ノ一ツデ  
アリマスル二瀬ノ出張所ハ、是亦一日ニ二  
瀬ノ驛ダケデ毎日千圓以上ノ鐵道ノ利益ヲ  
舉ゲテ居ル、斯様ニ僅ニ哩數デアリマシテ、  
其僅ニ哩數ガ接續サレマスレバ、茲ニ始メ  
テ一ツノ筑豊ノ横斷線ガ出來ルノデアアル、  
斯様ナ實際ノ問題ヲ其儘ニシマシテ、茲ニ  
更ニ豫定線ヲ拵ヘラレマシタケレドモ、其  
豫定線ハ到底活キテ行クコトハ出來ナイト  
思フ、丁度佛ヲ造テ魂ヲ入レヌヤウナ狀  
態ニナリヤセヌカト思フ、此點ニ付キマシ  
テ本院第五十議會ニ滿場一致ヲ以テ、建議案ハ  
本院ヲ通過致シテ居リマス、其後吾々ノ同  
僚、殊ニ政友會選出ノ代議士諸君カラシテ、  
年々歳々是等ノ鐵道ノ速成ノ建議希望ヲ出  
シテ居ル次第デアリマス、故ニ當局ニ於カ  
レマシテハ、此見易イ所ノ事實、又今回示

サレマシタ所ノ鐵道圖面ニ付テ御覽下サレ  
バ、明ニ此鐵道ガ必要デアアルト云フコトガ  
分ルノデアリマス、此必要ナルモノヲ措キ  
マシテ、更ニ茲ニ豫定線ヲ拵ヘルト云フコ  
トハ、餘程是ハ考ヘナクテハナラヌノデア  
リマス、併ナガラ此豫定線ガ出來ルト同時  
ニ、直ニ横ノ線ガ接續セラレマシテコソ、  
初メテ此地方ノ便益ガ得ラレルノデアリマ  
ス、此點ニ付キマシテ當局ノ御考ヲ承リタ  
イノデアリマス

(政府委員男爵中村謙一君登壇)  
○政府委員(男爵中村謙一君) 只今御質問  
ニ相成リマシタ上山田、後藤寺間、及ビ二  
瀬、長尾間ノ線路ニ付キマシテハ、從來議  
會ニ於ケル請願及建議案ニ基キマシテ調査  
研究ヲ續ケテ居ル次第デゴザイマスガ、其  
地方ノ線路系統上ノ見地カラ致シマシテ、  
マダ其解決ニ到達ヲ致シテ居リマセヌ次第  
デゴザイマス、隨ヒマシテ今後尙ホ調査研  
究ヲ續ケテ行キタイト考ヘテ居リマス、次  
ニ長尾、篠栗間ノ鐵道ハ、今回ノ改訂建設  
計畫ニ於キマシテ昭和六年度著手、同ジク  
十二年度完成ト致シマシテ豫算ヲ要求シテ  
ゴザイマス

○議長(元田肇君) 討論ニ移リマス——岡  
本實太郎君

(岡本實太郎君登壇)  
○岡本實太郎君 私ハ本案ニ對シテ賛成セ  
ントスル者デアリマス、由來鐵道ノ建設ハ  
其地方ノ文化ノ促進ニ重大ナ關係ガアリ、  
又地方ノ産業開發ニ極メテ重大ナ關係ヲ致  
シテ居リマスガ故ニ、如何ナル地方ト雖モ  
此建設ヲ翹望セザル所ハナイ、極メテ重要  
ナ關係ヲ持チマスノデアリマス、況ヤ現鐵  
道敷設法ニ掲ゲテアル未成線ノ中、百二十  
何線ト云フモノハ、未ダ工事ニモ著手シテ  
居ナイノデアリマス、是等ノ路線ハ一日モ  
早く速成ヲ希望スルト共ニ、茲ニ本案ガ新  
ニ二十六線追加サレルト云フコトニ付キマ  
シテハ、各地方ニ重大ナ關係ヲ持チマスガ  
故ニ、又吾々慎重ニ之ヲ審議シナケレバナ  
ラスト思フノデアリマス、先刻委員長ノ御  
報告ニモアリマシタ如ク、鐵道當局ノ御答

辯トシテハ、自動車デ事足ルモノハ之ニ依テ支ヘ、自動車ニ依テ支ヘルコトノ出来ナイモノハ此鐵道ノ建設ヲ爲スト言ハレタノデアリマス、將來自動車ト地方鐵道トノ關係ハ最モ注意ヲ要スルコト、思フノデアリマス、吾々ハ今掲ゲラレタル二十六線ノ中ニハ、一々巨細ニ審議シ來テナラバ、自動車デ事足ルモノモ中ニハアルト思フノデアリマス、併シ自動車ノ事柄ハ鐵道省所屬ニナラマシテ、新タデアアル、漸ク昨年ノ八月ノ頃カラ此方ト云フコトデアリマス、御調査モ不十分デアアル、隨テ是等ニ對スル材料ノ御提供等モ十分出來ナイガ故ニ、吾々ハ遺憾ナガラ之ヲ判斷スルノニハ材料ガ乏シカタノデアリマシテ、姑ク此點ハ政府當局ノ言葉ヲ信用致シマシテ、先ヅ此二十六線ニ就キマシテ、自動車トノ關係ハ別ニ保留致シテ置クコトニ致シマス、更ニ先刻委員長ヨリ報告ガアリマシタ通り、政府當局ノ御説明ニ依レバ、震災後ニ於テ既ニ調査サレタモノハ八十六線、此中デ六線ハ五十二議會ノ時ニ決定致シ、更ニ六線ハ調査ノ結果必要ナシト認めラレタモノガアル、此度一十一線ヲ附加ヘ、合セテ三十八線ニ確定致シマスルカラ、殘リマスモノガ調査濟ノモノデアアテ、本議場ニ現ハレザルモノガ四十八線アル、此四十八線ノ中ニハ、再調査ヲ要スルモノモアルト云フコトデアリマス、幾分差引カレマシテ少クモ三十四線ト云フモノハ茲ニ調査ガ出來テ、マダ提案サレナイモノガアルノデアリマス、此三十四線ノ調査濟ノモノト、此度提案サレタ二十六線ヲ比較對照致シマシタナラバ、或ハ提案サレザルモノ、中ニ、ヨリ以上必要ナルモノガアリハセヌカト疑フノデアリマス、又此二十六線ノ中ニモ、中ニハ提案サレザルモノヨリモ劣クモノガアリハシナイカト推量モ致サレドデアリマス、斯様ナル線モ此中ニハアルデアラウ、幾分含マレルデアラウト云フコトハ、誰シモ推量シ得ルコトデアリマス、即チ此路線ヲ見マシテモ、磯部、中込間ノ如キ、一哩當リ四十八万圓餘リ掛ルノ

デアアル、或ハ野澤、柳津間ノ如キモ四十四万圓餘リ掛ルノデアアル、山口縣ノ徳佐、廣瀬間ノ如キ四十三万圓餘リ掛ルノデアリマス、資本ニ對スル利廻計算カラ見マシテモ、瀧川、濱益間ノ如キハ〇・〇〇〇八ト云フノデアリマス、極メテ小サイ利廻ニナラマシマス、或ハ摺澤、大原間ノ如キモ〇・〇〇〇二、斯様小サナ數字ニナラマシマス、建設ニ多大ノ費用ヲ要スルノデアアル、山口縣ノ徳佐、廣瀬間ノ如キ、利廻ニ於テモ〇・〇〇四〇、斯ウ云フ計算ニナラマシマス、是等ノ路線ハ未ダ提出サレザル調査濟ノ三四十線ノ中ノモノト較ベテ、果シテドウデアアラウカト云フコトハ、多ク疑ハナケレバナラヌノデアリマス、地方ニ極メテ重大ナル關係ヲ持テ、而シテ茲ニ提案サレタモノト、提案サレザル調査濟ノモノト比較シテ來マスト、斯様ノ疑モ生ジマスルカラ、茲ニ免角鐵道ニ就キマシテハ、或ハ黨利黨略ノ爲ニ之ガ爲サル、ノデナイカト云フガ如キ、噂ヲ生ズルノ止ムヲ得ヌノデアリマス、私ハ單ニ抽象的ナ黨利黨略ノ言葉ノミデアリマセヌ、二三ノ例ヲ申シマシテモ、誰言フトナク坊間傳ル所ニ依レバ、或ハ鐵道建設ニ對シテ、又追加線ヲ加ヘルコトニ付キマシテ、小川春日合名會社ナド、云フヤウナ、洵ニ面白クナイヤウナ噂ノ言葉モ出タコトガアルト記憶致シテ居リマス、内容ノ説明、詳細ハ省イテ置キマスガ、免三角は面白カラヌ噂デアアルノデアリマスガ、更ニ北海道ノ鐵道ノ數線アル中ノ、余市ヨリ余別ニ至ル鐵道ノ如キハ、會テ憲政會内閣當時ニ建議案或ハ請願等モ屢、通過サレ、其當時最早ハ追加線ニ入ラレルト云フコトハ殆ド定テ居、タ狀況デアリマシタガ、唯書類ガ完成シナカッタト云フノデ延期致シテ居、タノデアアル、政友會内閣ニナリマスト共ニ書類ハ完成シ、茲ニ議會トシテ初メテ完全ナ議會ガ開カレルニ當リ御提案ニナラマシデアリマス、是ニ於テカ偶々之ヲ政友會側ノ方カラ利用サレテ、恰モ政友會内閣ニ於テ、政友會デアアルカラ之ヲ特ニ建設線トシテ追加ス

ルト云フ如キ宣傳ヲ爲サレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、(馬鹿ナコトヲ言フナ)ト呼フ者アリ)又當局其人ノ如キハ、親シク出張サレテ此種ノ言葉ヲ弄セラレタコトガアルト聞イテ居ルノデアリマス、此路線ノ沿道ニ互リマシテ、我が黨員ノ前ノ代議士澤田君ノ如キハ、非常ナ重大ナル打撃ヲ受ケ、千何票ト云フモノヲ、之ガ爲ニ失、タト云フコトモ聞イテ居ルノデアリマス、(拍手) 左様ナ事實ガアリマスルト、茲ニ黨利黨略ナド、云フ言葉ガ自然出テ來易イノデアリマス、或ハ何ノ必要アツテカ、一昨年九月普通選舉トシテ初メテ施行サレタ縣會議員ノ選舉ノ時ニ當リテ、小川鐵道大臣ハ私ノ選舉區ノ岡崎市ヘ態、參ッテ、多クノ有志ト面會フシテ居ラレル、又愛知縣トシテハ片田舎デアアル舉母ト云フ土地ニ到リ、多數ノ有志ヲ集メテ、態、此縣會議員ノ選舉ノ眞最中ニ、多クノ人ト面接ヲ遂ゲテ居ラレルノデアリマス、瀨戶町ニモ參ラレテ同様ナコトガアッタト聞イテ居リマス、舉母ト瀨戶町ノ中間ノ保見村、此戶數八百戸バカリノ所ニ鐵道大臣ノ代理トシテ態、某參與官ガ參ラレタサウデアアル、純朴ナル農村ノ者ハ羽織袴デ出迎ヘテ、其時ニ、百八十何名ノ入黨者ガ纏ッタト聞イテ居リマス、左様ナ事實ガ現ニアリマスルカラ、黨利黨略ト云フ言葉ノ出來ルノハ無理カラヌコトデアアル、更ニ岐阜縣ノ東部ニ於キマシテハ、大井掛川線ノ明知、大井間ノ路線ハ既ニ建設ニ著手致シテ居ルモノヲ、或ハ變更セントスルガ如キコトヲ言觸シテ、多クノ黨員ヲ募集シ、大井ノ地點ヲ改メテ、或ハ瑞浪ト云フ所ニ直サントスルト云フ如キコトヲ以テ、利用サレテ、其附近ノ多クノ入黨者ヲ纏メテ居ル、縣トシテハ違ヒマスガ、隣リノ所マデ入黨書ヲ纏メテ居ルト云フ事實ガアルノデアリマス、斯様ナコトガ私ノ知ル範圍内ニ於テモ既ニ四五箇所アリマスルカラ、茲ニ鐵道問題ニ付テ、黨利黨略ト云フガ如キ免角噂ガ出テ來ルノモ、已ムヲ得ヌコトデアリマス、(拍手) 斯ルコトガ事實アルト致シマシ

タナラバ、海ニ綱紀紊亂ノ甚シキモノト謂ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、殊ニ此調査濟ノ路線デアアテ、而シテ此度提案サレザルモノ、四十八線ニ付キマシテ、私ハ委員會ニ於テ、之ヲ御提出ヲ願ヒマシタ所、當初政府委員ノ御一人ハ、ソレハ提出ハ出來ナイト拒絕ヲサレタノデアリマス、然ルノニ後日小川鐵道大臣ニ之ヲ質問致シタ所、小川鐵道大臣ハ、ソレハ提出スルト云フ御請デアアタノデアリマス、速ニ提出アルデアラウト私等ハ待テ居リマシタガ、遂ニ是ハ提出ガナクシテ、質問ガ打切ニナリ、委員會トシテ決定致シタノデアリマス、出來ルナラバ吾々ハ此調査濟ノモノモ御提出願ッテ、而シテ細カク審議致シタカッタノデアリマスガ、其餘日ノナカッタノヲ甚ダ遺憾ト致スノデアリマス、是ニ於テカ、黨利黨略ノ如キ疑モマダ懷イタ儘、茲ニ委員會ヲ終結スルコトニナリマシタ、先ニ申シマシタ如ク新ニ此二十六線ヲ追加サレマシタニ付テハ、既ニ敷設法中定テ居リ、未ダ工事ニ著手セザル百二十線餘ノ路線ニ付キマシテハ、何時此鐵道ガ建設サレルカト云フコトニ付テ、一段深キ疑懼ノ念ヲ懷クコトデアラウト思フノデアリマス、是ニ於テカ、此二十六線ニ付キマシテハ、私等ハ勿論無イヨリハ有ル方ガ宜シイノデアアル、有ハ無ニ勝ルノデアアル、箇々ノ路線ヲ捉ヘ來レバ、勿論相當何レモ必要ナ理由ハ之ヲ了解致シマシタガ故ニ、之ニ付テ賛成ヲ致シマス者デアリマスガ、併ナガラ一面未著手ノ百二十何線ニ對シテ、疑懼ノ念ヲ懷カシメルト云フコトニ付テハ、大ニ此點ヲ防ガナケレバナラナイ、殊ニ鐵道ノ建設ハ、前後緩急ト云フコトガ最モ大切デアアル、急ナルモノヨリ先ニシ、緩ナルモノヨリ後ニスルト云フ前後關係ガ最モ大切ナルガ故ニ、此二十六線ノ建設ニ對シテハ、將來最モ深キ注意ヲ要スルモノデアアル、若シモ此二十六線ノモノヲ強ヒテ早く建設ニ著手ヲシ、先ニ定メテ居ル百二十何線ノモノヲ後週ニサレルト云フガ如キコトガアルナラバ、是コソ又再ビ黨利黨略ニ供シ、綱紀紊亂ト云



フガ如キコトヲ招來スルガ故ニ、此前後緩急ハ最モ注意ヲ致シテ貫ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、此趣旨ニ於キマシテ、吾々ハ先刻委員長ヨリ報告モアリマシタ如ク、警告トシテ「今回提出セル鐵道豫定線ノ追加ニ付キテハ政府當局ノ措置宜シキヲ得ズ、之ヲ黨略ニ利用シ、綱紀紊亂ノ虞アルコト渺ナシトセズ、殊ニ是ガ爲メ既定豫定線ノ速成ヲ遲延セシムルニ至ルヲ以テ、政府ハ將來豫定線ノ建設ニ當リテハ特ニ慎重ナル注意ヲ拂ヒ、其前後緩急ヲ誤ラザラシコトヲ期スベシ」斯様ナ警告文ヲ附シタ所以デアリマス（拍手）最後ニ更ニ一言附加ヘテ置キマス、鐵道財源表ヲ見マスレバ、昭和五年度カラ減債基金繰入トシテ千八百萬圓ヲ一般會計ニ繰入レラレルノデアアル、昭和六年度カラ減債基金繰入トシテ千九百萬圓、更ニ恩給基金トシテ二百七十萬圓、六年度ニ於テ合計セテ二千七百七十萬圓ト云フモノ、此特別會計カラ一般會計ニ繰入レルト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、四年度迄ハ一般會計ニ少シモ入レズシテ、五年度ニ千八百萬圓、六年度ニ二千七百七十萬圓ト云フモノヲ、新ニ繰入レラレルト云フ前例ヲ作ラレルト云フコトハ、何ト辯解サレテモ、兩稅委議ノ結局是ガ財源ニナルデアラウト云フコトハ、明デアアル（拍手）而モ是ガ爲ニ改良費ニ多大ノ減ノ計畫ヲ爲サナケレバナライ、即チ四年度ニ於テハ四千五百七十八萬五千二百八十圓、五年度ニ於テ二千七百三十三萬六千八百八十圓、六年度ニ於テ三千五百三十六萬七千圓、是ダケノ減額ノ計畫ガ出來テ居ルノデアリマス、一面幾分ノ増額モアリマスケレドモ、差引キマシテ餘程多大ノ減額ノ計畫ヲシナケレバナライ、斯ウ云フ財源表ニ計數ヲ掲ゲラレテ爲サラナケレバナライト云フコトニナツタガ故ニ、茲ニ建設ニ付キマシテモ、改良ニ付キマシテモ、兩稅委議ノ犠牲トナツテ遲ラサナケレバナライ、斯ウ云フ事情ガ生ズルノデアリマス、新ニ二十六線ヲ附加ヘナガラ、一面ニ於テハ建設モ改良モ共ニ遲延スルト云フ、茲ニ計畫ヲシナケレバナライ

スト云フガ如キ、鐵道當局ニ矛盾ガアリハシナイカト思フノデアリマス、是ニ於テカ二十六線ノ追加ニ付テハ、先刻申シマスガ如キ警告ノ念、必要ナルヲ感ジタ次第デアリマス、即チ是ガ私等ガ警告ヲ附シテ、本案ニ對シテ賛成セントスル所以デアリマス（拍手）

○議長（元田肇君） 木槍三四郎君

（木槍三四郎君登壇）

○木槍三四郎君 只今議ニ上ツテ居リマス鐵道豫定線追加案デアリマス、是ハ所謂現内閣ノ鐵道政策トモ申スベキ問題、是ガ爲ニハ世間色ニノ噂ガ上ツテ居ル、併ナガラ此鐵道敷設追加ト云フモノニ對シテハ、何時ノ議會デモ、是ハ政友會ガ野黨デアッタ時代デモ、吾々ガ與黨デアッタ五十二議會ニ六線路ヲ出シタ、僅ニ六線路デアリナガラ、是ニハ黨略アリトシテ盛ニ反對セラレタノハ、現在ノ政府與黨デアリマセウ、而シテ只今委員長方述べラレタ所謂其六線路ヲ、五十二議會ニ於テ政友會ガ賛成スルニ當リテモ、矢張警告ヲ御附ケテサツタ、吾々ハ政友會ガ附ケタヤウナ警告デアリナイ、尙ホモト意味ノアル警告ヲ茲ニ附ケテデアリマス（拍手）我黨内閣ノ時ニ僅カ六線路デアッタモ、而モ之ニ難癖ヲ付ケテ而シテ賛成ヲ致シタ、今日ハ二十六線ノ多キニ達シテ居リマス、現在ノ鐵道敷設法ニアリマス線路ノ數ダケデモ百四十九アル、百四十九線ノ上ハ此二十六線路ヲ加ヘタノデアリマス、私共スルノデアリナイ、斯様ナ意味合カラ議會ニ於テ皆様方建議ヲナサレタ、サウシテ當局ニ之ヲ採擇セヨト絶叫致サレタ線モアリマス、政府自ら自發的ニ計畫致シタ線モアリマス、何レニ致シテモ、二十六線路ガ茲ニ現レタ以上ハ、之ヲ建設スル時ニハ國費ヲ要シマスルカラ、前後緩急ハ調査致サナケレバナライ、併ナガラ假令黨略デアラウガ、二十六線ノ多數デアラウガ、此處ニ出シタ以上ハ、兎モ角現在只今國費ヲ要シナイノデアアルカラ、先ツ吾々ハ將來ヲ警メテ之ニ賛成ヲ表スルノデアリマス、是ハ議員

トシテ當然ナ立場デアアル、諸君ガ野黨デアッタ時ニハ、今少シク生温イ警告ヲ附ケタノデアアルガ、吾々ハ二十六線ニ對シテハ、將來前後緩急ヲ誤ラザルヤウ、更ニ建設ノ上ニ惡影響ヲ及ボサナイヤウニト云フ警告ナノデアリマス、此點ハ諸君ニ於テモ特ニ御注意ヲ願ヒタイ、何モ野黨デアアル、或ハ與黨デアアルカラト申シテ、此問題ヲ簡單ニ片付ケル譯ニハ參リマセヌ、二十六線路ヲ茲ニ採擇スル迄ニ至ラタ經路モ考ヘテ見テ、當局ニ誤レルモノアレバ、之ヲ正シテ將來ヲ警メルノハ、是ハ吾々議員トシテ當然ノ役目デアリマス（拍手）賛成、反對ハ前辯士ガ申上ゲマシタヤウニ、假令賛成致シマスニ付テモ、間違タ處置ヲ致スト云フコトハ、國家ノ上……

（此時發言スル者多シ）

○議長（元田肇君） 靜肅ニ願ヒマス

○木槍三四郎君續 國家ノ上ニ多大ノ迷惑ヲ致スガ故ニ、此點ヲ警メンガ爲デアリマス、是ハ當然デアアル、即チ政友會ガ賛成ニ執ラレタ其點ニ反省セラレテ、吾々ノ申スコトヲ御聽キ下サイ、此豫定線路ニ載セラレタモノハ、前ニ岡本君モ申サレマシタガ、今日ノ狀態ハ短距離ニ於テハ自動車ヲ使テ、寧ろ鐵道ヨリハ有利デアアル、此度ノ追加豫定線ヲ見ル、或ハ五哩トカ、或ハ七哩ト云フヤウナ短距離ノモノヲ採用シテマデモ、此二十六線路ノ中ニ入レテアルト云フコトハ、將來餘程考慮ヲ要サナケレバナライト思フ、ソレハ一例ヲ舉ゲルナラバ、福山、鞆間ノ如キハ僅カ七哩八分デス、七哩八分デアツテ、此間ニハ現在鐵道ガアル、乘合自動車モアル、此交通ノ便利ガ圖ラレテ居ルニ拘ラズ、政府ガ國費ヲ投シテ七哩八分ノ場所ニ、福山鞆間ノ鐵道ヲ敷設セントスル此案ハ、如何ニモ時代ヲ裏切ツテ居ル連方デアルト私共ハ思フ、是等ノ點モ將來敷設スル場合ニハ餘程考ヘネバナラス、斯ウ云フ事例ハ澤山アル、若シ斯ウ云フヤウナモノヲ敷設法ニ入レルナラバ、全國幾ラデモアリマス（反對シタラ宜イデ

ヤナイカト呼ブ者アリ）御黙リナサイ、併ナガラ茲ニ計上セラレタ以上ハ、斯ウ云フ誤レル線ガアリマスカラ、建設ノ場合ニ前後緩急ヲ誤ラザルヤウト云フ言葉ヲ入レテ當局ヲ警メルノデアリマス、斯ウ云フヤウナモノヲ載セルト云フノハ、結局如何ナル譯デアアルカト言ヘバ、矢張其反面ヲ顧ミマスルト、黨勢擴張ノ政略ト云フモノガ茲ニ胚胎シテ居ル（拍手）更ニ又此中ニ掲ゲラレテアル長野縣カラ群馬縣ニ通シマスル中込磯部線ノ如キモノヲ見ルト、是等ノ如キハ前内閣ノ時代ニ測量ヲ致シマシテ、測量ノ結果ガ磯部中込線方適當ナリト前内閣時代ニ判定シタ、而モ此方面ニハ三本アツタ、而モ此線路ノ現内閣ニナツテ確定ノ三採用ニナツタノデアアル、而モ是ハ一昨年ノ十二月ノ鐵道會議ニ諮問ヲシテ、確定ノ三大體ヲタノデアリマス、然ルニ昨年ノ九月ニナツテ、此磯部中込間ノ沿道關係町村ノ者ガ、小川鐵道大臣ノ所へ、此鐵道敷設法ニ編入ノコトノ陳情ニ參リマス、小川鐵道大臣ハ當時官舎ニ於テ何ヲ語ツタカ、長野縣並群馬縣ノ關係町村ノ者ノ陳情ヲ聽イテ、彼ガ申スヤウ、長野縣ハ中込線ヲ「通レバ群馬縣ハ何處ノ線路ヲ通ツテモ宜イ、斯ウ云フ答辯ヲサレタ、而モ鐵道當局ニ於テハ磯部中込線方適當ナリトシテ、技術上ノ測量ヲシテアル、而モ前年ノ十二月ニ鐵道會議ニ鐵道大臣ハ案ヲ具シテ決定セシメ置キナガラ、沿道關係ノ者ノ陳情ガアレバ決定セザルガ如キ言語ヲ弄シテ、關係町村ノ者ニ心配ヲ掛ケテ居ル、是ハ何ヲ意味シテ居リマスカ、私共ハ斯ウ云フヤウナコトハ政黨員トシテハ宜シウゴザイマセウガ、進ンデ内閣大臣トナツタ以上ハ、斯様ナル取扱ヲ致スコトハ甚ダ宜クナイコトデアアルト思フ、況ヤ當時小川鐵道大臣ハ何ト申シタカ、其關係ノ陳情ニ來サタル人民ニ向ツテ、此磯部ハ憲政會ノ地盤デアリナイカトマデ言ツテ居ル、當時磯部ノ村長並ニ他ノ者一人ガ、私ハ以前カラ政友會員デゴザイマス答ヘタラ、小川鐵道大臣ハ曰ク、一名ヤ二名ノ政友會員ガ何ニナルト、斯ウ言フテ居ル、町村ニ於ケル

トシテ當然ナ立場デアアル、諸君ガ野黨デアッタ時ニハ、今少シク生温イ警告ヲ附ケタノデアアルガ、吾々ハ二十六線ニ對シテハ、將來前後緩急ヲ誤ラザルヤウ、更ニ建設ノ上ニ惡影響ヲ及ボサナイヤウニト云フ警告ナノデアリマス、此點ハ諸君ニ於テモ特ニ御注意ヲ願ヒタイ、何モ野黨デアアル、或ハ與黨デアアルカラト申シテ、此問題ヲ簡單ニ片付ケル譯ニハ參リマセヌ、二十六線路ヲ茲ニ採擇スル迄ニ至ラタ經路モ考ヘテ見テ、當局ニ誤レルモノアレバ、之ヲ正シテ將來ヲ警メルノハ、是ハ吾々議員トシテ當然ノ役目デアリマス（拍手）賛成、反對ハ前辯士ガ申上ゲマシタヤウニ、假令賛成致シマスニ付テモ、間違タ處置ヲ致スト云フコトハ、國家ノ上……

（此時發言スル者多シ）

○議長（元田肇君） 靜肅ニ願ヒマス

○木槍三四郎君續 國家ノ上ニ多大ノ迷惑ヲ致スガ故ニ、此點ヲ警メンガ爲デアリマス、是ハ當然デアアル、即チ政友會ガ賛成ニ執ラレタ其點ニ反省セラレテ、吾々ノ申スコトヲ御聽キ下サイ、此豫定線路ニ載セラレタモノハ、前ニ岡本君モ申サレマシタガ、今日ノ狀態ハ短距離ニ於テハ自動車ヲ使テ、寧ろ鐵道ヨリハ有利デアアル、此度ノ追加豫定線ヲ見ル、或ハ五哩トカ、或ハ七哩ト云フヤウナ短距離ノモノヲ採用シテマデモ、此二十六線路ノ中ニ入レテアルト云フコトハ、將來餘程考慮ヲ要サナケレバナライト思フ、ソレハ一例ヲ舉ゲルナラバ、福山、鞆間ノ如キハ僅カ七哩八分デス、七哩八分デアツテ、此間ニハ現在鐵道ガアル、乘合自動車モアル、此交通ノ便利ガ圖ラレテ居ルニ拘ラズ、政府ガ國費ヲ投シテ七哩八分ノ場所ニ、福山鞆間ノ鐵道ヲ敷設セントスル此案ハ、如何ニモ時代ヲ裏切ツテ居ル連方デアルト私共ハ思フ、是等ノ點モ將來敷設スル場合ニハ餘程考ヘネバナラス、斯ウ云フ事例ハ澤山アル、若シ斯ウ云フヤウナモノヲ敷設法ニ入レルナラバ、全國幾ラデモアリマス（反對シタラ宜イデ

一名二三名ノ政友會員ガ何ニナルカト  
言テ一喝シ去テノデアリマス、斯様ニシ  
テ政友會ニ全部入ラナケレバ、此方面ニ鐵  
道敷設法ノ追加ハ爲サラヌト云フコトヲ半  
面ニ語リテ居ル、斯様ナ次第デアリマスカ  
ラ、彼等ハ郷里ニ歸リマシテ役場ノ手ヲ使  
テ、區長若ハ役場ノ者ガ其部内ノ者ニ向テ  
入會書ヲヤシテ、サウシテ黨員ヲ募集シ  
テ、初メテ此問題ノ完成ヲ圖ルト云フコ  
トニ努力シテ居リマス、私ハ此事ニ付  
テハ、諸君モ一度進ンデ大臣ニナツタ  
時ノ御心得ニモナルカラ御考ナサイ、政友  
會デアラウガ、民政黨デアラウガ、一度進  
ンデ大臣ニナツタナラバ、人民ガ陳情ニ  
參リマス、而モ其事柄ガ決定シテ居ルモ  
ヲ、決定セザルガ如クニ挨拶ヲ致スト云フ  
コトハ、人民ニ不安ノ念ヲ興ヘル、此位大  
臣トシテ爲スベカラザル行ヒハアルマイト  
思フ、苟モ大臣トシテハ地方人民ガ陳情ニ  
參リマシタナラバ、此事既ニ決定シテアル  
ナラバ、態ニ其事デ來ルナラバ、既ニ前年  
ノ十二月ニ確定シテ居ル、アナタ方ハ夫等  
ノコトニ心配ナサラヌデ、歸テ職務ニ努力  
ナサイト親切ニ言フノガ、是ガ國務大臣ノ  
當然爲スベキ途デアリマセウ、然ルニ決定  
シテ居ルモノヲ決定セザルガ如ク言ヒナシ  
テ、而シテ此處ハ憲政會ノ地盤ナリトシ  
テ、政友會ノ黨勢擴張ヲ暗黙ノ間ニ申渡ス  
ト云フコトハ、甚ダ宜シクナイ遣方デア  
ルト私ハ思フ、政友會デアラウガ、民政黨デ  
アラウガ、苟モ一國ノ大臣トナレバ眼中黨  
派ハアリマセウ、所ガ小川サンニハソレガ  
アルカラ宜クナイト言フノデス、殊ニ此問  
題ハ大臣トシテ斯様ナ行動ヲ致シテ居リマ  
シタガ、而モソレハ昨年ノ九月デアリマシ  
タ、而モ其翌月ニナリマスドドウナツタカ、  
即チ翌月ニナリマス小川鐵道大臣ガ沿道  
關係ノ陳情ニ來タ者ニ向テ一喝ヲ喰ハシ、  
而シテ彼等ガ歸テ政友會ノ黨勢擴張ニ努  
力ヲシ、全村舉ゲテ入黨スルヤ、其翌月ハ  
群馬縣ノ其土地カラ選バレタ縣會議員ノ民  
政黨ニ屬スル者ヲ、政友會ニ奪ハントシテ  
策動シタデハナイカ、兎ニ角其事實ハ昨年

ノ十月二十七日ノ東京朝日ニ載セテアル、  
群馬縣ノ都木縣會議長ガ語リテ居リマス、ソ  
レニ斯ウ云フコトガ書イテアル「秘密ニヤ  
テ居リタガ遂ニ知レタカネ、彼ノ問題ハ支部  
トシテハ手ヲ著ケズ、長野ノ篠原代議士ト  
本部ノ島田幹事長ト設計畫シテ、磯部中込  
線沿道關係六箇町村ノ入黨書ヲ纏メ、ソレ  
ヲ携ヘテ磯部ノ萩原村長ガ來タカラ、本尊  
ノ宮田縣會議員ハ入黨シテ居ルカト聞イタ  
ラ、入黨セヌト云フカラ、ソナナラ此入黨  
書ガ十万人分アラウトモ反古同様デア  
ル」  
斯様ナ次第デ、中央ニ於テハ大臣ガ陳情ニ  
參リタ人民ニ對シテ、決定シテ居ルモノヲ決  
定セザルガ如クニシ、而シテ其人民ノ態度  
ニ依テハ此問題ヲ敷設案ニ入レテヤル、斯  
ウ云フ風ニ暗黙ナ状態ヲ示シ、而シテ翌月  
ニナリマスト縣會議長ト政友會ノ島田幹事  
長ガ共ニ結託シテ、地方ノ縣會議員一名  
ヲ民政黨カラ政友會ニ轉籍セシメントシテ  
努力シタノハ事實デアリマセウ、事ハ少サ  
ウゴザイマスガ、如何ニ黨派出身ノ大臣デ  
アラウトモ、苟モ職權ヲ濫用シテ黨勢擴張  
ヲナサルト云フコトハ、事柄ガ宜シクナイ、  
政治ハ公明正大デス、假令政友會デアラ  
ウトモ、一度大臣トナツタナラバ公平ナ態  
度ニ依テ政治ヲ料理スルノガ當然ノ道デア  
リマセウ、然ルニ斯様ナル行ヒヲ致スカラ  
宜シクナイ、而モ此動機ハ今ヤ此敷設法案  
ノ一線ニ現ハレテ居ルガ、閣議並ニ鐵道省  
ニ於テ決定シテ居ルモノヲ、セザルガ如キ  
態度ヲ以テ、斯ル行ヒヲ爲シタル國務大臣  
トシテノ行動ガ、非ナリトシテ將來ヲ警メ  
ルノデアリマス(拍手)殊ニ私共ハ此警告書  
ニモアリマス通り、斯ウ云フ風ニ澤山ニ追  
加トシテ鐵道線路ヲ加ヘルノハ宜シウゴザ  
イマスガ、之ガ爲ニ既設計畫ニマデモ禍ヲ  
致シ、更ニ進ンデ新線路ノ建設ヲ致ス場合  
ニ、前後緩急ヲ誤ルコトガ宜シクナイト云  
フ意味合カラ特ニ此點ヲ加ヘタノハ、現内  
閣ハ既ニ今年度ニ於テ仙石大臣ガ確定的ニ  
決メタ年度割サヘモ、今ヤ變更更致シテ居  
リマス、一例ヲ舉ゲルナラバ、名古屋停車  
場ノ改築問題ノ如キ其一例デス、此問題ノ

如キハ仙石大臣ノ時代ニ昭和六年度ニ於テ  
完成スルモノヲ、此度ハ昭和七年度ニ拵ヘ  
ルト云フコトデ線延ヲ致シテ居リマス、是  
ハ如何ナル譯デアアルカ知リマセヌガ、苟モ  
鐵道ヲ計畫スル以上ハ、殊ニ名古屋ノ如キ  
交通ノ樞區デアアル場所ハ、一日モ早く完成  
ヲ致シテ、民衆ニ利便ヲ與ルト共ニ、鐵道  
收入ヲ圖ルノガ、是ガ鐵道當局トシテ爲ス  
ベキ途デアアル(拍手)然ルニ鐵道事業ヲ起シ  
テ、態ニ有ル金ヲソレヲ取テ、他ノ方  
面ニ振撒イテ、事業ノ完成ヲ圖ラヌト云フ  
コトハ、鐵道收入ヲ圖ルル上ニ於テ大ナル問  
違デアリマス、此點ニ付テハ、名古屋ノ如  
キ場所柄ガ交通頻繁ノ場所ダケニ、多クノ  
人ガ非常ニ心配セラレ、更ニ此點ニ付テハ  
鬼九代議士ノ如キハ、當局大臣ニ向テ注  
意マデ拂ハレテ、年度マデモ十年度ニ延バ  
シタノハ甚ダ迷惑デアアルカラ、成ルベク繰  
上ダテヤシテ貫ヒタイト云フコトデ、心配セ  
ラレタト云フコトハ、私共當時ノ新聞ヲ見  
テ知ツテ居リマス、而モ昭和四年度ノ名古屋  
驛ノ改築費ハ二百五十萬圓ノモノヲ、現内  
閣ニ於テ昭和四年度ハ八十萬圓ニ減ラサレ  
テシマツタ、前ノ計畫デハ五年度ニハ三百  
五十萬圓、六年度ニハ百七十九萬六千圓デ、  
是デ完成スルモノヲ、十年度迄延スコトニ  
致シタカラ、四年度ニ八十萬圓、五年度ニ  
三十八萬圓ト云フヤウニ減額ヲシテ參リマ  
シタ、是ガ爲ニ民衆ノ多數ノ者ノ交通ノ便  
ヲ良クシ、及ビ貨物ノ集散ト云フコトガ、  
其改築工事が出來ナイ爲ニ不便ヲ感ズルノ  
デアアル、斯ウ云フヤウナ次第デアリマスカ  
ラ、此名古屋ニ關係ノアル鬼九代議士ノ如  
キハ、特ニ心配セラレテ、不信任案上程ノ  
九日ニ小川鐵道大臣ニ膝詰談判ヲシテ、此  
名古屋驛改築問題ハ六年度迄ノモノヲ十年  
ニ延シタト云フコトハ困ルカラ、ドウゾ之  
ヲモット線路上ゲルヤウニト云フ談判ヲ致シ  
タト云フコトサヘ私共傳ヘ聞イテ居ル、小  
川鐵道大臣モ此不信任案上程ノ日ニ膝詰談  
判ヲ食フテ、若シ之ニ相當ノ考慮ヲ致シ、而  
シテ金ヲ増シテ下サラナケレバ不信任案上  
程ノ日ニ缺席スル、鬼九君ガ缺席スレバ他

ノ憲政一新會ノ人モ缺席スルト云フコト  
ナノデ、小川鐵道大臣ハ是ガ爲ニ五年度、  
六年度、七年度ニ百萬圓ツ、三百萬圓ヲ支  
出ヲ致シテ、八年度ニ完成スルコトニスル  
ト云フ言明ヲ與ヘタト云フコトデス、是ガ  
爲ニ鬼九君ハ不信任案上程ノ日ニ議會ニ出  
席ヲシテ、我ガ民政黨提出ノ不信任案ニ反  
對ヲ表シタト言フテ居ル(拍手)此問題ニ付  
キマシテハ、私ハ鐵道委員會ニ於テモ質問  
ヲ致シマシタ、而モ當時昭和四年：  
〔此時發言スル者多シ〕  
○議長(元田肇君) 靜ニ願ヒマス——靜ニ  
願ヒマス  
○木槍三四郎君(續) 私ハ當時鐵道委員會  
ニ於テ、證據書類トシテ昭和四年二月十二  
日ノ名古屋新聞ヲ提ゲテ質問ヲ致シタ、其  
名古屋新聞ニ掲ゲテアリマス一節ヲ申シマ  
ス、其名古屋新聞ハ、二月十二日デアリマ  
ス、ソレニ斯ウ云フコトガ掲ゲテアル、名  
古屋驛ノ改築問題ニ付テ鬼九代議士ノ談デ  
アリマス、吾々名古屋人ガ政黨政派ヲ超越  
シタ大問題デ貴紙ノ如キモ輿論喚起ニ大ニ  
努力セラレタイ、僕モ去ル九月日此問題ニ  
付キ、小川鐵相、八田次官ニ會見シテ頑強  
ニ談判シタ結果、鐵道大臣ヨリ四、五、六  
ノ各年度ニ百萬圓宛豫算ヲ増額スル旨ノ言  
質ヲ得タ、之ニ依リ名古屋驛改築ハ昭和八  
年度迄ニハ完成スル運ビニナツタ、小川鐵相  
ハ色々言テ居ルガ、名古屋驛改築ハ現  
内閣ノ政略ノ犠牲トナツタト云フコトハ事  
實ハレヌト書イテアリマス(拍手)而モ是  
ハ名古屋新聞デアリマス、(ソレハ小山松  
壽ガ書カセタノダ)ト呼フ者アリ)其通り  
デアリマス、更ニ今一ツ政友會ノ機關新聞  
デアリマス新愛知ハ、同二月十二日ノ新聞  
ニ斯ウ云フコトガ書イテアリマス、是モ亦  
鬼九代議士ノ談デス、名古屋市選出鬼九代  
議士ハ、名古屋驛改築問題其他議會ニ於ケ  
ル狀況報告ノ爲十一月朝歸名シタガ、東區  
武平町ノ自宅ニ落著イタル所ヲ訪問スルト  
左ノ如ク語ル、名古屋驛ノ改築ニ付テ、加  
藤鏡代議士ヲ始メ關係代議士ガソレノ分  
科會デ質問シタリ、又ハ直接當局ニ促進運

動ヲシタリシタガ、僕モ本市ニ取テハ事頗ル重大ナ問題ナノデ、不信任案上程ノ九日名古屋驛改築ニ對シ、具體的ニ誠意ヲ示サレナケレバ、缺席スルト頑張ヲ所、僕ガ缺席スレバ他ノ憲政一新會ノ者モ全部缺席スルコトニナテ居ル關係上、政府デモ重大視シ、政府ハ昭和四、五、六ノ三年度ニ他ノ改良費ヨリ三百万圓ノ豫算ヲ流用シ、毎年百万圓宛宛額スルコトヲ言明シタノデ、議會ニ出席シテ不信任案ニ反對シタノデアアル書イテアル(拍手)是ハ新愛知デ、政友會ノ機關新聞デアリマス、私ハ此政友會ノ機關新聞、民政黨ノ機關新聞ガ各、同ジ事實ヲ掲ゲテ居リマスカラ、此事實ヲ捉ヘテ小川鐵道相ニ問イタ、然ルニ小川鐵道相答ヘテ曰ク、左様ナコトハ、百万圓ナド三箇年出スト云フコトハ出來ル筈ハナイデハナイカト言ハレテ居ル、私ガ申シマスノニ、ソレハ改良費カラ出スト言テ居ルデヤナイカ、當局大臣ガ出スト言ヘバ出サナイコトモアリマス、私ハ逆襲シタ、然ルニ之ニ向テ小川鐵道大臣ハ、否認スルカト言ヘバ否認モシナイ、考慮スルト云フコトデアアル、其考慮ノ中ニハ百万圓ト云フ金額ガアルカドウカハ小川鐵道大臣ハ申シマセヌガ、此點ニ付テ政府ニ於テモ十分考ヘテ居ルト云フノデアアルカ、鬼九代議員ノ申ス事ハ嘘デハナイト私共ハ思ヒマス(拍手)而モ鬼九代議員ニ向テ、此事ヲ同ジ委員デアリマスカラ質問スルト答ヘナイ、判斷ハ皆様ノ御自由ト言テ居リマス、然ラバ鬼九代議員之ヲ否認セズ、小川鐵道大臣ハ、三百万圓ト云フ金額ガ何處カラ出ルカト云フコトヲ仰セラレタガ、兎モ角面會シテ考慮スルト言ハレタコトハ小川鐵道大臣ガ肯定シテ居ル所ヲ見レバ、即チ是ハ新聞ニアルヤウニ、名古屋驛改築問題ヲ利用シテ、所謂政略ノ具ニ供シタト云フ確實ナル證據デアリマセウ(拍手)私共ハ斯ウ云フコトヲ憂フルノデアアリマス、今後改築ヲスルニ當テ、若クハ鐵道ヲ建設スルニ當テ、豫定線ガ渾山殖エテ來マス、其殖エタモノヲ是カラ採擇ヲ致シテ建設スル場合ニ、今迄ノ小川鐵道大臣

ノ如キ考ヲ以テ採擇ヲ誤リマシタナラバ、自動車ノ便ニ浴シテ十分デアアル所ヘ、國費ヲ澤山使テ短距離ノ場所ニ鐵道ヲ敷設スルトカ、或ハ黨勢擴張ノ關係カラ早く完成スベキモノ、態、年度ヲ長ク延シテ、其間ノ金ヲ他ノ方面ニ流用シテ、黨勢ノ擴張ヲ致スト云フヤウナコトガアリマシテハ、將來國策ヲ遂行スル上ニ於テ甚ダ宜シクナイ、吾々ハ此意味カラ過去ニ於ケル、即チ現在迄ニ小川鐵道大臣ガ爲サレタ遺方ハ、鐵道ノ豫定追加線路ヲ入レルコトニ付テサヘモ、決定シタモノヲ決定セザル如ク言ヒ、又名古屋驛改築ニ付テハ、所謂既定豫算ヲ改メテ、六年ノモノヲ十年ニ致シテ、其間ノ金ヲ彼此レ流用シテ政略ノ具ニ供スト云フコトハ、甚ダ國家國民ニ取テ善クナイ行爲ナリト吾々信ズルノデアリマス(拍手)斯様ナ意味デアリマスカラ、小川鐵道大臣モ相當ナ學問知識ヲ持テ居ラレル方デアリマスカラ、此點ヲ注意致スノデアリマス...

〔此時發言スル者多ク議場騷然〕  
○議長(元田肇君) 靜肅ニ願ヒマス、尙ホ贊成ノ理由ヲ述ベラレルナラバ、何卒贊成ノ理由ヲ述ベテ戴キタイ  
○木村三郎君(續) 述ベテ居リマス  
〔此時元田議長木村君ニ對シ何事カ注意スルモノ、如クナルモ議場喧嘩甚シク聽取スル能ハス〕  
○木村三郎君(續) 鐵道追加豫定線路ノ問題ハ政友會ノ問題デアリマセヌ、國家ノ問題デス、諸君ハ自ラ我黨内閣ノ時ニ、六線路ヲ追加スル時デサヘモ、諸君ハ警告ヲシタデハナイカ、況ヤ二十六線路上ル今今日、吾々ハ國家ノ爲ニ警告スルハ當リ前デアリマス、吾々ハ小川鐵道大臣ガ一個ノ辯護士デアリ、一個ノ代議士デアレバ何モ申シマセヌ、今日ハ國務大臣デアラカラ、是ダケノ注意ヲ與ヘテ、過去ニ於ケル誤レル點ヲ改メテ、將來國家國策ノ遂行ニ善處スルコトヲ希望スル意味ニ於テ、小川鐵道大臣ニ注意スル次第デアリマス(拍手)  
○議長(元田肇君) 小川鐵道大臣

〔國務大臣小川平吉君登壇〕  
○國務大臣(小川平吉君) 只今小村君ノ御演說中ニ、私ニ關係ノアルコトノ御陳述ガアリマシタカラ、之ニ對シテ一言述ベテ置キタイト思フノデアアル、只今御話ノコトハ、先般ノ敷設法委員會ニ於テモ、木村君ヨリ御話ガアッタノデアアル、其當時モ御答ヲ致シテ置イタノデアリマス、彼ノ中込磯部線ノ如キハ、一昨年ノ暮ノ鐵道會議ニ於テ私自身ガ提案ヲシテ、議決ニナテ居ル線路デアリマス、其線路ニ對シテ、私ガ昨年ノ九月ニ於テ、是ガ未ダ確定セザルモノデアアルガ如キ言議ヲ爲スト云フ理窟ハナイデアリマス、又私ハ其當時モ述ベタノデアリマス、木村君ガ磯部ニ於テ選舉區ヲ持テ居ラル、ト云フコトモ、今回始メテ承テ次第デアアル、此地方ニ對シテ黨勢ノ擴張ノ協力ヲスルナドト云フコトハ少シモ無イノデアリマス、又道理上ヨリ考ヘテ見マシテモ、此鐵道會議ヲ經テ、而シテ昨年ノ春ノ議會ニ提案ヲシタモノニ對シテ、昨年ノ秋ニ私ガ如何ニ間違ヒマシト申シマシテモ、ソレガ確定セザルモノト云フヤウナ氣遣ハナカラウト思フ、又之ヲ信ズル人ガドウシテアルノカ、一向私ハ譯ガ分ラナイ、何ニ依テ之ヲ確定セヌト云フコトヲ信ズルノデアリマス、道理上カラ申シテモ是ハ全く違テ居ルコトデアアル、私ハ此點ニ付テハ全然關係ガ無イト云フコトヲ御答シテ置イタ、然ルニ又今日同ジ事ガ出タ、私ハ其趣意ガドリマシ、一向了解ガ出來ヌノデアリマス、又先般鬼九代議員ニ關スル云々ト云フコトハ、是ハ全然無根ノコトデアリマス(拍手)先般ノ委員會ニ於テモ篤ト申上ダテ置イテアルノデアアル、此建設ノ委員會會ノ以前ニ於テ、豫算ノ分科會ニ於テ、此關係地方ノ選出ノ議員ノ諸君ノ中カラ御尋ガアリマシタカラ、其點ハ篤ト考慮ヲシマスト云フコトヲ豫算ノ會議ニ於テ御答ヲシテ居ル、鬼九代議員ヨリ其後其點ニ付テ御話ガアッタト心得テ居リマスガ、矢張是ハ考慮ヲスルト云フダケノ御答ヲシタノデアアル、來年何十萬圓出ストカ、何百萬圓出

ストカ、サウ云フコトハ言ヒ得ラレル筈ガナイ、何トナレバ木村君モ御承知ノ通り、改良費ト云フモノハ豫算ガ決テ居ル、ソレテ五十萬、百萬ト云フ大金ヲ毎年續ケテ出スト云フコトニナリマスレバ、是ハ他ノ方面カラ種々差線ヲシテ、金ヲ集メテ來ナケレバ出來ナイノデアリマス、ソレヲドウシテ百万圓宛三箇年出スト云フヤウナコトヲ答辯スルコトガ出來マセウ、私ハ決シテ左様ナコトハ毛頭モ申シタコトハナイト云フコトヲ委員會ニ於テ十分申上ダテデアアル、又彈劾案ニ付テ、私ガ此場合ニ於テ彈劾案ニ贊成ヲシテ吳レトカ吳レルナトカ、左様ナコトハ私ハ、鬼九君ハ、勿論、如何ナル人ニ向テモ一言モ申シタコトハナイノデアアル、此事モ委員會ニ於テ明ニ申上ダテ置イテアル、然ルニ木村君ハ、如何ナル御考ヲ以テ、又同ジコトヲ此壇上ニ於テ御繰返シニナルノデアアルカ、紳士トシテ、如何ニ言論ノ自由ナル議會トハ申セ、少シハ此言論ニ付テ責任アル考ヲ以テ御慎ミニナタラ宜カラウト思ヒマス  
○議長(元田肇君) 吉木陽君  
〔吉木陽君登壇〕  
○吉木陽君 私ハ只今上程ニナテ居リマスル鐵道敷設法中改正法律案ニ對シテ、贊成ノ意ヲ極メテ簡單ニ表明スル者デアリマス、鐵道敷設法ガ初メテ制定セラレマシテ以來、既二十數年ヲ經過シテ居ルノデアリマス、其間ニ於キマシテ、五十二議會ニ於テ憲政會ノ方面ヨリ六線ノ追加ガアッタノデアリマス、憲政會内閣ノ當時アッタノデアリマス、斯様ナ狀態デアリマスカラ、現在ノ百數十線ト云フモノハ、既二十數年前ニ定メラレタノデアリマス、其後交通、産業等ノ方面ニモ、非常ナル地方ニ變遷ガアッタノデアリマス、隨テ之ニ改廢ヲ要スル一改良ヲ要シ、追加ヲ要スルト云フコトハ極メテ當然ノコトデアアルノデアリマス、年々多數ノ鐵道敷設ニ對シテ或ハ陳情シ、或ハ建議案等ガ出ルト云フ事實ニ對シテモ、極メテ明瞭デアアルノデアリマス、斯

様ナ事情デアリマスカラ、政府ニ於カレマシテモ是等ノ建議案、是等ノ陳情書等ヲ參酌致シテ、調査研究ノ結果、茲ニ二十六線ヲ追加スルノ必要ヲ認メタノデアリマス、而シテ本案ガ此議會ニ提出セラレマスルマデニハ、本省ニ於テ十分ナル調査ヲ遂ゲラレタコトハ勿論、鐵道會議ニモ付セラレテ通過ヲ致シテ來タノデアリマス、而シテ其鐵道會議ニ於キマシテハ、斯界ノ「オーソリチー」ヤ、又衆議院議員ノ中ニ於テモ、會ニ我ガ友友會ノ中カラバカリデナク、民政黨ノ諸君モ、ソレ等ノ會議ニ這入ッテ居ラレル、是等ノ人々モ、何等之ニ對シテ訂正變更等ノ發言ガナカタノデアリマス、此正變更等ノ提案セラレタル路線ガ、極メテ適切公正ナモノデアルト云フコトヲ證明シテ餘リアルモノデアルト思フノデアリマス

(拍手) 委員會ニ於キマシテモ、亦連日ニ互テ審議ガ重ネラレタノデアリマス、サリナガラ反對黨ノ方面ニ於キマシテモ、此路線ニ對シテ變更シヤウトカ、訂正シヤウトカ云フヤウナ意見ハ更ニ無カッタノデアリマス、此方面カラ考ヘテ見マシテモ、此路線ガ極メテ適切ナモノデアルト云フコトヲ、立證シテ居ルト申シテ宜イデアラウト思ヒマス(拍手) 反對黨ノ諸君ハ、此問題ニ關シテ、或ハ黨略ガ含シテ居ル、或ハ黨勢擴張ノ具ニ供シタナドト云フ御意見ガアルヤウデアリマス、サリナガラ其品質ノ好イト云フコトハ、御認メニナッテ居ル、若シ品質ガ惡イト云フコトナラバ、御反對ニナラナケレバナラヌ、故ニ此路線ガ——二十六線ガ正シイモノデアルト云フコトハ、明ニ諸君ガ認メラレテ居ルト謂ハナケレバナラヌノデアル(拍手) 諸君、民政黨ノ諸君ハ、或ハ暴露戰術ナド、稱シ、政府ノ爲スコトハ一カラ十マデ反對シ來ッテ居ラレルコトハ、是ハ明ナル事實デアアル、既ニ政府ノ爲スコトヲ、色眼鏡ヲ以テ眺メテ居ラレルコトハ極メテ明瞭デアアル、斯ノ如キ色眼鏡サヘ以テ見テモ、尙且ツ正シイ線デアルト云フコトデアルナラバ、如何ニ此線ノ正シイト云フコトハ立證シテ餘リアルト謂ハナケレバナ

ラヌト思ヒマス(拍手) 此問題ハ黨勢擴張ノ具ニナタト云フコトハ、偶ニ此路線ガ適切デアラテ、地方民ノ期望ニ合致シテ居ルガ故ニ、地方民ハ此政友會ノ政策ガ是ナリトシテ、入黨者續出スルノデアアル、當然ノ結果デアアル、當ニ鐵道敷設法バカリヂヤナイ、政友會ノ有スル政策ガ正シイカラ、總テノ政策ニ共鳴致シテ、入黨者ガ續々出ルト云フコトニナル、斯ノ如キコトガ黨勢擴張デアラナラバ、甘シクテ政友會ハ其風評ヲ受ケルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事情デアリマスガ故ニ、黨勢擴張ノ具ニ供シタナドト云フコトハ、唯弱者ノ悲鳴デアルト吾吾ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其他色々舉ゲラレタ所ノ問題ニ付テハ、小川鐵道大臣カラ極メテ適切ナル辯明ガアッタ通り……

〔此時發言スル者多シ〕  
○議長(元田肇君) 靜ニ

○吉木陽君(續) 事實無根デアアルコトハ明白ニナタカラ、之ニ對シテ私ハ一々辯明スルノ必要ヲ認メマセヌ、斯様ナ次第デアリマシテ、本案ハ極メテ國家ノ爲ニ適切ナル路線デアルト云フコトヲ認メマシタガ故ニ、茲ニ贊成ノ意ヲ表スル者デアリマス

〔木檢三四郎君、小川國務大臣ノ發言ニ關聯シテ……〕ト呼ヒ此時發言スル者アリ

○議長(元田肇君) 討論ノ通告ハ是デ終了致シマシタ……

〔議長々々〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(元田肇君) 靜ニ——私語ハ許シマセヌ——討論ノ通告ガ終リマシタカラ討論ハ終結致シタモノト認メマス、故ニ採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(元田肇君) 御異議無イモノト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(元田肇君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

リマセヌカ  
〔異議ナシノ聲起ル〕  
○議長(元田肇君) 御異議ナイモノト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キマス  
鐵道敷設法中改正法律案  
第二讀會(確定議)  
○議長(元田肇君) 第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシノ聲起ル〕  
○議長(元田肇君) 御異議ガアリマセヌカラ鐵道敷設法中改正法律案ハ可決致シマシタ——日程第十三乃至第十六ハ提出者同一ノ議案ナルニ依リ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ  
〔異議ナシノ聲起ル〕

第三條 何人ト雖政治運動ニ關シ第一條ニ規定スル者ニ對シ直接タルト間接タルトヲ問ハズ金錢、手形、物品其ノ他財産上ノ利益供與ノ申込ヲ爲シ又ハ供與ヲ受クルコトヲ得ス  
第四條 前三條ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス  
會社ノ行爲ニ關シテハ理事、取締役其ノ他ノ役員、組合其ノ他ノ團體ノ行爲ニ關シテハ其ノ供與ノ決議ニ加ハリタル役員其ノ責ニ任ス  
第五條 政治ニ關スル結社ニシテ金錢、手形、物品其ノ他財産上ノ利益ヲ受ケタルトキハ主幹者其ノ收受ノ日ヨリ七日以内ニ官報ニ公告スヘシ但シ所定ノ會規、會則ニ依リモノハ一括シテ其ノ總額ヲ公告スヘキモノトス  
第六條 政治結社ノ主幹者ハ毎年一回一定ノ時期ニ其ノ收支計算ヲ官報ニ公告スヘシ  
議員ノ選舉アリタルトキハ其ノ終了後一月以内ニ選舉ニ要シタル費用ノ收支ヲ官報ニ公告スヘシ  
第七條 前二條ノ規定ニ違反シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
第八條 政治結社ニシテ本法ニ違反スルコト三回以上ニ涉ルトキハ内務大臣ハ其ノ團體ノ解散ヲ命スルコトヲ得  
前項ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一條 政府ノ特許セル事業ヲ營ムモノノ保護、補償若ハ保證ヲ受クルモノ  
二 政府ニ於テ理事又ハ決議機關ノ全部又ハ一部ヲ任免スルモノ  
四 政府ヨリ特權ヲ付與セラレタルモノ  
五 政府ノ請負ヲ爲スモノ  
第二條 前條ニ規定スル會社、組合、團體ノ理事、取締役其ノ他ノ役員ニシテ個人名義ヲ以テ前條ノ行爲ヲ爲シタル者ハ該會社、組合、團體ノ行爲ナリト推定ス

第十三 政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案(大竹貫一君外一名提出)  
政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律案  
第一條 左ノ一ニ該當スル會社、組合其ノ他ノ團體又ハ個人ハ政治運動ニ關シ直接タルト間接タルトヲ問ハズ金錢、手形、物品其ノ他財産上ノ利益ノ供與ヲ爲シ又ハ供與ノ約束ヲ爲スコトヲ得

第一條 鐵道敷設、道路、港灣、橋梁、河川ニ關スル事業並學校、官公署ノ設置、移轉其ノ他公費ヲ以テ施行スル事業又ハ政府ノ權限ニ屬スル認可、許可其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ政治

第十四 政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案(大竹貫一君外一名提出)

第一條 鐵道敷設、道路、港灣、橋梁、河川ニ關スル事業並學校、官公署ノ設置、移轉其ノ他公費ヲ以テ施行スル事業又ハ政府ノ權限ニ屬スル認可、許可其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ政治

第十五 政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案(大竹貫一君外一名提出)

第一條 鐵道敷設、道路、港灣、橋梁、河川ニ關スル事業並學校、官公署ノ設置、移轉其ノ他公費ヲ以テ施行スル事業又ハ政府ノ權限ニ屬スル認可、許可其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ政治

第十六 政治結社加入勸誘方法ノ制限ニ關スル法律案(大竹貫一君外一名提出)

結社ニ加入シ又ハ加入セザルコト若ハ政治結社ヨリ脱退スヘキコトヲ勸誘シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ勸誘ノ仲介又ハ周旋ヲ爲シタル者亦同シ  
第二條 行政官廳ノ處分カ前條ノ利害關係ノ利用ニ基クテ認ムヘキ理由アルトキハ關係者ハ其ノ取消ヲ行政裁判所ニ請求スルコトヲ得

第三條 官吏ニシテ情ヲ知リテ第一條ノ犯罪ヲ構成スルニ至ラシメタルトキハ五年以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五 議員ノ職務ニ關スル法律案 (大竹貫一君外一名提出) 第一讀會 議員ノ職務ニ關スル法律案

第一條 本法ニ於テ議員トハ貴族院議員並衆議院議員ヲ謂フ  
第二條 議員ニシテ辯護士タル者ハ政府ノ爲メノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第三條 議員ハ政府ノ對スル營利事業ノ請負人ノ代理人タルコト又ハ政府ノ事業ヲ請負フヘキ者ヲ政府ニ紹介スルコトヲ得ス

第四條 議員ハ何等ノ名義ヲ用ウルヲ問ハス政治運動ノ爲メ金品供與ノ制限ニ關スル法律第一條ニ掲グル會社、組合其ノ他ノ團體ノ役員タルコトヲ得ス其ノ發起人又ハ贊助者タルニ付亦同シ

第五條 議員ハ投機ニ從事シ又ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス投機ニ關係アル會社、組合其ノ他ノ團體ノ役員タルコトヲ得ス

第六條 議員ハ金錢、物品、手形又ハ財産上ノ利益ノ供與ニ依リ政治團體ニ加入シ若ハ政治團體ヨリ脱退スルコトヲ得ス

何人ト雖前項ノ行爲ノ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 第二條乃至第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス因テ

不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第十六 衆議院議員選舉法中改正法律案 (大竹貫一君外一名提出) 第一讀會 衆議院議員選舉法中改正法律案  
第五條中「二十五年」ヲ「二十年」ニ、「三十年」ヲ「二十五年」ニ改ム

第六條第一項第五號及第六號ヲ削リ第七號ヲ左ノ如ク改ム  
五 犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十八條 總選舉ハ議員ノ任期終リタル日以後ニ於ケル最近キ日曜日ニ之ヲ行フヲ例トス

議會開會中又ハ議會閉會ノ日ヨリ二十五日以内ニ議員ノ任期終ル場合ニ於テハ總選舉ハ議會閉會ノ日ヨリ二十五日以後ニ於ケル最近キ日曜日ニ之ヲ行フ

衆議院解散ヲ命セラレタル場合ニ於テハ總選舉ハ解散ノ日ヨリ二十五日以後ニ於ケル最近キ日曜日ニ之ヲ行フ

總選舉ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ二十五日前ニ之ヲ公布ス

第四十九條中「投票區毎ニ」ヲ削ル  
第六十八條中「二千圓」ヲ「五百圓」ニ改ム  
第七十九條第五項中「二十日以内」ヲ「十五日以後」ニ於ケル最近キ日曜日ニ「ニ改ム

第八十四條 第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選ヲ無効ナリト認ムル選舉人又ハ議員候補者ハ當選人ヲ被告トシ第七十二條第一項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

第八十八條 選舉ニ際シ候補者ノ政治上ノ意見ノ發表ニ必要ナル演說會場ハ市町村ニ於テ之ヲ設備スヘシ

市町村長ハ右演說會ノ期日ヲ市町村內ニ告知シ同時ニ各候補者ニ通知スヘシ

第八十九條 市町村長ハ議員候補者ノ履歴並政治上ノ意見ヲ市町村ノ揭示場ニ掲テスヘシ揭示場ノ數及掲示ノ期間ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十條 議員候補者ノ政治上ノ意見ハ政府ニ於テ之ヲ印刷シ通常郵便ヲ以テ選舉人一人ニ付一通ヲ限リ無料ニテ配布スヘシ意見書ノ字數及其ノ届出並配布ノ時期ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十一條 何人ト雖第八十八條乃至第九十條ノ方法以外ノ方法ニ依リ選舉ノ運動ヲ爲スコトヲ得ス

第九十二條 削除  
第九十三條 削除  
第九十四條 削除  
第九十五條 削除  
第九十六條 削除  
第九十七條 削除  
第九十八條 削除  
第九十九條 削除

第一百條 削除  
第十一章 削除

第一百一條 削除  
第一百二條 削除  
第一百三條 削除  
第一百四條 削除  
第一百五條 削除  
第一百六條 削除  
第一百七條 削除  
第一百八條 削除  
第一百九條 削除  
第一百十條 削除

第一百十一條 第九十一條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百十二條 削除  
第一百十三條 削除  
第一百十四條 削除  
第一百十五條 削除  
第一百十六條 削除  
第一百十七條 削除  
第一百十八條 削除  
第一百十九條 削除  
第一百二十條 削除

第一百二十一條 常選人其ノ選舉ニ關シ本

章ニ掲グル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ハ無効トス

第三百三十八條ノ二ノ市町村ニ於テ一回ノ選舉ニ際シ本法第百十二條又ハ第百十三條ニ依リ刑ニ處セラレタル者選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ記載セラレタル者ノ總數ノ十分ノ一ニ達スルトキハ其ノ市町村內ノ總テノ住民ハ該選舉ノ日ヨリ五年間衆議院議員ノ選舉權ヲ行使スルコトヲ得ス

第四百十條 削除  
第四百十八條 削除

○大竹貫一君 只今議題ニナッテ居リマシテ私ヨリ提案ノ理由ヲ單簡ニ申上ダテ置キタイト思ヒマス、元來議員ト致シマシテ、斯様な法律案ヲ提出スルト云フコトハ、如何ニモ己レ自身ヲ輕蔑スルヤウナ感ガアリマシテ、如何ニモ躊躇シタノデアリマス、サリナガラ今日ノ政治界ノ情勢ヲ見マシテ、本案ノ提出ハ寔ニ必要ナリト深信シタ爲ニ、茲ニ忍シテ四ツノ案ヲ提出シタ譯デアリマス、諸君モ御承知ノ通り、當議會ガ開ケマシテ以來、本院ニ於キマシテモ、貴族院ニ於キマシテモ、毎日討論セラル、コトハ何デアアルカト申シマスルナラハ、始終政治部面ノ醜態ナルモノガ標的トサレテ、異口同音ニ論議サレテ居ルノデアリマス、只今モ鐵道敷設法案ニ於テ、諸君御聽キノ通り如何ニモ聽キ苦シイ所ノ議論ガ行ハレツ、アルノデアリマス、私共ハ今日政治ヲ革新スルコトニ付キマシテハ、一步モ是ハ忽ニスベカラザルコト、考ヘマシテ、前年以來唯此政治ノ革新ヲノミ目的トシテ、革新黨ナルモノヲ結ンデ天下ニ向ッテ結黨致シテ居ルノデアリマス、故ニ第一ニ有ユル方面ノ先決問題ト致シテ、此方面ヨリ手ヲ著ケルコトガ非常ニ必要ナリト思フノデアリマス、此爲ニ五十二議會以來、先輩ノ尾崎君初メ其他ノ人々ガ本案ヲ提唱サ

長清瀨一郎君代リ著席

○大竹貫一君登壇

○大竹貫一君 只今議題ニナッテ居リマシテ私ヨリ提案ノ理由ヲ單簡ニ申上ダテ置キタイト思ヒマス、元來議員ト致シマシテ、斯様な法律案ヲ提出スルト云フコトハ、如何ニモ己レ自身ヲ輕蔑スルヤウナ感ガアリマシテ、如何ニモ躊躇シタノデアリマス、サリナガラ今日ノ政治界ノ情勢ヲ見マシテ、本案ノ提出ハ寔ニ必要ナリト深信シタ爲ニ、茲ニ忍シテ四ツノ案ヲ提出シタ譯デアリマス、諸君モ御承知ノ通り、當議會ガ開ケマシテ以來、本院ニ於キマシテモ、貴族院ニ於キマシテモ、毎日討論セラル、コトハ何デアアルカト申シマスルナラハ、始終政治部面ノ醜態ナルモノガ標的トサレテ、異口同音ニ論議サレテ居ルノデアリマス、只今モ鐵道敷設法案ニ於テ、諸君御聽キノ通り如何ニモ聽キ苦シイ所ノ議論ガ行ハレツ、アルノデアリマス、私共ハ今日政治ヲ革新スルコトニ付キマシテハ、一步モ是ハ忽ニスベカラザルコト、考ヘマシテ、前年以來唯此政治ノ革新ヲノミ目的トシテ、革新黨ナルモノヲ結ンデ天下ニ向ッテ結黨致シテ居ルノデアリマス、故ニ第一ニ有ユル方面ノ先決問題ト致シテ、此方面ヨリ手ヲ著ケルコトガ非常ニ必要ナリト思フノデアリマス、此爲ニ五十二議會以來、先輩ノ尾崎君初メ其他ノ人々ガ本案ヲ提唱サ

長清瀨一郎君代リ著席

○大竹貫一君登壇

○大竹貫一君 只今議題ニナッテ居リマシテ私ヨリ提案ノ理由ヲ單簡ニ申上ダテ置キタイト思ヒマス、元來議員ト致シマシテ、斯様な法律案ヲ提出スルト云フコトハ、如何ニモ己レ自身ヲ輕蔑スルヤウナ感ガアリマシテ、如何ニモ躊躇シタノデアリマス、サリナガラ今日ノ政治界ノ情勢ヲ見マシテ、本案ノ提出ハ寔ニ必要ナリト深信シタ爲ニ、茲ニ忍シテ四ツノ案ヲ提出シタ譯デアリマス、諸君モ御承知ノ通り、當議會ガ開ケマシテ以來、本院ニ於キマシテモ、貴族院ニ於キマシテモ、毎日討論セラル、コトハ何デアアルカト申シマスルナラハ、始終政治部面ノ醜態ナルモノガ標的トサレテ、異口同音ニ論議サレテ居ルノデアリマス、只今モ鐵道敷設法案ニ於テ、諸君御聽キノ通り如何ニモ聽キ苦シイ所ノ議論ガ行ハレツ、アルノデアリマス、私共ハ今日政治ヲ革新スルコトニ付キマシテハ、一步モ是ハ忽ニスベカラザルコト、考ヘマシテ、前年以來唯此政治ノ革新ヲノミ目的トシテ、革新黨ナルモノヲ結ンデ天下ニ向ッテ結黨致シテ居ルノデアリマス、故ニ第一ニ有ユル方面ノ先決問題ト致シテ、此方面ヨリ手ヲ著ケルコトガ非常ニ必要ナリト思フノデアリマス、此爲ニ五十二議會以來、先輩ノ尾崎君初メ其他ノ人々ガ本案ヲ提唱サ

長清瀨一郎君代リ著席

レタノデアリマス、ソレニ次イデ此處ニ私  
ガ提唱スルノデアリマス、扱ノレナラバ如  
何ニシテ政治部面ノ革新ヲ圖ルカト申シマ  
スルナラバ、第一ニハドウ致シテモ國民ニ  
政治的ノ良心ノ覺醒ヲ促サネバナラヌト思  
フノデアリマス、併ナガラ、此政治的良心  
ノ覺醒ヲ促スト云フコトハ、容易ナ事柄デ  
ハアリマセヌ、サリナガラ是ハドノ方面カ  
ラ見マシテモ、此國民ノ政治的良心ノ覺醒  
ガ第一必要デアリマス、此外ハ政治上ニ於  
キマシテ法律ヲ以テ、若シ之ヲ修正シ得ル  
ナラバ修正シ得タイト思フノデアリマス  
ガ、有ユル方面ノ法律ノ缺陷ヲ補正致シマ  
シテ、サウシテ是等ノ途ヲ修正シテ見タ  
イト思フノデアリマス、故ニ第一ノ法案ト  
致シマシテハ、日程第十三ニデアリマス所  
政治運動ノ爲金品供與ノ制限ニ關スル法律  
案、此案ヲ出シタノデアリマス、是ハ所謂  
政黨ノ黨費ノ問題ニ關係スル所デアリマシ  
テ、始終此問題ナルモノガ天下ノ疑問ト  
ナテ居ルノデアリマス、政黨ナルモノハ一  
年ニ過分ノ費用ヲ使フ、如何ニシテ此政費  
ヲ調達スルノデアリカ、又如何ニシテ調達  
サレタ所ノ費用ガ使ヒ途ガコナサレテ居ル  
事デアリカ、天下萬民ノ疑惑トナテ居ル所  
ノモノデアリマス、故ニ此方面カラ致シマ  
シテ先ヅ手ヲ著ケテ見タイ、之ニ付キマシ  
テモ諸君御承知ノ通り、澤山ナル所ノ疑獄  
事件ガ起テ居リマス、サリナガラ、此疑獄  
事件ヲ一々私ガ茲ニ例證ヲスル必要ハナイ  
ノデアリマス、故ニ、先ヅ第一ニハ政府ノ  
特許セル事業、例ヘバ電氣ナリ鐵道ナリ、  
其他政府ヨリ補助金ヲ受ケ、他ノ財産上ノ  
方面ノ補助金ヲ受ケル者、例ヘバ郵船會社  
ノ如キ、商船會社ノ如キモノ、又ハ政府ニ  
於テ理事又ハ決議機關ノ全部、又ハ一部ヲ  
任命セラレル東拓ノ如キ、滿鐵ノ如キ、日  
銀ノ如キモノ、斯様ナモノカラシテ、絶對  
ニ政黨ハ寄附金ヲ受ケルコトハ出來ナイ、  
此寄附金ノ行爲ヲ禁ズルノガ第一ノ趣意デ  
アリマス、既ニ受ケタ以上ハ、之ヲ天下ニ  
公開ヲシナケレバナラヌ義務ヲ持タセルノ  
ガ、即チ此今申上ゲマシタ所ノ第十三ノ日

程ノ主要ナル所ノ事項デアアルノデアリマ  
ス、而シテ此第二ニハ、政治結社加入勸誘  
方法ノ制限ニ關スル法律案、是ハ詰リ只今  
モ鐵道敷設法ニ於テ諸君ノ論議サレタ通り  
デアリマシテ、始終諸君御承知ノ通り、地  
方ニ參リマススト云フト、鐵道ノ敷設或ハ港  
灣、道路、橋梁等ノ修築、或ハ學校、或ハ  
病院ノ新築若クハ移轉ニ付キマシテ、某政  
黨カラ加入ノ勸告ヲ受ケタリ、或ハ脱退ヲ  
強要サレルコトガアルノデアリマス、斯様  
ナモノヲ絶對ニ禁止スル所ノ案デアアルノデ  
アリマス、是等ト云フモノハ、此案ト前申  
上ゲマシタ第一案ハ既ニ昨年五十五議會ニ  
於キマシテ、既ニ殆ド滿場一致ノ諸君ノ御  
贊同ヲ得マシテ、五十五議會ニ於テ可決サ  
レタモノデアリマス、併ナガラ政府ハ怠慢  
ニ致シマシテ、之ニ對スル所ノ法案ヲ政府  
ハ此議會ニ提出セシメテ出シタノデアリマ  
ス、故ニ已ム得ズシテ本年同志諸君ノ力ヲ得  
マシテ、茲ニ此法律案ヲ提出シタ所以デア  
リマス、又第三ニハ、議員ノ職務ニ關スル法律  
案デアリマス、此法律ハ議員タルベキモノ  
ハ衆議院タルト貴族院タルトヲ問ハズ、政  
府ト特殊關係ノ契約ヲ爲スコトヲ禁ズルモ  
ノデアリマス、又議員ト致シマシテ金錢上  
ノ關係カラ自分ノ黨籍ヲ離脱シ、或ハ加入  
スルト云フコトヲ禁ズルモノデアリマス、  
單簡ニ申シマスナラバ、斯様ナ議員ハ即チ  
瀆職罪同様ニ取扱ヒタイノガ本案ノ趣旨デ  
アルノデアリマス、ソレカラ第四ニハ選舉  
法ノ改正ヲシタイノデアリマス、此選舉法ハ  
既ニ昨年初メテ諸君ト共ニ行ヒテ、其缺點ノ  
アルコトハ諸君モ御同様ニ御承知デアリマ  
セウ、此改正ヲスルコトニ付テ、私共ニツ  
ノ考ヲ持ッタノデアリマス、一ツハ即チ此普  
選ノ意義ヲ十分擴充スルコトデアリマス、  
一ツハ選舉ナルモノヲ即チ公營ニシタイト  
云フコトデアリマス、此普選ノ意義ヲ擴充  
スルコトニ付テハ、單簡ニ其要領ヲ五  
ツ六ツ列ベテ申上ゲテ見マスナラバ、第一  
ニ選舉權二十五年以上トアリマスノヲ、二  
十年以上ト直シマス、又被選舉權三十年以  
上トアリマスノヲ、二十五年以上ト改正ス

ルノデアリマス、ソレカラ、成タケ多クノ  
人ガ投票シ得ルヤウニ、日曜日ヲ以テ投票  
日ト定メルノデアリマス、又今日ノ選舉法  
ハ即チ無記名投票デアリマス、然ルニ諸君  
ノ御承知ノ通り、投票區ニ於テ又開票スル  
ノデアリマス、是ハ殆ド無記名投票ト致シ  
テハ意義ヲ爲サヌノデアリマスガ、故ニ、  
投票所ニ於テハ開票ヲヤリマセヌデ、一郡  
ニ於テ開票スルコト云フコトニ制度ヲ改メ  
タイノデアリマス、又保證金ノ二千圓ト云  
フコトハ、有爲ノ士ヲ得ルニ餘程困難デア  
リマスガ故ニ、是ハ五百圓ニ低下スルノデ  
アリマス、ソレカラ此選舉ニ於キマシテ時  
時違反者ガ出マス、此違反者ガ出ルコトニ  
付キマシテモ、選舉人名簿ニ載ッタ者ノ十  
分ノ一其地方ニ於テ投票區域内ニ於テ  
違反者ガ起テタ時分ニハ、其投票區ノ  
選舉區ノ投票所ノ區内ニ於キマシテハ、五  
箇年間選舉ヲ停止スルノ案デアリマス、是  
ガ大體ニ於キマシテ選舉法ノ擴充ヲスル所  
ノ私見デアリマス、今一ツハ即チ選舉ノ公  
營ニシタイト云フノデアリマス、今日ノ選  
舉ハ諸君ノ御承知ノ通り、半公半私ト申シ  
マセウカ、御承知ノ如クニ、一番經費等ノ  
掛リマスモノハ郵便稅或ハ演說會場ヲ開ク  
爲ノ諸經費デアリマス、所ガ諸君御承知ノ  
通り、政府ノ郵便費無料配達ガ出來ルノデ  
アリマス、之ヲ一歩進メマシテ、一切ノ事  
ヲ政府ニヤラセル、即チ議員ガ例ヘバ今日  
ノ選舉區ニ於テ五人ノ定員ガアリマスト、  
必ズヤソレニ倍數ナル所ノ十名ノ候補者ガ  
出來マセウ、十名ノ候補者ガ出來マシタ時  
分ニ於テハ、政府ニ於キマシテ其十名ノ候  
補者カラ、政見即チ政治上ノ意見ヲ徵スル  
ノデアリマス、是モ餘リ長イ紙數デハ見ル  
者モ困難デアリマスガ故ニ、私ノ考デハ先  
ヅ今日ノ官報四頁位ノ間ニ於テ政治所見ヲ  
書カセタイト思フノデアリマス、然ラバ十  
人ノ候補者ガ出マシテモ、四十頁デアリマ  
ス、此十人ノ候補者ハ各、四頁、即チ四十頁  
ト云フモノハ政府ガ全部印刷致シマシテ、  
全選舉人ニ配付スルノデゴザイマス、今日  
デハ御承知ノ通り、十名候補者ガアリマス

ナラバ、郵便局ハ十回郵便ヲ配達シナケレ  
バナラヌノデアリマス、所ガ政府ガ取纏メ  
テ配付シテ呉レマスナラバ、只ノ一回配  
ムノデアリマス、諸君ノ御承知ノ通り、選  
舉人名簿ト云フモノハ澤山ニ政府ガ印刷シ  
テ、各候補者二十冊宛配ルノデアリマスガ、  
此制度ガマルデ無クナテシマフノデアリ  
マス、ソレカラ演說會場ト云フモノモ町村  
ノ役場ニ於テ心配サレマシテ、各小學校ニ  
於テ演說會ヲ開ク、之ヲ即チ町村ニ於テ一  
切ノ世話ヲスル、十人ノ候補者ガアリマス  
ナラバ、其小學校ナラ小學校二十人一緒ニ  
演說會ヲスルノデアリマス、十人ガ到底一  
日デ出來マセナカタナラバ、二日乃至三  
日公平ニ籤引ヲ致シマスナリ致シマシテ、  
一ツノ學校ニ於テ演說ヲスル、然ラバ其演  
說ヲ聽講ニ參リマス所ノ選舉人ト致シマシ  
テハ、恰モ立會演說ヲ聽ク如クニ、各候補  
者ノ意見ヲ一場ニ於テ聽クコトガ出來マス  
ガ故ニ、選舉人ニ於テモ非常ナ便宜ヲ得ル  
ノデアリマス、此何月何日ニ某ノ學校ニ於  
テ演說會ヲ開クト云フヤウナコトハ、即チ  
役場カラ其區内ニ通告ヲ致シマス、又候補  
者ノ方ニモ通知ヲスルノデアリマス、尙ホ  
又町村ノ役場ノ掲示場ニ於キマスルナリ、  
或ハ學校ノ掲示場ニ於キマシテモ、其大體  
候補者ノ履歷ナリ、或ハ政見發表ノ簡單ナ  
ル趣意書ヲ作りマシテ、何人モ閱覽シ得ル  
ヤウナ便宜ヲ計リマス、斯様ナコトニ致シ  
マシタナラバ、選舉人モ、候補者モ、政府モ、  
非常ナル是ハ便宜ナルコトデアアラウト思フ  
ノデアリマス、全體今日ノ政治方面ノ極端  
ナル腐敗ガ年々歳々増シテ來ルト云フコト  
ハ、此選舉ニ當リマシテ各候補者ガ多大ナ  
ル所ノ費用ノ掛カル爲デアリマスガ故ニ、  
其根柢タル所ノ此經費ヲ全然無クスル、申ス  
ナラバ各候補者ニ對シマシテハ錢厘タリト  
モ經費ヲ掛ケナイヤウニスルノガ最第一ノ  
今日ノ此腐敗墮落ノ根源ヲ除クコトニモナ  
ランカ知ラヌト思ヒマシテ、斯様ナコトニ  
致シタノデアリマス、モウ一ツ選舉ニ當リ  
マシテ一切ノ運動ヲ止メルノデアリマス、  
又候補者ガ從來ハ諸君ノ御承知ノ通り選舉

長デアルトカ、事務員デアルトカ、選舉委員デアルトカ云フ、斯様ナモノハ絕對ニ要ラナイコトニナリマスガ故ニ、全部廢シテシマフノデアリマス、私ノ意見ニ依リマスタラバ、各候補者ニ秘書ヲ一人置クダケニ止メマシテ、其他ハ絶體ニ置カナイ、選舉事務員デアルトカ或ハ奔走スル者ヲ全然廢シテシマフノデアリマス、斯様ニ致シマシタナラバ此經費ヲ全然省キ、如何ニ運動ヲシタイ、如何ニ人ヲ誘ヒタイト申シマシテモ、候補者ノ運動ヲスルコトヲ絕對ニ止メルノデアリマスシ、又選舉委員モ、或ハ事務員モ、或ハ選舉長モアリマセヌ、然ラバ運動シタクテモスルコトハ出來ヌノデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ前申上ゲマシタ十三、十四、十五、ノ各法律案ト相俟テマシタナラバ、今日ノ如キ選舉界ノ腐敗、又政治部面ノ墮落、金權萬能ノ此醜惡ナル事ヲ政治上カラ排除スルコトガ出來得ルダラウト私ハ信ズルノデアリマス(拍手) 秀 本案ヲ提出シタクデアリマスルカラシテ、願クハ滿堂諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、本案ノ一日モ早く成立スルヤウニ、諸君ノ御努力ヲ請ヒタイノデアリマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——藤井達也君

(議長々々々ト呼フ者アリ)

○副議長(清瀨一郎君) 藤井君ニ許シマシタ

(此時工藤鐵男君「此大事ナ議案ヲ議スル時ニ政府委員ガ一人モ居ラヌト云フコトハ實ニ不都合極マルト思ヒマスカラ、此點ハ特ニ政府ノ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス」ト呼フ)

(藤井達也君登壇)

○藤井達也君 洵ニ重大ナル法案デアリマシテ、工藤君仰セテ通リデアリマスルガ、提案賛成者ノ中ノ鶴見祐輔君ト云フヤウナ有數ナ方モ、尾崎行雄君ト云フヤウナ是亦憲政ノ神様ト謂ハレル御方ガ御出席ナイコトモ、是亦遺憾ト思フデアリマス、諸君私ハ此問題ニ關シマシテ二三ノ事項ヲ提案

者ニ御尋シテ見タイト思フデアリマス、ソレハ政治運動ノ爲、金品供與ノ制限ニ關スル法律案ニ關シテ第一ニ御尋シテ見タイト思フデアリマス、洵ニ此法案ハ理想ト致シマシテハ結果ナコトデアリマスケレドモ、此實行ニ當リマシテハ、殆ド空文ニ等シクアリハセヌカト考ヘルノデアリマス、現在現選舉法ニ於キマシテス、議員諸君並ニ國民ノ多數ガ長イ間掛リマシテ、之ヲ以テ金科玉條、理想ナリト考ヘマシタル現行ノ選舉法ニ於テスラ、全ク吾々ガ考ヘマシタルヤウナ理想ガ實現サレテ居ルヤ否ヤト考ヘマスナラバ、先ヅ多數ノ人ハ之ニ向テ其良心ヨリ之ヲ述ベマス時ニハ「ノウ」トテハザルヲ得ナイノデアリマス、然ルニ之ヲ超越シ「ユートピア」カ若クハ「パラダイス」デモ實現サレナケレバ、殆ド實行サレナイヤウナ此法案ヲ提案サレマシテ、此法案ヲ實行シヤウト御考ヘニナリマスコトハ、其理想トシテハ結構デアリマスケレドモ、全ク空理、空論ニシテ、空支ナリト私ハ申上ゲル次第デアリマス(拍手)故ニ提案者ニ對シマシテ、先ヅ私ハ御尋シテ見タイト思フ、現行ノ選舉法ト云フモノガ、國民多數ガ期待スル如ク、完全嚴正ニ實行サレテ居ルト御考ヘニナッテ居リマスルカ否ヤト云フコトヲ、第一御尋シテ置キタイト思フノデアリマス、第二ニ御尋申上ゲタイト思フノデアリマス、此法案ガ若シ實行サレルヤウナコトニ立到リマシタナラバ、洵ニ吾々政黨員ト致シマシテハ、政府黨ト云ハズ、野黨ト云ハズ、嗚カシ御迷惑ノコトデアリ、又天下國民ニ向ヒマシテ吾々ノ抱懷シテ居リマス國利民福ノ主張ト云フモノヲ、之ヲ世間ニ發表シ、此發表ニ從ヒマシテ政友會ガ現在ニ於テ其政策宜シキヲ得マスカラ、多數ノ黨員ガ之ニ相共鳴シ、國民亦相追隨致シマシテ、黨勢ガ隆々トシテ洵ニ驚クベキ大擴張ニナッテ居ルノデアリマス、之ニ反シマシテ

トハ、如何ナル現象デアリマスカ、是在野黨ノ諸君ノ言動行動ト云フモノガ、國家國民ヲ忘レタルガ故ニ、是ニ於テ國民ガ愛想ヲ盡カシテ結果デアルト考ヘルノデアリマス(拍手)是皆銘々政黨ト云フモノガ立憲治下ニ於キマシテハ、其黨勢ヲ擴張スベキハ政黨員ノ當然ノ務ト思フデアリマス、故ニ政黨ノ如キ民意ヲ無視シ、或ハ對立外交ニ關シマシテハ恰モ支那人同様デアルカノ如キ疑ハ懷カシメルヤウナ事ヲヤッテ居リマスルカラ、次第々々ニ黨勢ト云フモノガ衰微致シマシテ、現在諸君ノ叫ンデ居リマス反對ノ聲ナドハ、恰モ曳カレ者ノ小唄ト同然ナリト私ハ思フデアリマス(拍手)

皆政黨政治ニ於キマシテハ此主義主張、地方ノ幸福、利害得失ニ關係致シマシテ、政治ヲ行ヒマスル政黨ハ黨勢ノ擴張トナリ、政黨ノ如ク國家國民ヲ無視スル政黨ハ次第々々ニ衰微スルモノデアルト考ヘルノデアリマス(拍手)此意味ヨリ考ヘマスル時、大竹先生ヤ尾崎先生ノヤウニ、勿論革新俱樂部ト致シマシテハ僅ニ遺憾ナガラ大竹先生ガ御一人デアリマス、尾崎先生ハ是迄嘗テ憲政ノ神様ト稱ヘラレマシタケレドモ、遺憾ナガラ現在ニ於キマシテハ全ク孤立自主獨往ト云フコトヲ爲シテ御在デニナッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ境遇ニ御在ニナリ、狀態ニ御在ニナリマス所ノ衆議院議員並ニ政黨デアリマスルナラバ、黨勢ノ擴張ヲ爲サント致シマシテモ、唯理想ニ馳セ安斷ニ馳セルノデアリマスカラ、御賛成ガナイカラ黨勢擴張ニハナラヌノデアリマスカラ、御心配ハナイト存ジマスケレドモ、苟モ一國ノ政治ヲ行ヒマス政友會ト云フヤウナ大政黨、民政黨ト云フヤウナ日ニ二憐ムベキ狀態ニ立至テ居リマス政黨ト致シマシテモ、現在ハ内閣ヲ取リマセヌガ、政友會ガ内閣ヲ罷メマシタ際ニハ、先ヅ當然諸君等ニ其政權ガ渡ルモノト見ネバナラヌノデアリマス、此政權ガ來ルベキモノデアルトコトヲ豫期セラレマス諸君カ、現在ニ於テ此法案ニ多數ノ御賛成ガ

アルヤウニ見受ケマスガ、若シ一暫内閣ヲ取ツタ時ニハ、諸君等ハ此態度ヲ豹變セラレマシテ、矢張政友會ノ主義主張ト云フモノヲバ尤デアアル、此種ナ法案ニ賛成スベキモノデアナイト云フコトヲ必ズ御覺悟爲サルコト、私ハ申上ゲタイト思フデアリマス、斯ウ考ヘマスルト、提案者ニ御質問スルノデアリマス、勸誘ヲスルト云フコトノ意義ハ如何ナル意義デアリマスカ、若シモ自發的ニ政友會若クハ民政黨ノ主義政策ニ共鳴シ、鐵道ノ敷設、道路、港灣、橋梁、河川ノ修築、其他萬般政府ノ援助、若クハ關係致シマスヤウナ事業ニ向ヒマシテ、政友會ノ政策ハ是デアアル、民政黨ノ主張ハ非デアルト致シマシテ、政友會ニ續々ト入黨ヲ申込

ンダ際ニ、暗黙ノ間ニ承認シテ、政友會ニ加入スルヤウナコトガアリマシタ際ニハ、勸誘ト御考ニナリマスルヤ否ヤ、又演說會等ニ於キマシテ、政談演說會ニ於テ、地方問題ヲ論議シ、更ニ演說ノ結果トシテ、其地方ノ方ガ多數ニ之ニ入黨スルコトニナリマシタナラバ、演說會ノ言論ハ一種ノ勸誘デアリマス、此勸誘ニ依テ入黨スルノデアリマスカラ、是亦此法案ニ抵觸スルモノトシテ處罰ヲ受ケネバナラヌト考ヘマスガ、演說會等ニ於キマシテ、此地方問題ヲ論議スルコトヲ御禁止ニナルヤ否ヤ、御考ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二段ハ、此法案ニ向テ勸誘ト云フ意味ノ間ニ、政府ノ直接之ヲ免許シ、若クハ拒否スルコトモゴザイマセウケレドモ、間接ノ政府ノ力カナケレバ是又認可又ハ許可スルコトノ出來ナイ事項ハ、其多クハ縣政ノ上ニ、若クハ自治體ノ上ニ多數アルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ問題ガ生ジマシタ際ニ、是亦直接デアアルカラ非デアアル、間接デアアルガ故ニ是デアルト云フヤウナ問題ガ起ルト思ヒマスガ、是亦提案者ニ伺ヒテ御尋シテ置ク次第デアリマス、以上簡單ニ申述ベマシタ事項ニ付キマシテ、提案者ノ御説明ヲ願ヒタイト思フデアリマス

(大竹貫一君登壇)

○大竹貫一君 只今御質問デアリマスガ、

此案ハ理想的ナ案ヲ甚ク宜シイ、併ナガラ、殆下空理空論ヲ施スニ途ガ無イト云フコト...

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセカ

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセカ

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセカ

○副議長(清瀨一郎君) 多數ト認メマス
○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ付テ...

投票結果(清瀨一郎君) 右ノ結果、原君ヨリノ散會ノ動議ガ可決サレマシク

○副議長(清瀨一郎君) 次回ノ日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス